

大東市埋蔵文化財調査報告第26集

# 鍋田川遺跡Ⅱ

—架空送電線鉄塔〔東大阪新生駒線・鉄塔 No.22〕建替えに伴う発掘調査報告書—

2008年3月

大東市教育委員会

大東市埋蔵文化財調査報告第26集

# 鍋田川遺跡Ⅱ

—架空送電線鉄塔〔東大阪新生駒線・鉄塔 No.22〕建替えに伴う発掘調査報告書—

2008年3月

大東市教育委員会



1. 落込みA (北東より)



2. 落込みA遺物出土状況



1. 第VI層遺物出土状況（北半部）



2. 第VI層遺物出土状況（南半部）



1. 第VI層遺物出土状況



2. 調査区南壁断面



# 序 文

大阪府の北東部に位置する大東市は、東部に飯盛山を含む生駒山系が南北に連なり、西部では古くに河内湾、河内湖、また江戸時代中頃までは深野池という大きな池が存在し、山や海・池などに縁取られた多様な地形環境のなかで古来より豊かな自然を有してきました。

そのような環境のなかでわたしたちの先人達は個性豊かな歴史、文化を育み、その足跡として遺跡や神社仏閣、様々な美術工芸品など、いわゆる文化財が数多く残され今日に至っています。

この度、報告することになりました鍋田川遺跡は昭和 33 年に鍋田川の砂防堰堤工事の際に発見されて以来、その特異な出土遺物からたいへん注目されてきたなかでの第 2 回目の本格的な発掘調査でありまして、その内容としましては縄文～近世にいたる成果はもちろんのこと、特に古墳時代における成果はたいへん貴重なものとなり、従来から言われてきました遺跡の特異性をあらためて再確認することとなりました。

今後、これらの成果を市民共有の財産として活用していくと共に、本報告書が本市の歴史や文化を知る基礎資料として活用され、歴史や文化財に対する理解を深めるための契機となれば幸いに存じます。

最後になりましたが、発掘調査および整理作業の費用負担をはじめ多大なご協力を賜りました関西電力株式会社をはじめ、お世話になりました関係機関・各位に対しまして厚くお礼申し上げます。

また教育委員会では、今後とも先人より受け継いできた貴重な文化財を大切に保存・活用し、そのすべてを未来を担う次世代に託したく努力する所存でありますので、市民の皆様方におかれましては今後とも本市の文化財保護行政にご理解、ご協力賜りますよう心よりお願い申し上げます。

平成 20 年 3 月

大東市教育委員会

教育長 中 口 馨

# 例 言

1. 本書は、大阪府大東市中垣内3丁目における鍋田川遺跡発掘調査(NBT 92-1)の報告書である。
2. 調査は架空送電線鉄塔〔東大阪新生駒線・鉄塔 No.22〕建替えに伴うもので、関西電力株式会社大阪北支店より依頼を受け、大東市教育委員会が実施した。
3. 発掘調査および整理作業は大東市立歴史民俗資料館、中達健一(現、生涯学習課所属)が担当した。
4. 本調査に係る費用については関西電力株式大阪北支店がこれを負担した。記して感謝の意を表する。
5. 調査面積は676㎡。調査期間は平成4年11月18日～平成5年3月3日である。
6. 現地調査、整理作業にあたっては下記の諸氏の協力を得た。(敬称略、五十音順)  
[現地調査]  
大谷聡、甲斐範浩、谷崎光子、萩野登、樋口里美、村尾奈津子、森石千枝子、吉野正泰  
[整理作業]  
大谷聡、甲斐範浩、川崎昌美、谷崎光子、萩野登、樋口里美、宮田八重子、村尾奈津子、森石千枝子、吉野正泰
7. 本調査における基準点、水準点の設置は、ワールド航測コンサルタント株式会社(現、株式会社ワールド)に委託した。
8. 本調査で使用した座標は国土座標第Ⅵ系であり、方位は座標北を使用している。また、標高はT.P.(東京湾平均海面値)である。尚、国土座標の数値については日本測地系での表示である。
9. 報告書作成に係る一部図面作成、遺物観察表、遺物写真撮影については、大東市教育委員会の指導のもと、財団法人元興寺文化財研究所に委託した。  
また、一部出土木製品の保存処理についても、財団法人元興寺文化財研究所に委託した。
10. 本書の執筆、編集は中達が行った。
11. 本調査に関わる出土遺物、実測図、写真、カールスライド等の各資料は大東市立歴史民俗資料館において保管している。広く利用されることを希望する。

# 本文目次

序文

例言

第1章 調査に至る経緯	1
第2章 遺跡の位置と環境	2
第3章 調査の方法	5
第4章 調査成果	6
第1節 基本層序	6
第2節 第1遺構面	9
第3節 第2遺構面上面遺構	16
第4節 第2遺構面	18
第5章 まとめ	28

# 挿図目次

第1図 調査地位置図	1
第2図 大東市位置図	2
第3図 周辺遺跡分布図	4
第4図 調査区区割図	5
第5図 調査区西壁・北壁断面図	7
第6図 調査区東壁・南壁断面図	8
第7図 S D -105 平・断面図	10
第8図 S D -106 平・断面図	10
第9図 S D -107 平・断面図	10
第10図 S D -117 平・断面図	10
第11図 第1遺構面全体図	11~12
第12図 S K -101 平・断面図	14
第13図 S K -104 平・断面図	14
第14図 S K -106 平・断面図	14
第15図 S K -107 平・断面図	14
第16図 自然流路断面図	16
第17図 自然流路平面図	16
第18図 根株周辺遺物出土状況	17
第19図 第2遺構面全体図	19~20
第20図 S K -216 平・断・遺物出土状況図	22
第21図 S K -217 平・断・遺物出土状況図	22

第 22 図	S K -233 平・断面図	22
第 23 図	S K -234 平・断面図	22
第 24 図	落込み A 平・断・遺物出土状況図	25
第 25 図	落込み B 平面図	26
第 26 図	落込み B 遺物出土状況図 (1)	26
第 27 図	落込み B 遺物出土状況図 (2)	26
第 28 図	土器群 R 出土状況図	27
第 29 図	土器群 S・T・U 出土状況図	27
第 30 図	第 1 遺構面各遺構出土遺物	31
第 31 図	自然流路 (上層) 出土遺物	32
第 32 図	自然流路 (中層) 出土遺物	33
第 33 図	自然流路 (下層) 出土遺物 (1)	34
第 34 図	自然流路 (下層) 出土遺物 (2)	35
第 35 図	第 2 遺構面各遺構出土遺物	36
第 36 図	落込み A 出土遺物 (1)	37
第 37 図	落込み A 出土遺物 (2)	38
第 38 図	落込み A 出土遺物 (3)	39
第 39 図	落込み B 出土遺物 (1)	40
第 40 図	落込み B 出土遺物 (2)	41
第 41 図	第 V 層出土遺物 (1)	42
第 42 図	第 V 層出土遺物 (2)	43
第 43 図	第 V 層出土遺物 (3)	44
第 44 図	第 VI 層出土遺物 (1)	45
第 45 図	第 VI 層出土遺物 (2)	46
第 46 図	第 VI 層出土遺物 (3)	47
第 47 図	第 VI 層出土遺物 (4)	48
第 48 図	第 VI 層出土遺物 (5)	49
第 49 図	第 VI 層出土遺物 (6)	50
第 50 図	第 VI 層出土遺物 (7)	51
第 51 図	第 VI 層出土遺物 (8)	52
第 52 図	第 VI 層出土遺物 (9)	53
第 53 図	第 VI 層出土遺物 (10)	54
第 54 図	第 VI 層出土遺物 (11)	55
第 55 図	第 VI 層出土遺物 (12)	56
第 56 図	第 VI 層出土遺物 (13)	57
第 57 図	第 VI 層出土遺物 (14)	58
第 58 図	第 VII 層出土遺物 (1)	59

第 59 図 第Ⅶ層出土遺物 (2)	60
第 60 図 第Ⅶ層出土遺物 (3)	61
第 61 図 第Ⅶ層出土遺物 (4)	62
第 62 図 第Ⅶ層出土遺物 (5)	63

## 表 目 次

第 1 表 遺物一覧表	64
-------------	----

## 写真図版目次

### 巻頭カラー図版 1

- |                 |                 |
|-----------------|-----------------|
| 1. 落込み A (北東より) | 2. 落込み A 遺物出土状況 |
|-----------------|-----------------|

### 巻頭カラー図版 2

- |                     |                     |
|---------------------|---------------------|
| 1. 第Ⅵ層 遺物出土状況 (北半部) | 2. 第Ⅵ層 遺物出土状況 (南半部) |
|---------------------|---------------------|

### 巻頭カラー図版 3

- |               |            |
|---------------|------------|
| 1. 第Ⅶ層 遺物出土状況 | 2. 調査区南壁断面 |
|---------------|------------|

### 巻頭カラー図版 4 出土遺物

#### 図版 1 遺構 (1)

- |                      |                      |
|----------------------|----------------------|
| 1. 第 1 遺構面西半部 (南東より) | 2. 第 1 遺構面東半部 (北西より) |
|----------------------|----------------------|

#### 図版 2 遺構 (2)

- |                 |                          |
|-----------------|--------------------------|
| 1. 自然流路断面 (南より) | 2. 自然木 (根株?) 出土状況 (北東より) |
|-----------------|--------------------------|

#### 図版 3 遺構 (3)

- |                      |                      |
|----------------------|----------------------|
| 1. 第Ⅵ層 (北半部) 遺物出土状況① | 2. 第Ⅵ層 (北半部) 遺物出土状況② |
|----------------------|----------------------|

#### 図版 4 遺構 (4)

- |                      |                      |
|----------------------|----------------------|
| 1. 第Ⅵ層 (北半部) 遺物出土状況③ | 2. 第Ⅵ層 (北半部) 遺物出土状況④ |
|----------------------|----------------------|

#### 図版 5 遺構 (5)

- |                      |                      |
|----------------------|----------------------|
| 1. 第Ⅵ層 (北半部) 遺物出土状況⑤ | 2. 第Ⅵ層 (北半部) 遺物出土状況⑥ |
|----------------------|----------------------|

#### 図版 6 遺構 (6)

- |                     |                |
|---------------------|----------------|
| 1. 第Ⅵ層 (南半部) 遺物出土状況 | 2. 同上 (部分接写) ① |
|---------------------|----------------|

#### 図版 7 遺構 (7)

- |                |                |
|----------------|----------------|
| 1. 同上 (部分接写) ② | 2. 同上 (部分接写) ③ |
|----------------|----------------|

#### 図版 8 遺構 (8)

- |                |                |
|----------------|----------------|
| 1. 同上 (部分接写) ④ | 2. 同上 (部分接写) ⑤ |
|----------------|----------------|

#### 図版 9 遺構 (9)

- |               |               |
|---------------|---------------|
| 1. 第Ⅶ層遺物出土状況① | 2. 第Ⅶ層遺物出土状況② |
|---------------|---------------|

#### 図版 10 遺構 (10)

1. 第2遺構面南半部（北より）

2. 第2遺構面北半部（南東より）

図版 11

1. S K -216（北より）

2. S K -217（東より）

図版 12

1. 落込みA（北東より）

2. 落込みA遺物出土状況（土器）

図版 13

1. 同上（部分接写）①

2. 同上（部分接写）②

図版 14

1. 同上（部分接写）③

2. 落込みA遺物出土状況（礫）

図版 15

1. 落込みB（南西より）

2. 落込みB遺物出土状況（土器①）

図版 16

1. 落込みB遺物出土状況（土器②）

2. 落込みB遺物出土状況（土器③）

図版 17 出土遺物（1）

図版 18 出土遺物（2）

図版 19 出土遺物（3）

図版 20 出土遺物（4）

図版 21 出土遺物（5）

図版 22 出土遺物（6）

図版 23 出土遺物（7）

図版 24 出土遺物（8）

図版 25 出土遺物（9）

図版 26 出土遺物（10）

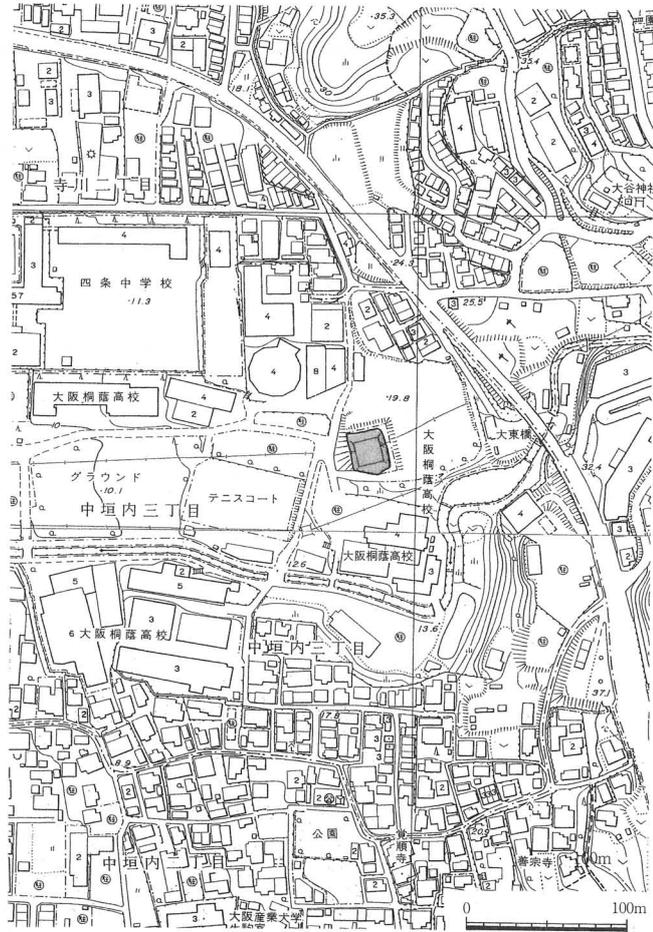
# 第1章 調査に至る経緯

鍋田川遺跡は昭和33年9月の砂防堰堤工事の際に発見された遺跡で、その時期に採集された古墳時代を中心とした土器のほか、滑石製有孔円盤、鹿角製品、卜骨などが見受けられたことから当初は古墳時代の祭祀遺跡と認識されてきた。以後、平成元年での初めての本格的な調査の実施、さらに平成3年、平成5年に実施された大阪府教育委員会の発掘調査の成果などから、現在では縄文時代から近世に至る複合遺跡との性格が与えられている。

今回の調査は関西電力株式会社大阪北支店により架空送電線鉄塔の増強工事の事業計画がなされたことによる。この事業計画は生活水準の向上、都市機能の高度化および産業の発展などにより電力需要が年々増加の傾向を示し、将来において電力供給不足の状態が懸念されることから大阪府東部地域などに電力供給している東大阪変電所の電力容量を増やすこととなり、そのため奈良県生駒市北田原に所在する新生駒変電所から東大阪変電所に至る一部送電線（東大阪新生駒線）の鉄塔を大型化するため既存の鉄塔を建替えるという内容であった。

今回の発掘調査はその事業における東大阪新生駒線 No.22号と呼称される鉄塔を対象とした調査で、事務手続きを経て本市教育委員会が範囲確認調査を実施したところ、遺物を多量に含む包含層を確認し遺跡の広がりが確認された。その後、遺跡の保存に関して協議を行ったが、事業内容の公共的性格などにより計画変更は困難であるとのことから発掘調査を実施することで合意した。

結果、関西電力株式会社大阪北支店より本市教育委員会に発掘調査の依頼がなされたことにより、本市教育委員会が発掘調査を実施することとなった。



第1図 調査地位置図

## 第2章 遺跡の位置と環境

中垣内遺跡は大阪府大東市中垣内一帯にかけて所在し、南北約 850 m、東西約 1 k m の範囲を持つ遺跡である。これまで十数次にわたって調査が実施されており、縄文時代から近世にかけての複合遺跡であることが明らかにされている。特に弥生時代の集落遺跡として有名である。

地理的には、鍋田川によって形成された扇状地からその西方に広がる沖積地にかけて立地している。

以下、大東市域の遺跡を中心に歴史的推移を概観する。

### 〈旧石器時代〉

中垣内遺跡からナイフ形石器が出土している。しかし、昭和 34 年の東大阪変電所建設時における出土のため、その詳細は明らかでないが、この時代の遺物としては現在のところ市内唯一のものである。

### 〈縄文時代〉

集落を示すような具体的な遺構は検出されていないため、様相については明らかではない。唯一、中垣内遺跡で中期後半の土坑状の遺構と推測されるものが確認されているのみである。遺物では、北条遺跡、宮谷古墳群で草創期の有舌尖頭器などが出土・採集している他、自然河川、自然流路、包含層等からの出土ではあるが主に宮谷川、鍋田川周辺の遺跡から中～晩期を中心とした土器の出土が確認されている。

そして、磨耗を受けず比較的残りの良好な土器の出土も多いことから丘陵、扇状地などに集落跡の存在した可能性は十分高いものと考えられる。

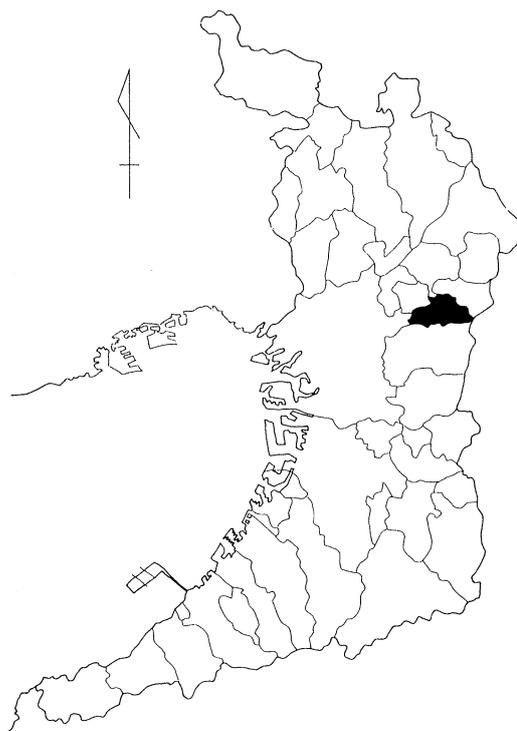
### 〈弥生時代〉

この時代から市域においても遺構を伴う遺跡が多数確認されるようになる。前～中期の集落跡が確認された中垣内遺跡、北条西遺跡、後期の竪穴住居を検出した北条遺跡などがある。また、中垣内遺跡の東に位置する鍋田川遺跡では後期のまとまった遺物が出土しており、当時の集落の動向を考えるうえでも重要な遺跡であることが明らかになりつつある。

### 〈古墳時代〉

当時、河内湖東岸に位置していた市域においても多数の集落が営まれるようになり、前期では鍋田川遺跡、中～後期にかけては北新町遺跡、メノコ遺跡などがある。特に特徴的な様相としては初期須恵器、韓式土器、鳥足文を施した陶質土器の出土など渡来系的な影響の強い遺物が目立ち、先に述べた河内湖東岸という地理的状況からも頷けるものである。

古墳に関しても多くの古墳、古墳群が周知されているが、残念ながら詳細の解らないものが多い。その中において城ヶ谷遺跡、北条遺跡、宮谷古墳群、堂山古墳群で古墳の調査が行われている。特に



第2図 大東市位置図

堂山古墳群では三角板皮綴短甲、衝角付冑、鉄刀、鉄鏃など多量の鉄製武器、武具類が出土していることから当時の有力な首長墓と考えられており、当時の社会を考えるうえで貴重な成果をあげている。  
(古代)

奈良時代では北新町遺跡、寺川遺跡、元粉遺跡で集落が確認、推測されている。特に北新町遺跡では人面墨書土器が出土し、また寺川遺跡では「白麻呂」と墨書された土器が出土するなど、官衛的集落の存在が推定されている。

平安時代では寺川遺跡で集落跡が確認されている。特に、直径1 m程の木を刳り貫いた井筒などは注目され、また河川跡からはウマの骨が一体復元出来るほどの出土があり、通常の集落とはかなり違う様相を示している。

(中世)

北新町遺跡で12～13世紀を中心とした集落跡、御領遺跡で13～14世紀の集落跡が確認されており、市域における中世の様相も明らかにされてきている。また、城跡に関しても、戦国武将、三好長慶の飯盛城、その支城とされる野崎城、キリシタンで有名な三箇サンチョの三箇城などが知られている。ただ、考古学的には飯盛城において発掘調査がわずかに実施されているのみで残念ながら詳細は明らかにされていない。

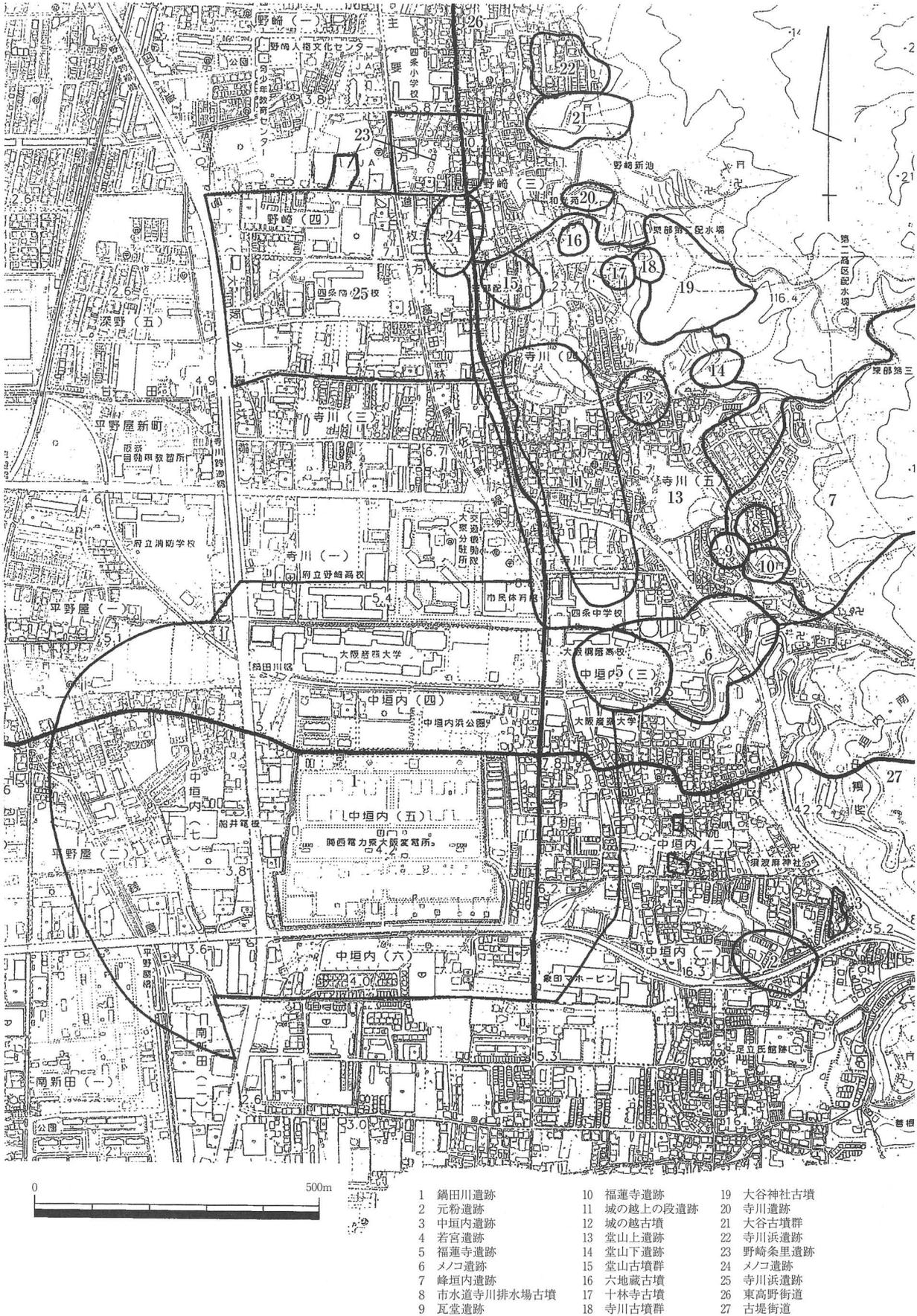
(近世)

大阪城の築城、また江戸幕府による再築の際、石垣用石材の供給地であった石切場跡や、宝永元年(1704)の大和川付け替えに伴い新田開発が盛んになるが、その管理施設であった平野屋新田会所などがある。

また西諸福遺跡では深野池、新開池とは別の池と推定されている遺構が検出されており、備前播鉢、壺、美濃窯系天目茶碗、胎土目唐津窯系皿、堺播鉢、石臼などの陶磁器類がまとまって出土している。

(引用・参考文献)

- 大阪府史編集専門委員会 1991年 『大阪府史』別巻 大阪府
- 大東市教育委員会 1973年 『大東市史』
- 大東市教育委員会 1987年 『寺川・北条遺跡発掘調査報告書』大東市埋蔵文化財調査報告第1集
- 大東市教育委員会 1989年 『大東市埋蔵文化財発掘調査概報』大東市埋蔵文化財調査報告第3集
- 大東市教育委員会 1990年 『城ヶ谷遺跡発掘調査報告書』大東市埋蔵文化財調査報告第6集
- 大東市教育委員会 1997年 『中垣内遺跡発掘調査報告書』大東市埋蔵文化財調査報告第11集
- 大東市教育委員会 1997年 『寺川遺跡発掘調査報告書』大東市埋蔵文化財調査報告第13集
- 大東市教育委員会 1998年 『メノコ遺跡発掘調査報告書』大東市埋蔵文化財調査報告第14集
- 大東市教育委員会 1999年 『御領遺跡』大東市埋蔵文化財調査報告第15集
- 大東市教育委員会 2000年 『西諸福遺跡発掘調査報告書』大東市埋蔵文化財調査報告第17集
- 大東市教育委員会 2002年 『旧平野屋新田会所屋敷と建物』大東市文化財調査報告書
- 大東市教育委員会 2004年 『元粉遺跡Ⅰ』大東市埋蔵文化財調査報告第19集
- 大東市教育委員会 2004年 『中垣内遺跡発掘調査報告書』大東市埋蔵文化財調査報告第20集
- 大東市北新町遺跡調査会 1986年 『北新町遺跡第1次発掘調査概要報告書』
- 大東市北新町遺跡調査会 1991年 『北新町遺跡第2次発掘調査概要報告書』
- 大東市北新町遺跡調査会 1997年 『北新町遺跡第3次発掘調査概要報告書』
- 大阪府教育委員会 1993・1994年 『堂山古墳群』大阪府文化財調査報告書第四五輯
- 中達健一 1995年 「大東市・北条西遺跡(93・1次調査)」『まんだ』第五十六号
- 黒田淳 1988年 「大東市“宮谷古墳群の調査”」『まんだ』第三十五号



第3図 周辺遺跡分布図(S=1/10000)

### 第3章 調査の方法

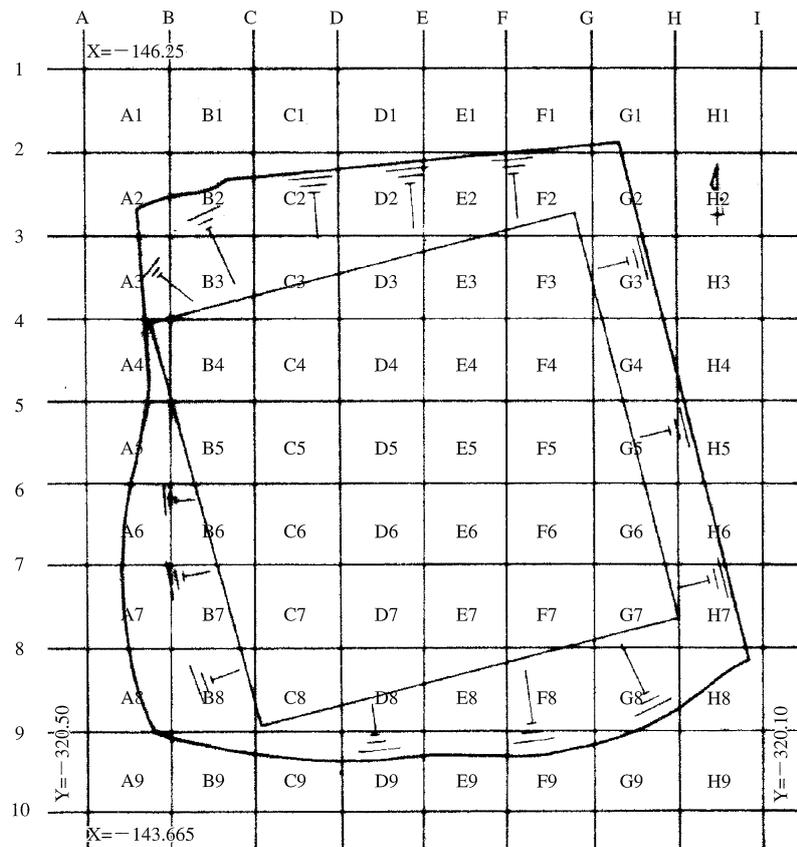
掘削については、盛土、旧耕作土、床土までを機械掘削の対象とし、以下、包含層については層位ごとに人力による掘削を行った。そして、それぞれの層位面において遺構の確認を行いながら、地山面に至るまで順次繰り返した。

遺構の平面実測については、すべて平板測量で実施した。また必要に応じて遺構平面図・断面図・遺物出土状況図を適宜作成した。

調査区の区割り設定については、調査区付近において調査区をバランスよくカバーできるように考慮しながら任意の地点を決め、それを基点に国土座標第VI系による座標を使用して調査区全体を東西南北それぞれ5mごとに座標軸を順次配しながら囲み、調査区内に5m四方の区画を設定した。各区画の呼称については南北座標軸に西端を起点としてアルファベットを順次付し、また東西座標軸については北端を起点として算用数字を順次付すことにより各交点を記号化し、その北西隅の交点をを用いている。また、水準についてはT.P.(東京湾平均海面値)を使用している。先に述べた遺物出土状況など各種記録作業、また包含層などの遺物の取り上げについては、すべてこれらの基準に基づいている。また、報告書の記述においても同様である。

遺構番号については遺構面ごとに付与しており、各遺構面を示す数字を遺構番号の頭に冠している。

写真撮影については6×7の中型カメラによるモノクロ撮影、35mm小型カメラによるモノクロ、カラーそれぞれにおいて撮影を行い、またスライドの作成も行った。



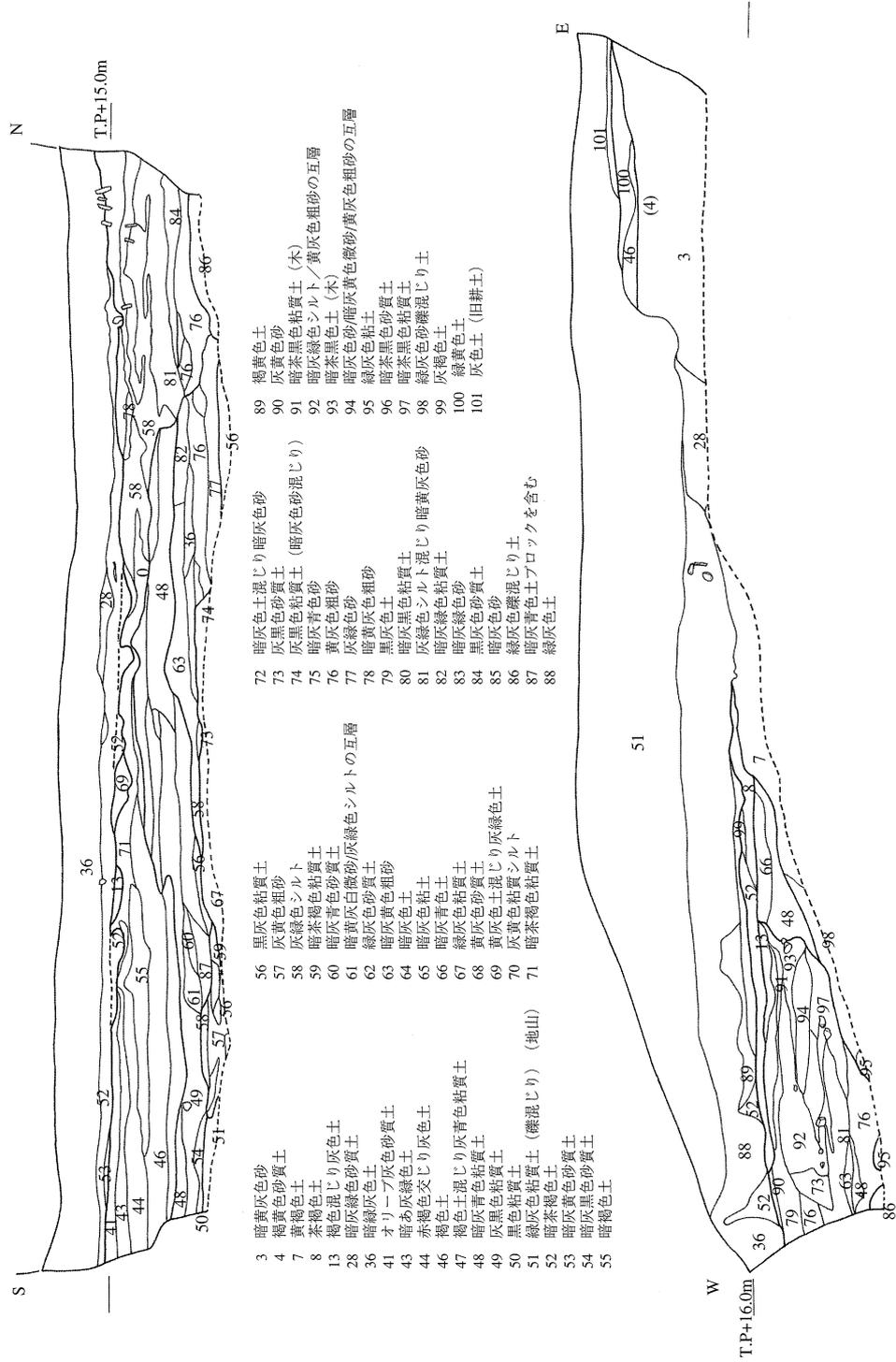
第4図 調査区区割図

## 第4章 調査成果

### 第1節 基本層序

今回の調査では層位的に3面の遺構面を確認した。基本的な層序については以下の通りである。

- 第Ⅰ層 盛土。調査区一帯の地形はほぼ南西に向けて傾斜している状況であり、また盛土以前の耕作地がその影響のため段状に形成されていたことから基本的に南西に向けて厚く堆積する状況であった。北東部で層厚約0.9 m、南東部で層厚約3.4 mを測った。南西部では層厚約5.8 m程度あったものと思われるが盛土した以降に削平を受けていたことから現況で層厚約1.3 mを測るものであった。
- 第Ⅱ層 旧耕土。水路部分を除きほぼ調査区全域に認められたもので、先にも述べたが南西に向って段状に耕作地が形成されていたことから、それに伴い堆積するものである。層厚は約0.15 mを測った。
- 第Ⅲ層 緑灰色土。調査区中央より西側にかけて認められた。層厚は約0.1～0.3 mを測った。第1遺構面のベース層になる。
- 第Ⅳ層 褐灰色土。調査区中央より東側を中心に認められた。層厚は約0.1～0.2 mを測った。第1遺構面のベース層になる。
- 第Ⅴ層 暗茶褐色土が主体をなす。南北座標軸のFラインより東側にかけて認められた。南西に向けて厚く堆積する状況で、層厚は約0.1～1.0 mを測った。
- 第Ⅵ層 暗灰青色粘質土。南北座標軸のEラインより東側にかけて認められた。南西に向けて厚く堆積する状況で、層厚は約0.1～0.5 mを測った。第2遺構面上面遺構のベース層になる。
- 第Ⅶ層 暗灰黒色粘質土が主体をなす。南北座標軸のEラインより東側にかけて認められた。南西に向けて厚く堆積する状況で、層厚は約0.1～0.5 mを測った。
- 第Ⅷ層 黄褐色系のシルト、砂が主体をなす。調査区の西側で認められた。層厚は確認し得なかった。考古学でいう地山層であり、第2遺構面のベース層になる。
- 第Ⅸ層 緑灰色粘質土が主体をなす。調査区の東側で認められた。層厚は確認し得なかった。考古学でいう地山層であり、第2遺構面のベース層になる。



- |    |                     |    |                  |     |                      |
|----|---------------------|----|------------------|-----|----------------------|
| 3  | 暗黄灰色砂               | 72 | 暗灰色土混じり暗灰色砂      | 89  | 褐黄色土                 |
| 4  | 褐黄色砂質土              | 73 | 灰黑色砂質土 (暗灰色砂混じり) | 90  | 灰黄色砂                 |
| 7  | 黄褐色土                | 74 | 灰黑色粘質土 (暗灰色砂混じり) | 91  | 暗茶黑色粘質土 (木)          |
| 8  | 褐色混じり灰色土            | 75 | 暗灰色粘質土 (暗灰色砂混じり) | 92  | 暗茶黒色シルト/黄灰色粗砂の互層     |
| 13 | 暗灰緑色砂質土             | 76 | 黄灰色粗砂            | 93  | 暗茶黒色土 (木)            |
| 28 | 暗灰緑色砂質土             | 77 | 灰緑色粗砂            | 94  | 暗灰色砂/暗灰黄色微砂/黄灰色粗砂の互層 |
| 36 | 暗緑灰色土               | 78 | 暗灰黄色粗砂           | 95  | 暗灰色粘土                |
| 41 | オリーブ灰色砂質土           | 79 | 黒灰色土             | 96  | 暗茶黒色砂質土              |
| 43 | 暗あ灰緑色土              | 80 | 暗灰黒色粘質土          | 97  | 暗茶黒色粘質土              |
| 44 | 赤褐色交じり灰色土           | 81 | 暗灰緑色シルト混じり暗黄灰色砂  | 98  | 暗灰色砂礫混じり土            |
| 46 | 褐色土                 | 82 | 暗灰緑色粘質土          | 99  | 灰褐色土                 |
| 47 | 褐色土混じり灰青色粘質土        | 83 | 暗灰緑色砂            | 100 | 緑黄色土                 |
| 48 | 暗灰青色粘質土             | 84 | 暗灰色砂             | 101 | 灰色土 (旧耕土)            |
| 49 | 灰黒色粘質土              | 85 | 暗灰色砂             |     |                      |
| 50 | 黒色粘質土               | 86 | 暗灰青色土ブロックを含む     |     |                      |
| 51 | 暗灰青色粘質土 (礫混じり) (地山) | 87 | 暗灰青色土ブロックを含む     |     |                      |
| 52 | 暗茶褐色土               | 88 | 緑黄色土             |     |                      |
| 53 | 暗灰黄色砂質土             |    |                  |     |                      |
| 54 | 暗灰黒色砂質土             |    |                  |     |                      |
| 55 | 暗褐色土                |    |                  |     |                      |
| 56 | 暗灰黄色粘質土             |    |                  |     |                      |
| 57 | 灰黄色粗砂               |    |                  |     |                      |
| 58 | 灰緑色シルト              |    |                  |     |                      |
| 59 | 暗茶褐色粘質土             |    |                  |     |                      |
| 60 | 暗灰青色粘質土             |    |                  |     |                      |
| 61 | 暗灰青白微砂/灰緑色シルトの互層    |    |                  |     |                      |
| 62 | 暗灰黄色粘質土             |    |                  |     |                      |
| 63 | 暗灰黄色粗砂              |    |                  |     |                      |
| 64 | 暗灰色土                |    |                  |     |                      |
| 65 | 暗灰色粘土               |    |                  |     |                      |
| 66 | 暗灰青色土               |    |                  |     |                      |
| 67 | 暗灰青色粘質土             |    |                  |     |                      |
| 68 | 暗灰青色砂質土             |    |                  |     |                      |
| 69 | 黄灰色砂質土              |    |                  |     |                      |
| 70 | 灰黄色粘質シルト            |    |                  |     |                      |
| 71 | 暗茶褐色粘質土             |    |                  |     |                      |

第5図 調査区面壁・北壁断面図



- |                       |                   |                   |                           |                 |                       |
|-----------------------|-------------------|-------------------|---------------------------|-----------------|-----------------------|
| 1 盛土                  | 11 褐色粗砂           | 21 灰青色砂質土         | 31 灰青色土混じり暗黄灰色土           | 41 オリーブ灰色砂質土    | 41 緑灰色砂質土 (礫混じり) (地山) |
| 2 攪乱                  | 12 暗褐色粗砂          | 22 暗黄灰色土          | 32 黄色砂混じり緑灰色土             | 42 灰青色砂質土 (遺構)  | 42 暗赤褐色土              |
| 3 暗黄灰色砂               | 13 褐色混じり灰色土       | 23 黄褐色粗砂          | 33 灰青色砂質土                 | 43 暗灰緑色土        |                       |
| 4 褐黄色砂質土              | 14 灰色混じり褐色土       | 24 灰青色土           | 34 青灰色シルト                 | 44 赤褐色混じり灰色土    |                       |
| 5 灰色土 (旧耕土)・黄褐色土 (床土) | 15 暗褐色粗砂 (地山)     | 25 暗黄褐色土 (暗灰色土)   | 35 暗黄灰色砂質土                | 45 灰緑色砂質土       |                       |
| 6 灰色土                 | 16 黄褐色シルト (地山)    | 26 灰青色粘質土         | 36 暗緑 灰色土                 | 46 褐色土          |                       |
| 7 黄褐色土                | 17 灰色土 (やや青みがかかる) | 27 暗黄灰色砂質土混じり青灰色土 | 37 暗黄灰色砂質土混じり青灰色土         | 47 褐色土混じり青灰色粘質土 |                       |
| 8 赤褐色土                | 18 黄褐色混じり灰色土      | 28 暗灰緑色砂質土        | 38 にぶい暗灰緑色土               | 48 暗灰青色粘質土      |                       |
| 9 褐色土                 | 19 灰褐色砂質土         | 29 暗青灰色砂質土        | 39 暗黄灰色土混じり青灰色土 (やや粘土は多い) | 49 灰黒色粘質土       |                       |
| 10 褐黄色シルト             | 20 にぶい灰黄色砂質土      | 30 黄色細砂           | 40 暗灰色粘質シルト               | 50 黒色粘質土        |                       |

第6図 調査区東壁・面壁断面図

## 第2節 第1遺構面

基本層序第Ⅲ・Ⅳ層をベース面として溝、土坑、ピット、不明遺構、鋤溝などを検出している。標高は北東部で T.P. + 17.5 m、南西部で T.P. + 15.0 m を測る。

### 1. 溝

#### SD -102

D 3～4 区にかけて検出した。SD - 103・104 に続くもので、東側に石垣を施す近～現代の水路である。規模は幅約 0.5 m、深さ約 0.3 m を測る。埋土は 3 層で暗緑灰色土、暗茶灰色土、暗灰褐色土である。遺物は石臼が出土している。

#### SD -105

F 4 区で検出した。確認トレンチに切られた。規模は幅約 0.3 m、深さ約 0.03 m を測る。埋土は 1 層で灰色土である。遺物は出土していない。

#### SD -106

F 4 区で検出した。攪乱に切られる。規模は幅約 0.45 m、深さ約 0.01 m を測る。埋土は 1 層で灰色土である。遺物は土師器片が出土している。

#### SD -107

E 4～5 区、F 5 区にかけて検出した。規模は幅約 0.9 m、深さ約 0.14 m を測る。埋土は 1 層で灰緑色土である。遺物は土師器、須恵器、瓦などが出土している。

#### SD -109

C 6 区、D 6 区にかけて検出した。規模は幅約 0.5 m、深さ約 0.3 m を測る。埋土は 1 層で暗灰緑色土である。遺物は土師器、須恵器などが出土している。

#### SD -110

B 5 区、C 5 区にかけて検出した。規模は幅約 0.8 m、深さ約 0.55 m を測る。埋土は 1 層で緑灰色土である。遺物は土師器、須恵器、陶質土器、黒色土器 A 類などが出土している。

#### SD -111

B 5～6 区、C 5～6 区にかけて検出した。SK - 118 に繋がる。規模は幅約 0.7 m、深さ約 0.15 m を測る。埋土は 1 層で緑灰色土である。遺物は土師器、須恵器などが出土している。

#### SD -112

B 6 区、C 6 区にかけて検出した。SK - 118 に繋がる。規模は幅約 0.7 m、深さ約 0.23 m を測る。埋土は 1 層で緑灰色土である。遺物は土師器、須恵器などが出土している。

#### SD -113

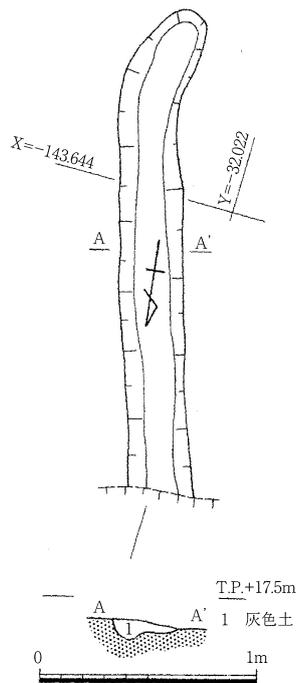
B 6 区、C 6 区にかけて検出した。SK - 118 に繋がる。規模は幅約 0.8 m、深さ約 0.09 m を測る。埋土は 1 層で緑灰色土である。遺物は土師器、須恵器などが出土している。

#### SD -114

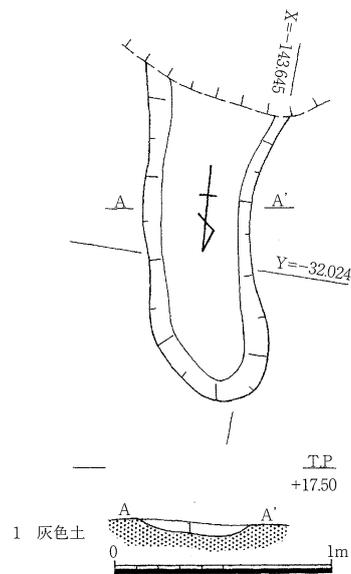
B 6～7 区、C 6～7 区にかけて検出した。規模は幅約 0.6 m、深さ約 0.14 m を測る。埋土は 1 層で灰緑色土である。遺物は土師器、須恵器などが出土している。

#### SD -115

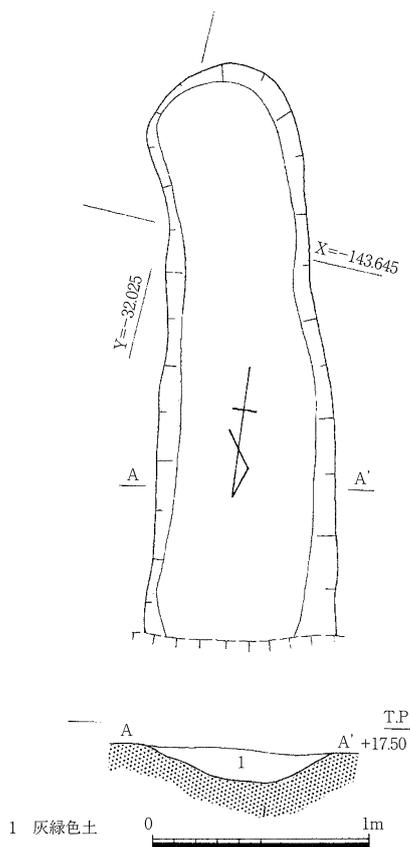
B 7 区、C 7～8 区にかけて検出した。SD - 119 に繋がる。規模は幅約 1.2 m、深さ約 0.22 m



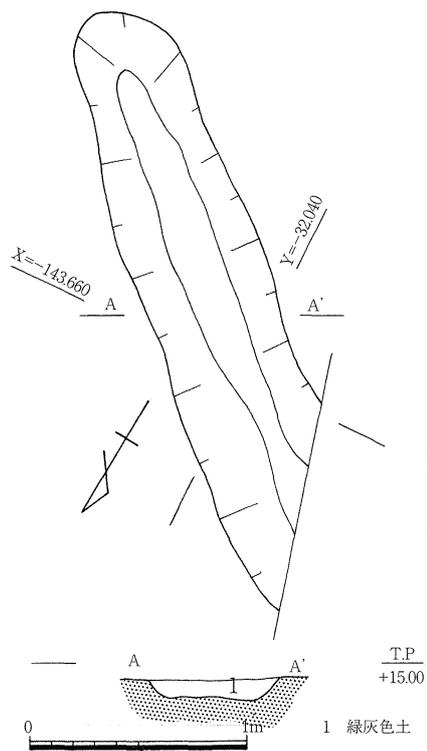
第7図 SD-105平・断面図



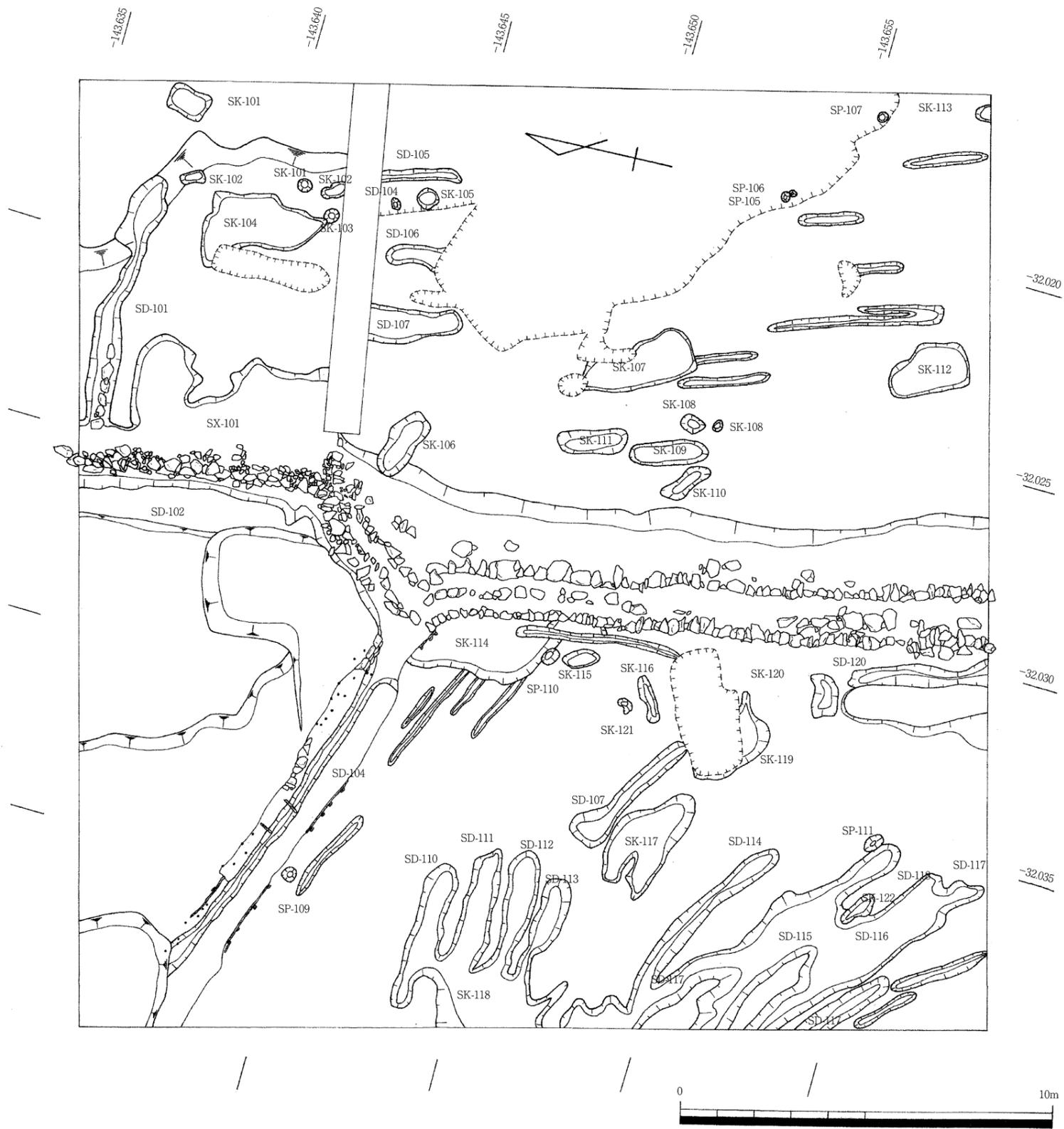
第8図 SD-106平・断面図



第9図 SD-107平・断面図



第10図 SD-117平・断面図



第7図 第1遺構面全体図

を測る。埋土は1層で緑灰色土である。遺物は土師器、須恵器、黒色土器、サヌカイト片などが出土している。

S D -116

B 7区、C 7～8区にかけて検出した。S D -115と繋がる。規模は幅約1.5 m、深さ約0.27 mを測る。埋土は1層で緑灰色土である。遺物は土師器、須恵器などが出土している。

S D - 117

B 7～8区、C 7～8区にかけて検出した。規模は幅約0.6 m、深さ約0.05 mを測る。埋土は1層で緑灰色土である。遺物は土師器が出土している。

S D -120

D 7～8区にかけて検出した。規模は幅約0.6 m、深さ約0.1 mを測る。埋土は1層で暗灰青色砂質土である。遺物は土師器、須恵器などが出土している。

## 2. 土坑

S K -101

F 3区で検出した。形態は隅丸の長方形を呈し、規模は長径約1.1 m、短径約0.7 m、深さ約0.04 mを測る。埋土は1層で暗褐色粗砂である。遺物は出土していない。

S K -102

F 3区で検出した。形態は不定形な長方形を呈し、規模は長径約0.65 m、短径約0.3 m、深さ約0.03 mを測る。埋土は1層で暗灰色土である。遺物は土師器が出土している。

S K -103

E 3区、F 3区にかけて検出した。S D - 101に切られる。形態は不定形な楕円形を呈し、規模は長径約2.1 m、短径約0.9 m、深さ約0.2 mを測る。埋土は1層で暗灰色土である。遺物は土師器が出土している。

S K -104

E 3区、F 3～4区にかけて検出した。攪乱に切られる。形態は不定形を呈し、規模は長径約3.1 m、短径約1.4 m、深さ約0.1 mを測る。埋土は2層で暗褐色土、暗茶色土である。遺物は土師器、須恵器などが出土している。

S K -106

E 4～5区にかけて検出した。形態はやや不定形な楕円形を呈し、規模は長径約2.0 m、短径約0.8 m、深さ約0.08 mを測る。埋土は1層で暗茶褐色土である。遺物は染付磁器、瓦などが出土している。

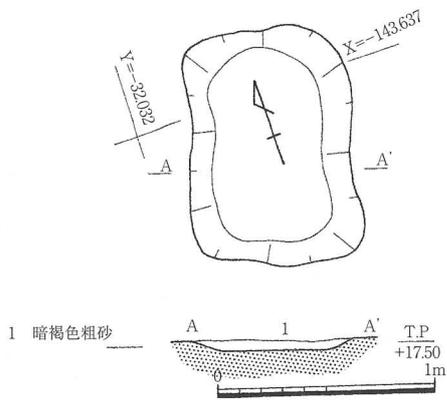
S K -107

E 5～6区、F 5～6区にかけて検出した。形態は不定形な楕円形を呈し、規模は長径約2.9 m、短径約1.2 m、深さ約0.03 mを測る。埋土は1層で灰緑色砂質土である。遺物は土師器、須恵器などが出土している。

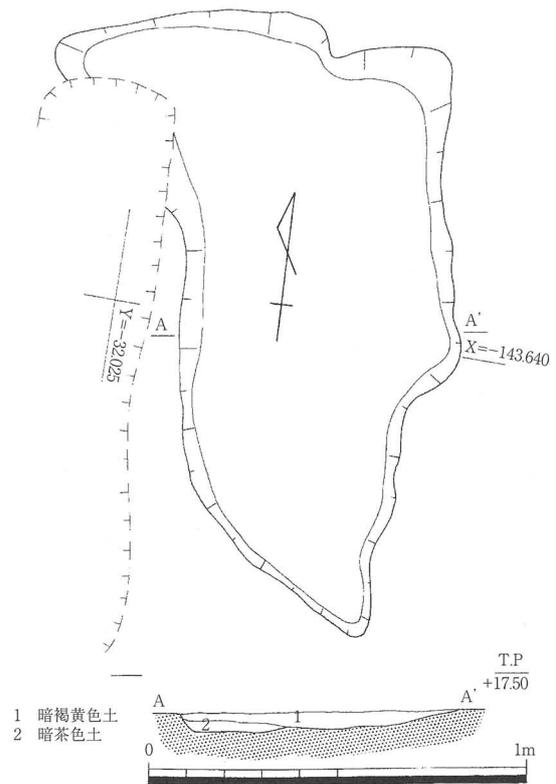
S K -109

E 6区で検出した。形態は楕円形を呈し、規模は長径約2.1 m、短径約0.7 m、深さ約0.15 mを測る。埋土は1層で暗灰緑色砂質土である。遺物は土師器、須恵器などが出土している。

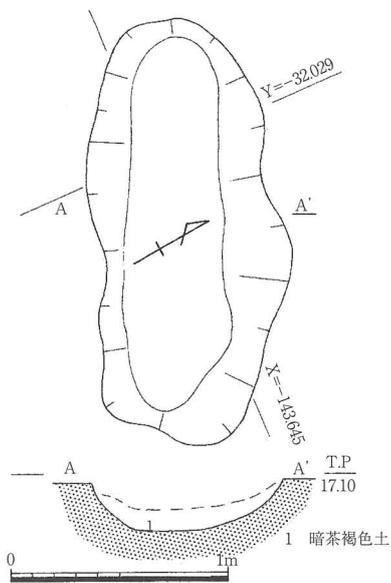
S K -110



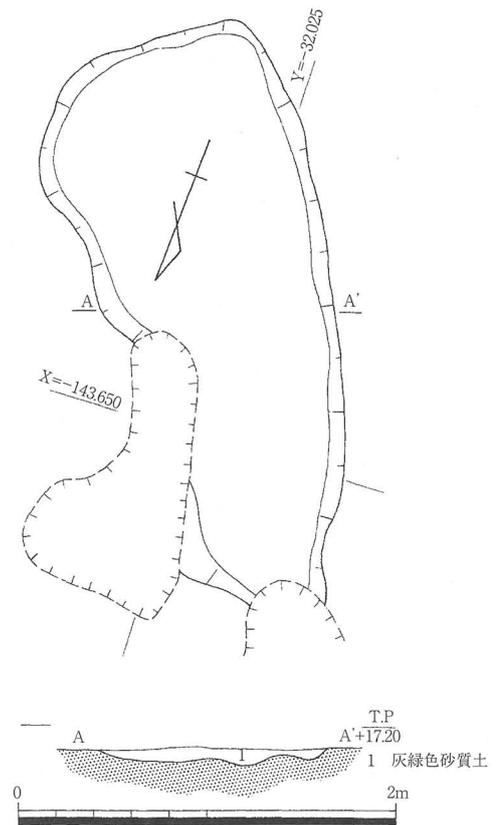
第12图 SK-101平·断面图



第13图 SK-104平·断面图



第14图 SK-106平·断面图



第15图 SK-107平·断面图

E 6区で検出した。形態はやや不定形な楕円形を呈し、規模は長径約 1.4 m、短径約 0.45 m、深さ約 0.23 mを測る。埋土は1層で暗灰緑色土である。遺物は土師器、須恵器、瓦などが出土している。  
S K -111

E 5～6区にかけて検出した。形態は楕円形を呈し、規模は長径約 1.8 m、短径約 0.6 m、深さ約 0.04 mを測る。埋土は1層で暗灰緑色土である。遺物は土師器、須恵器などが出土している。  
S K -112

F 7区で検出した。形態は不定形を呈し、規模は長径約 2.2 m、短径約 1.3 m、深さ約 0.05 mを測る。埋土は1層で灰色砂質土である。遺物は土師器、須恵器、瓦などが出土している。  
S K -115

D 6区で検出した。形態は不定形な楕円形を呈し、規模は長径約 1.0 m、短径約 0.5 m、深さ約 0.19 mを測る。埋土は1層で暗灰青色土ブロック混暗灰黄色砂である。遺物は土師器、須恵器などが出土している。  
S K -116

D 6区で検出した。形態はやや不定形な楕円形を呈し、規模は長径約 1.3 m、短径約 0.3 m、深さ約 0.22 mを測る。埋土は1層で暗灰茶色砂質土である。遺物は土師器、須恵器、瓦器、石製品などが出土している。  
S K -117

C 6区で検出した。形態は不定形を呈し、規模は長径約 3.2 m、短径約 1.6 m、深さ約 0.08 mを測る。埋土は1層で暗灰緑色土である。遺物は土師器、須恵器、瓦などが出土している。  
S K -118

B 5～6区にかけて検出した。形態は不定形を呈し、S D -111～113などに繋がる。規模はおおよそ長径約 2.8 m、短径約 1.5 m、深さ約 0.05 mを測る。遺物は土師器、須恵器などが出土している。  
S K -119

D 7区で検出した。試掘坑に切られる。形態は不定形を呈し、規模は明らかでないが深さは約 0.31 mを測る。埋土は2層で暗灰緑色砂質土、暗灰緑色粘質土である。遺物は土師器、須恵器などが出土している。  
S K -120

D 7区で検出した。形態はやや不定形な楕円形を呈し、規模は長径約 1.2 m、短径約 0.7 m、深さ約 0.2 mを測る。埋土は1層で暗灰黄色粗砂である。遺物は土師器、須恵器、瓦器などが出土している。  
S K -122

C 7～8区にかけて検出した。試掘坑に切られる。形態は不定形な楕円形を呈し、規模は長径約 0.4 m、短径約 0.2 m、深さ約 0.14 mを測る。埋土は1層で暗黄灰色砂である。遺物は土師器、須恵器などが出土している。

### 3. ピット

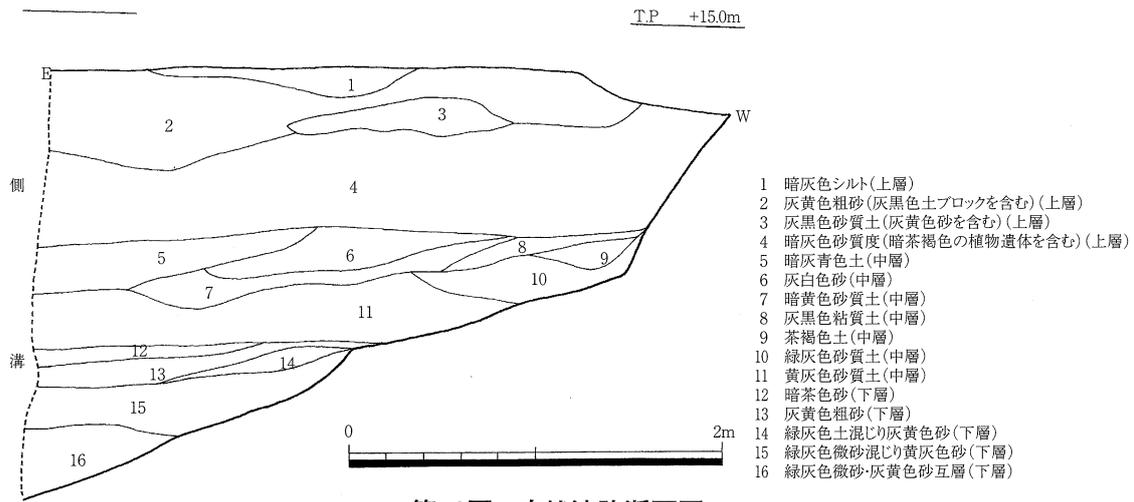
11基を検出した。建物を構成すると考えられるものは認められなかった。形態は円～楕円形のものが主体をなし、規模は径約 0.2～0.4 m、深さ約 0.05～0.2前後のものが主体をなす。遺物は土師器、須恵器などが出土している。

### 第3節 第2遺構面上面遺構

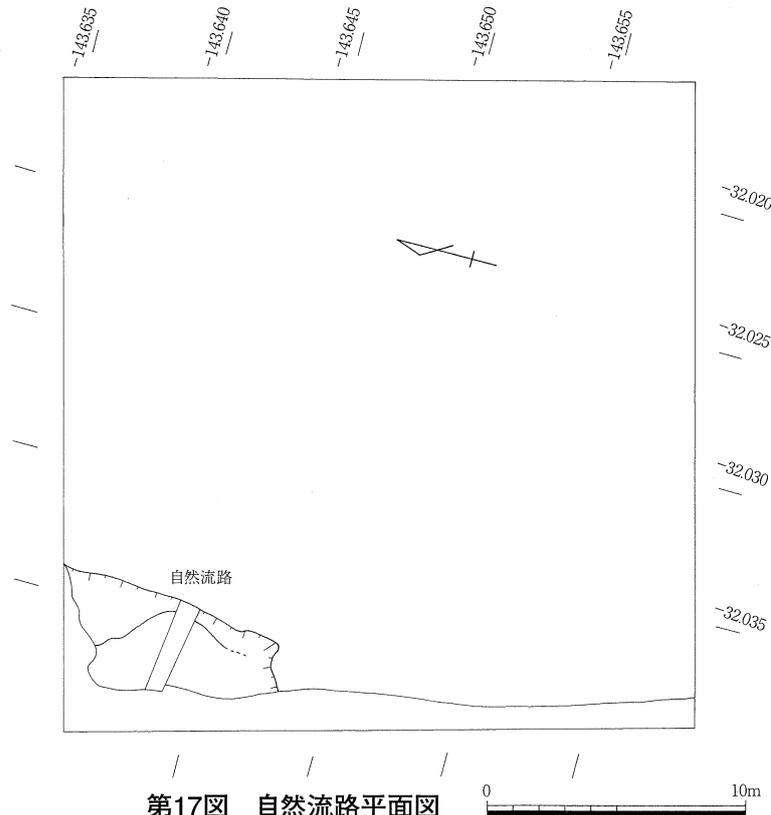
基本層序第VI層をベース面として自然流路、自然木（根株？）などを検出している。標高は自然流路の肩部で T.P. + 14.8 m を測る。

#### 1. 自然流路

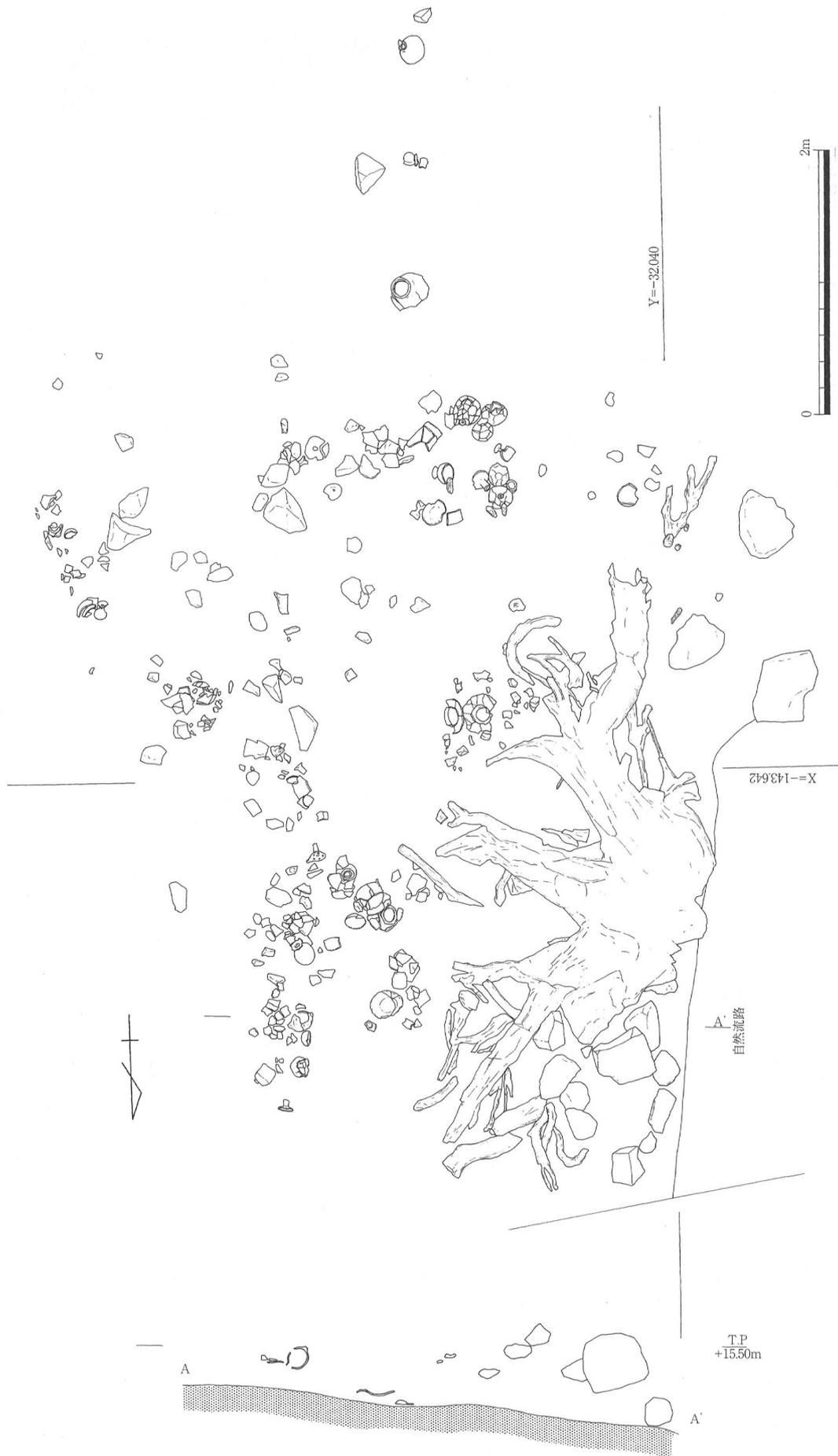
B 3～5区、C 3～5区にかけて検出した。規模は調査区外に広がるため明らかでないが、深さは最深部で2.3 mを測った。埋土は大きく上・中・下層に分けられ、上層は灰色系の粗砂、シルト、砂質土で、中層は灰色系の砂、粗砂が主体をなす。また下層では黄灰色系の砂、粗砂が主体をなす。遺物は多量に出土しており、弥生土器、土師器、須恵器、韓式系土器、瓦、木製品、石製品、獣骨などが出土している。また肩部では自然木（根株？）を切る状況であった。



第16図 自然流路断面図



第17図 自然流路平面図



第18图 根株周辺遺物出土状況

#### 第4節 第2遺構面

基本層序第Ⅷ・Ⅸ層をベース面として溝、土坑、落込み状遺構、ピット、鋤溝などを検出している。標高は北東部で T.P. + 17.4 m、南西部で T.P. + 12.8 m を測る。

##### 1. 溝

S D -201

D 7 区で検出した。規模は幅約 0.25 m、深さ約 0.04 m を測る。遺物は出土していない。

##### 2. 土坑

S K -201

G 7 区で検出した。形態は不定形を呈する。規模は調査区外に広がるため明らかではないが、深さは約 0.08 m を測る。埋土は 1 層で暗茶褐色砂である。遺物は出土していない。

S K -202

F 7 区で検出した。形態は楕円形を呈し、規模は長径約 0.7 m、短径約 0.45 m、深さ約 0.28 を測る。遺物は出土していない。

S K -203

F 7 区で検出した。形態は不定形な楕円形を呈し、規模は長径約 2.4 m、短径約 1.2 m、深さ約 0.12 m を測る。埋土は 1 層で褐灰色土である。遺物は土師器、須恵器などが出土している。

S K -204

F 7 区で検出した。形態は楕円形を呈し、規模は長径約 0.75 m、短径約 0.3 m、深さ約 0.05 m を測る。埋土は 1 層で暗褐色砂質土である。遺物は出土していない。

S K -205

F 7 区で検出した。形態は楕円形を呈し、規模は長径約 0.7 m、短径約 0.45 m、深さ約 0.07 m を測る。遺物は土師器が出土している。

S K -206

F 7 区で検出した。形態は楕円形を呈し、規模は長径約 0.7 m、短径約 0.45 m、深さ約 0.14 m を測る。埋土は 1 層で暗灰色砂質土である。土師器、須恵器などが出土している。

S K -207

F 6 区で検出した。形態は楕円形を呈し、規模は長径約 0.8 m、短径約 0.5 m、深さ約 0.07 m を測る。埋土は 1 層で暗褐色砂質土である。遺物は出土していない。

S K -208

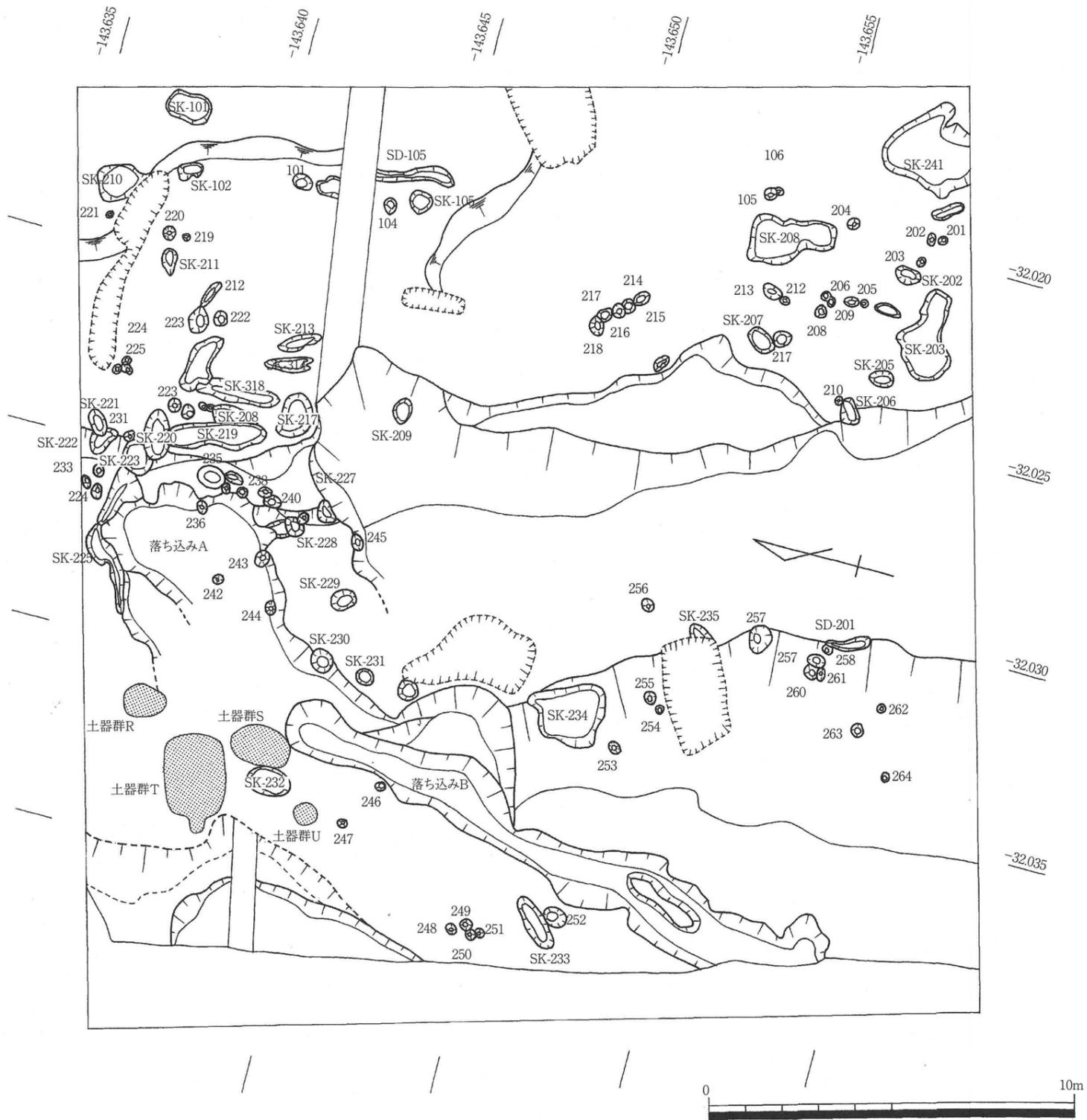
G 6～7 区、F 6～7 区にかけて検出した。形態は不定形な楕円形を呈し、規模は長径約 2.2 m、短径約 1.1 m、深さ約 0.08 m を測る。埋土は 1 層で暗灰色土である。遺物は土師器、須恵器などが出土している。

S K -209

E 4～5 区にかけて検出した。形態は楕円形を呈し、規模は長径約 0.65 m、短径約 0.5 m、深さ約 0.12 m を測る。埋土は 1 層で暗灰色砂質土である。遺物は土師器が出土している。

S K -210

F 3 区で検出した。形態は楕円形を呈し、規模は長径約 1.2 m、短径約 0.9 m、深さ約 0.1 m を測る。



第19図 第2遺構面全体図

遺物は土師器が出土している。

S K -211

E 3 区、F 3 区にかけて検出した。形態は楕円形を呈し、規模は長径約 0.7 m、短径約 0.45 m、深さ約 0.06 m を測る。埋土は 1 層で灰色砂質土である。遺物は出土していない。

S K -212

E 3 区で検出した。形態は楕円形を呈し、規模は長径約 0.8 m、短径約 0.2 m、深さ約 0.04 m を測る。埋土は 1 層で暗灰色砂質土である。遺物は須恵器が出土している。

S K -213

E 4 区で検出した。形態は不定形な楕円形を呈し、規模は長径約 1.2 m、短径約 0.3 m、深さ約 0.06 m を測る。埋土は 1 層で灰色砂質土である。遺物は出土していない。

S K -214

E 4 区で検出した。形態は不定形な楕円形を呈し、規模は長径約 1.1 m、短径約 0.3 m、深さ約 0.1 m を測る。埋土は 1 層で灰色砂質土である。遺物は出土していない。

S K -215

E 3 区で検出した。S K -216 を切る。形態は不定形な楕円形を呈し、規模は長径約 1.7 m、短径約 0.6 m、深さ約 0.15 m を測る。埋土は 1 層で灰色土である。遺物は土師器、須恵器などが出土している。

S K -216

E 3～4 区にかけて検出した。S K - 215 に切られる。形態は楕円形を呈し、規模は長径約 2.2 m、短径約 0.5 m、深さ約 0.13 m を測る。埋土は 1 層で暗茶灰色土である。遺物は土師器、須恵器などが出土している。

S K -217

E 4 区で検出した。形態は楕円形を呈し、規模は長径約 1.2 m、短径約 0.8 m、深さ約 0.21 m を測る。埋土は 3 層で暗灰黄色土、緑灰色混茶褐色土、暗茶褐色土である。遺物は土師器、須恵器などが出土している。

S K -218

E 3～4 区にかけて検出した。形態・規模は S K - 219 に切られているため明らかでないが、深さは約 0.34 m を測る。埋土は 2 層で暗茶褐色土、暗灰色砂質土である。遺物は土師器、須恵器などが出土している。

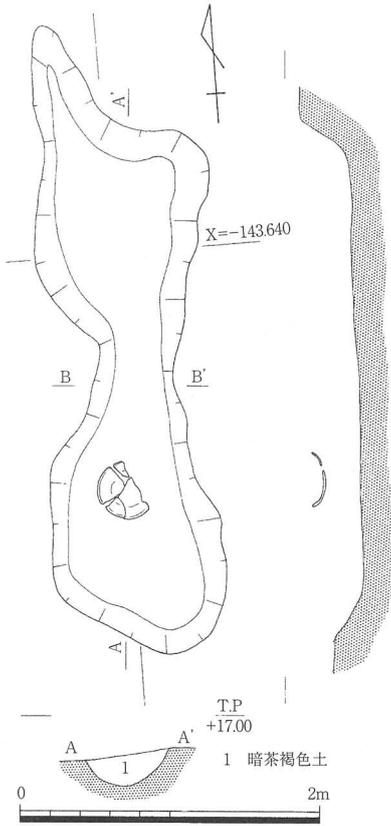
S K -219

E 3～4 区にかけて検出した。S K - 218 を切る。形態は楕円形を呈し、規模は長径約 2.7 m、短径約 0.7 m、深さ約 0.05 m を測る。埋土は 1 層で茶褐色土である。遺物は土師器、須恵器などが出土している。

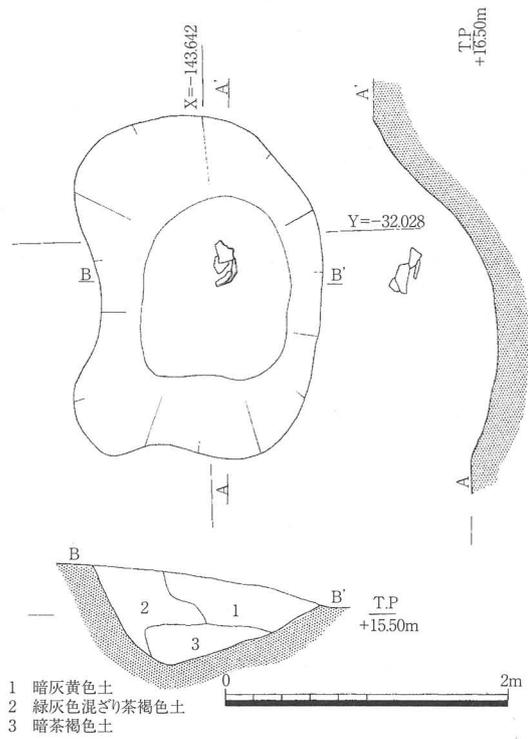
S K -220

D 3 区、E 3 区にかけて検出した。S K - 219 に切られる。形態は楕円形を呈し、規模は長径約 1.3 m、短径約 0.6 m、深さ約 0.48 m を測る。埋土は 1 層で茶黄色土である。遺物は土師器、須恵器などが出土している。

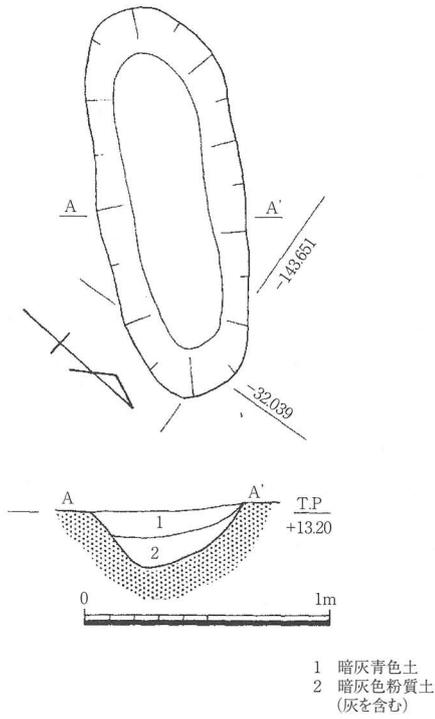
S K -221



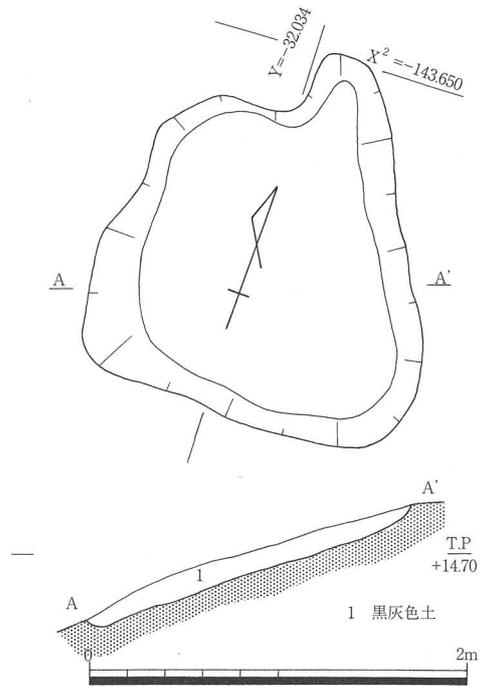
第20図 SK-216平・断・遺物出土状況図



第21図 SK-217平・断・遺物出土状況図



第22図 SK-233平・断面図



第23図 SK-234平・断面図

E 3区で検出した。SK-222を切る。形態は楕円形を呈し、規模は長径約0.7 m、短径約0.4 m、深さ約0.09 mを測る。埋土は1層で茶褐色土である。遺物は土師器が出土している。

SK-222

D 3区、E 3区にかけて検出した。SK-221に切られる。形態は楕円形を呈し、規模は長径約0.8 m、短径約0.5 m、深さ約0.12 mを測る。埋土は1層で茶褐色土である。遺物は土師器が出土している。

SK-223

D 3区、E 4区にかけて検出した。SK-220に切られる。形態は楕円形を呈し、規模は長径約0.9 m、短径約0.8 m、深さ約0.04 mを測る。埋土は1層で茶褐色土である。遺物は土師器が出土している。

SK-224

D 3区で検出した。SK-223に切られる。形態は不定形な楕円形を呈し、規模は長径約1.6 m、短径約0.9 m、深さ約0.36 mを測る。遺物は土師器が出土している。

SK-225

D 3区で検出した。SK-220に切られる。形態は不定形を呈し、規模は長径約2.5 m、短径約0.6 m、深さ約0.2 mを測る。遺物は弥生土器、土師器などが出土している。

SK-226

D 3～4区にかけて検出した。形態は楕円形を呈し、規模は長径約0.7 m、短径約0.6 m、深さ約0.15 mを測る。埋土は2層で暗茶褐色土、暗灰色粘質土である。遺物は土師器、須恵器などが出土している。

SK-227

D 4区で検出した。形態は不定形な楕円形を呈し、規模は長径約0.6 m、短径約0.4 m、深さ約0.15 mを測る。埋土は1層で暗茶褐色粘質土である。遺物は土師器、須恵器などが出土している。

SK-228

D 4区で検出した。形態・規模は落込みAなどに切られているため明らかでない。遺物は土師器が出土している。

SK-229

D 4区で検出した。形態は楕円形を呈し、規模は長径約0.65 m、短径約0.5 m、深さ約0.21 mを測る。埋土は1層で暗茶褐色土である。遺物は土師器、須恵器などが出土している。

SK-230

D 4区で検出した。形態は円形を呈し、規模は径約0.6 m、深さ約0.28 mを測る。埋土は1層で暗灰黒色土である。遺物は弥生土器、土師器などが出土している。

SK-231

D 5区で検出した。形態は円形を呈し、規模は径約0.5 m、短径約0.5 m、深さ約0.17 mを測る。埋土は1層で暗灰黒色土である。遺物は土師器が出土している。

SK-232

C 4区で検出した。形態は楕円形を呈し、規模は長径約1.2 m、短径約0.7 m、深さ約0.13 mを測る。遺物は土師器が出土している。

SK-233

B 6 区、C 6 区にかけて検出した。形態は楕円形を呈し、規模は長径約 1.6 m、短径約 0.55 m、深さ約 0.21 m を測る。埋土は 2 層で暗灰青色土、暗灰色粘質土である。遺物は土師器、須恵器などが出土している。

S K -234

D 5 ～ 6 区にかけて検出した。形態は不定形な長方形を呈し、規模は長径約 1.7 m、短径約 1.5 m、深さ約 0.05 m を測る。遺物は出土していない。

S K -235

D 6 区で検出した。形態・規模は試掘坑に切られているため明らかでないが、深さ約 0.13 m を測る。埋土は 1 層で暗茶色土である。遺物は土師器が出土している。

### 3. 落込み状遺構

#### 落込み A

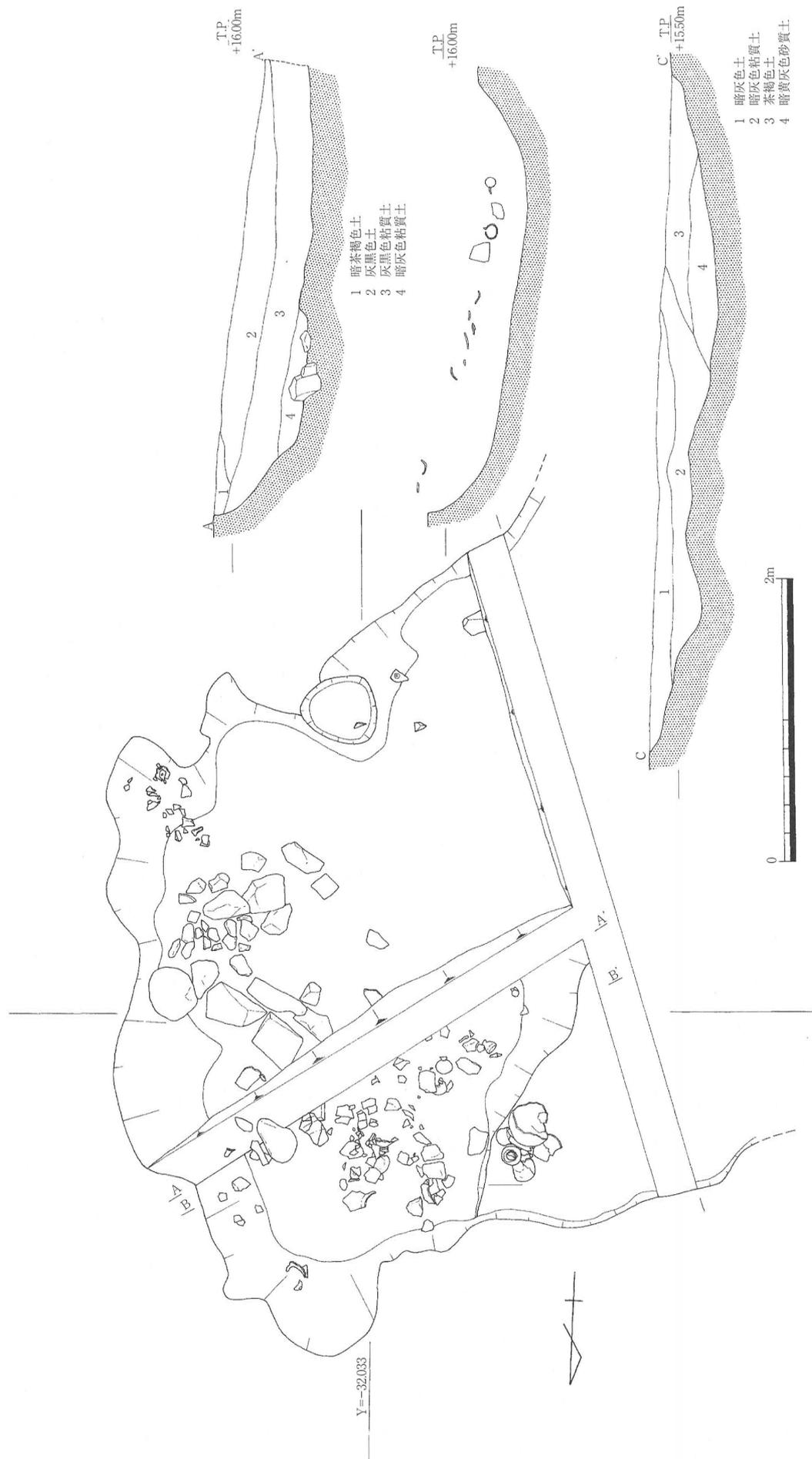
C 3 ～ 5 区、D 3 ～ 5 区にかけて検出した。西側に向かって落込んでいく状況をていしているが、東側では土坑状の形態をなしている。規模は幅約 4.7 m を測り、深さは 0.2 ～ 0.5 m を測る。埋土は 4 層で暗灰色土、暗灰色粘質土、茶褐色土、暗黄灰色粘質土である。遺物はまとめて出土しており、土師器、須恵器、韓式系土器、滑石製有孔円板などが出土している。

#### 落込み B

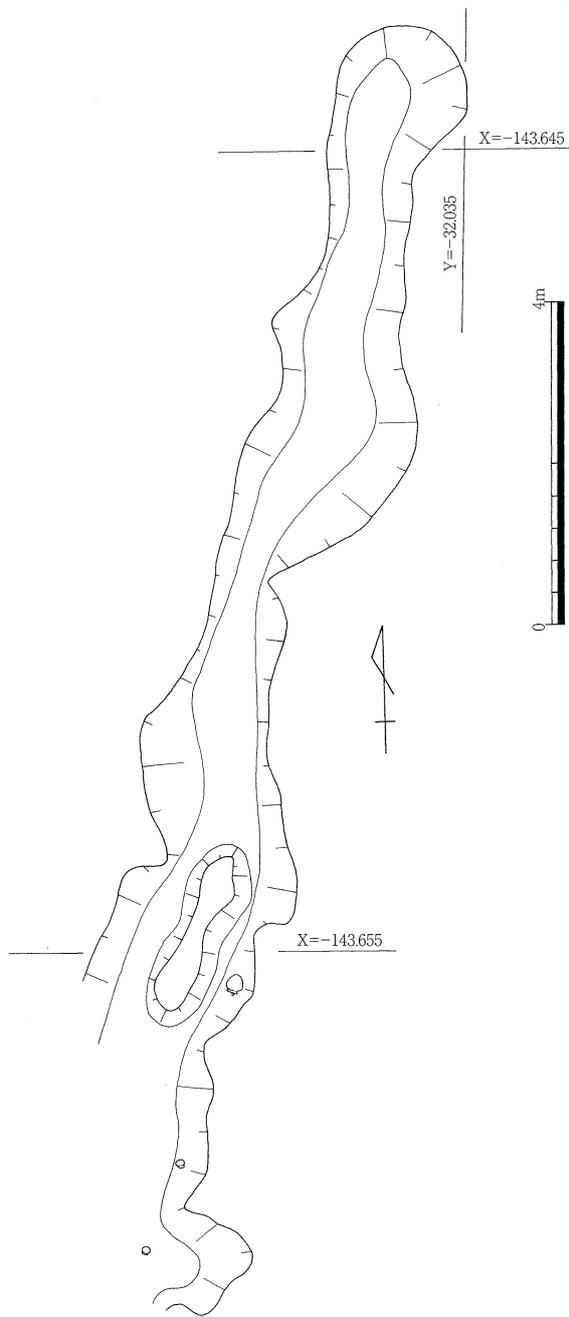
C 4 ～ 7 区にかけて検出した。当初、西側に向かって落込んでいくものと思われたが、溝状を呈するものであった。規模は幅約 0.1 ～ 0.2 m、深さ約 0.2 ～ 0.4 m を測る。埋土は砂が主体を成していた。遺物はまとめて出土しており、縄文土器、弥生土器、土師器、石錘などが出土している。

### 4. ピット

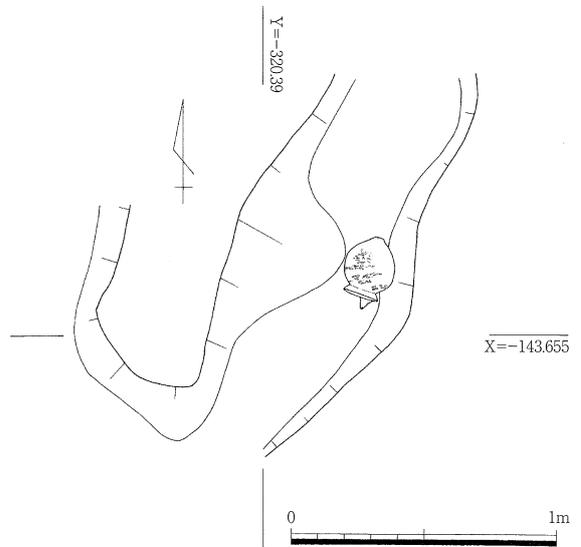
64 基を検出した。建物を構成すると考えられるものは認められなかった。形態は円～楕円形のものが主体をなし、規模は径約 0.2 ～ 0.3 m、深さ約 0.1 ～ 0.2 前後のものが主体をなす。埋土は茶褐色土が主体をなしている。遺物は土師器、須恵器などが出土している。



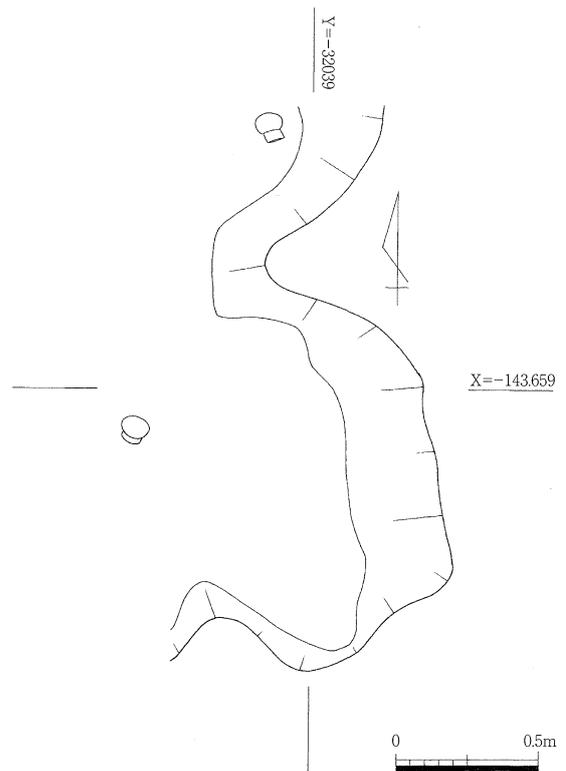
第24図 落ち込みA平・断・遺物出土状況図



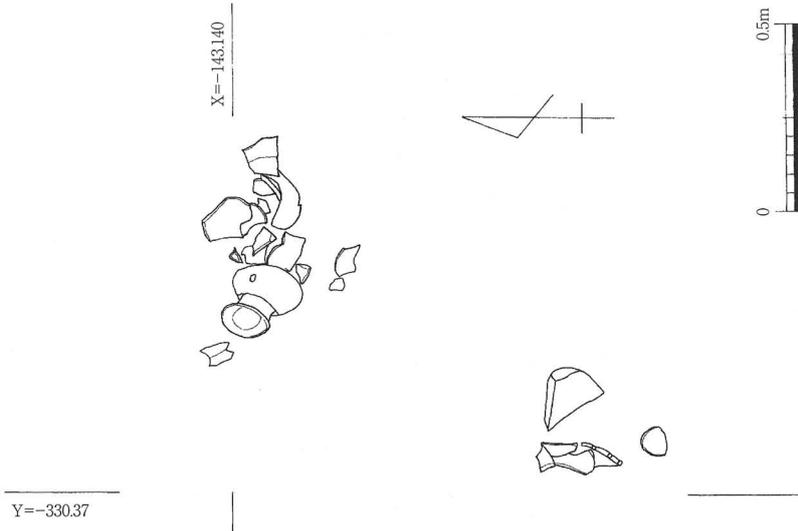
第25図 落ち込みB平面図



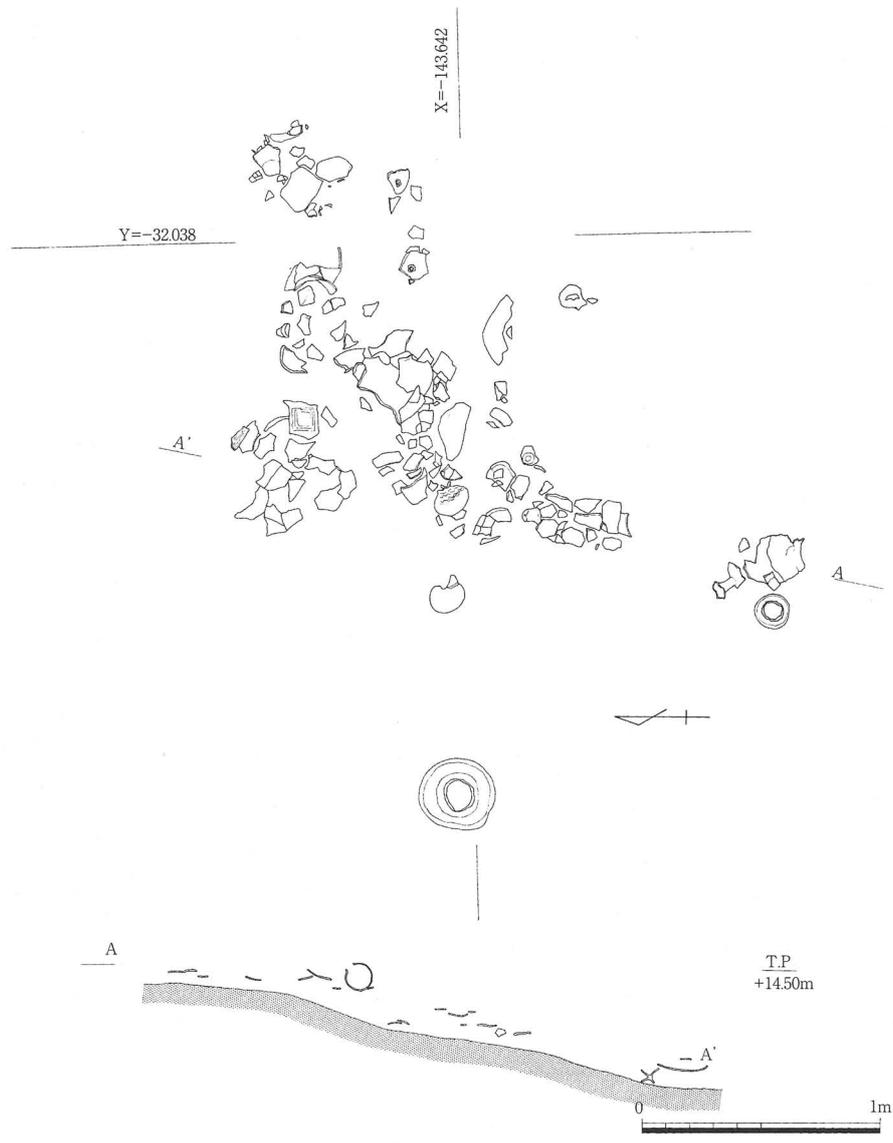
第26図 落ち込みB遺物出土状況図(1)



第27図 落ち込みB遺物出土状況図(2)



第28図 土器群R出土状況図



第29図 土器群S・T・U出土状況図

## 第5章 まとめ

今回の調査では3面の遺構面を確認し、それぞれにおいて遺構、また大量の遺物が出土し鍋田川遺跡の様相を知るうえで多大な成果を得ることができた。以下、各遺構面の調査成果について概括し、まとめとしたい。

### 〔第1遺構面〕

第1遺構面では調査区中央で南北に走る石垣と石組水路が良好な状態で残されていた。この石垣と石組水路は近～現代に比定されることから大阪産業大学が誘致される以前は段状に開発された耕作地であったことが窺える。特に西側では畑の畝も良好に残されていた状況で確認され、検出された遺構も近世以降から引き続いた耕作地の痕跡であったことを思わせる。また、石垣の東側では開発における削平のため残存状況は良好ではないが、時期的には概ね中世以降と思われる溝、土坑、鋤溝を確認できるものであり、今回の調査地においてほぼ中世以降については耕作地であったことが考えられる。

### 〔第2遺構面上面遺構〕

調査区北西部分において第2遺構面とは層位的に異なるため単独的な検出状況になった自然流路であるが、調査区東側で検出した第2遺構面の遺構群との関連性が考えられるものと思われる。時期的には古墳～奈良時代を中心としたものであるが、当時においては東西に流れる鍋田川と、おそらく南北に流れるこの自然流路があり、その周辺に集落が営まれていた状況を示すものであろう。

### 〔第2遺構面〕

この遺構面においても明確な集落跡という様相は認められなかったが、調査区西側における包含層での膨大な遺物の出土量を鑑みるに当時の人々の活発な活動を窺い知ることができる。時期的には古墳時代前期から中期にかけてが中心であり、特に注目されるものとして遺構的なものでは樹木の周囲に多くの土器が集積し、聖樹信仰を思わせるかのような様相を示すものがあり、また遺物では穿孔された土器、不思議な文様を線刻した土器など、祭祀的様相を示すものが出土している。そして、それに関連するような玉類を製作していたと思われる砥石類も出土しており、非常に祭祀的色彩を感じさせる成果内容であった。

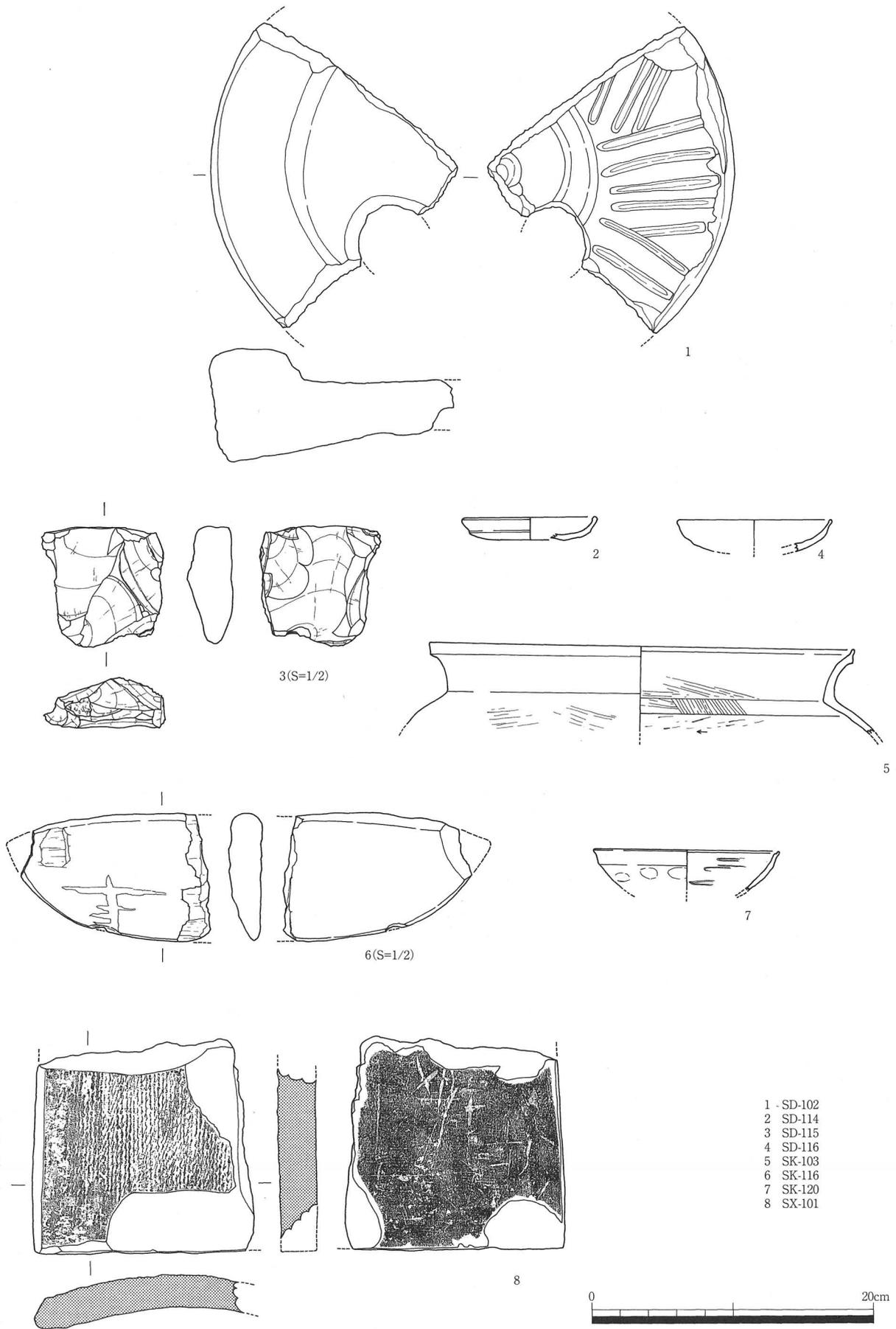
また、多くの韓式系土器の出土や陶質土器の出土は渡来人の影響を大きく受けているものであり、当時、河内湖東岸であったこの地の地理的環境を反映した成果の内容もこの鍋田川遺跡の特徴の一つと言えるであろう。

鍋田川遺跡は昭和33年9月の砂防堰堤工事の際に発見されて以来、現在に至るまで大東市教育委員会において3次にわたる調査、大阪府教育委員会においては2次にわたる調査が実施されてきた。結果、当初の出土遺物の内容から祭祀遺跡としての多大な評価を得ていたが、時間を経るなか、縄文から近世までの複合遺跡であったという一般的評価が定着していく感があった。しかし前述したように今回の調査成果では祭祀遺跡との評価をあらためて再認識させるもので、鍋田川が急峻な山地から平地に流れた地形的状況に対して、当時の人々の自然に対する畏怖の念を垣間見ることができたと思われる。

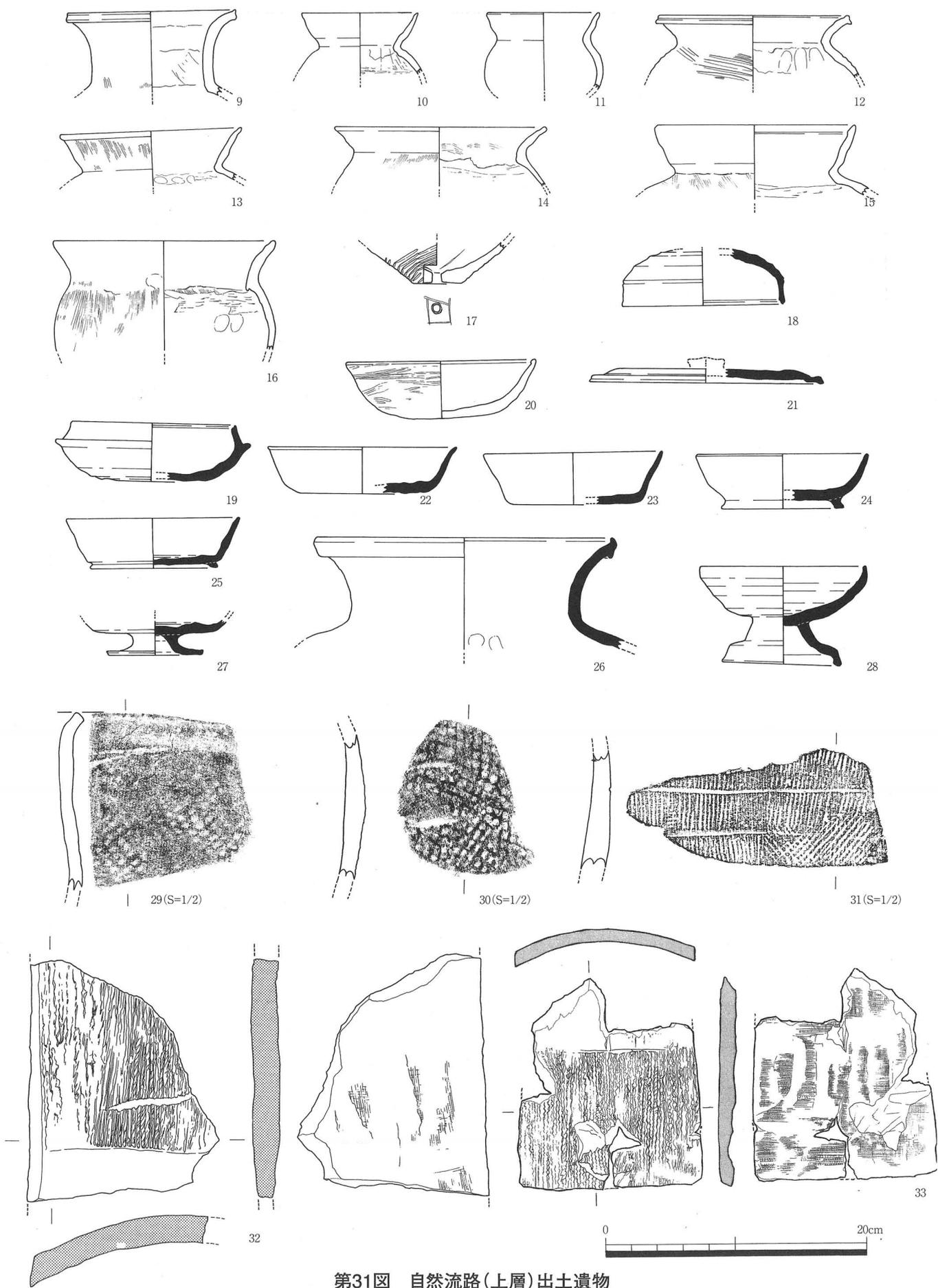
今後の調査に期待するところも大きいですが、当時の人々の精神社会を復元するうえで鍋田川遺跡は重要な地位を占めるものと思われる。

遺物実測図  
遺物一覽表

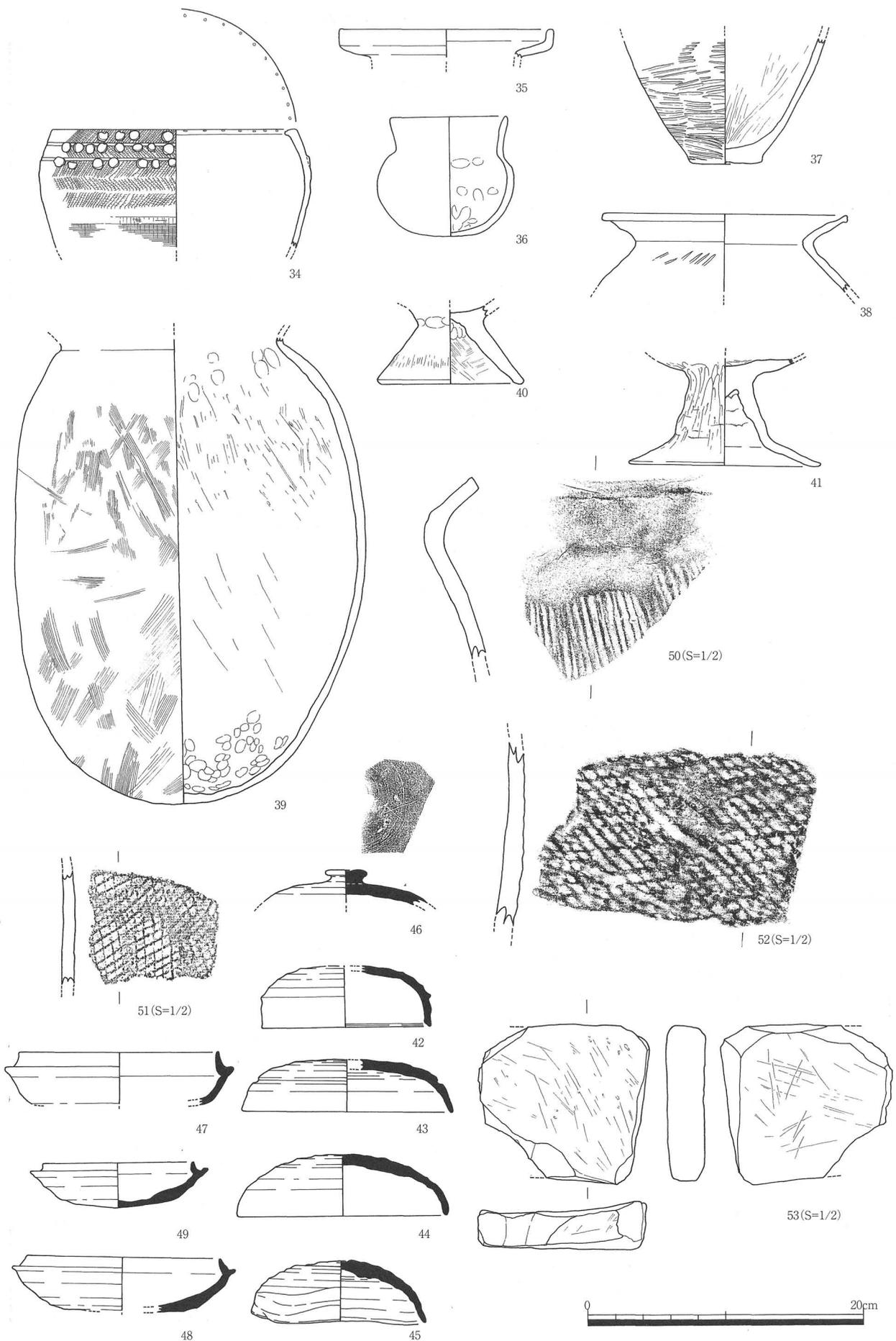




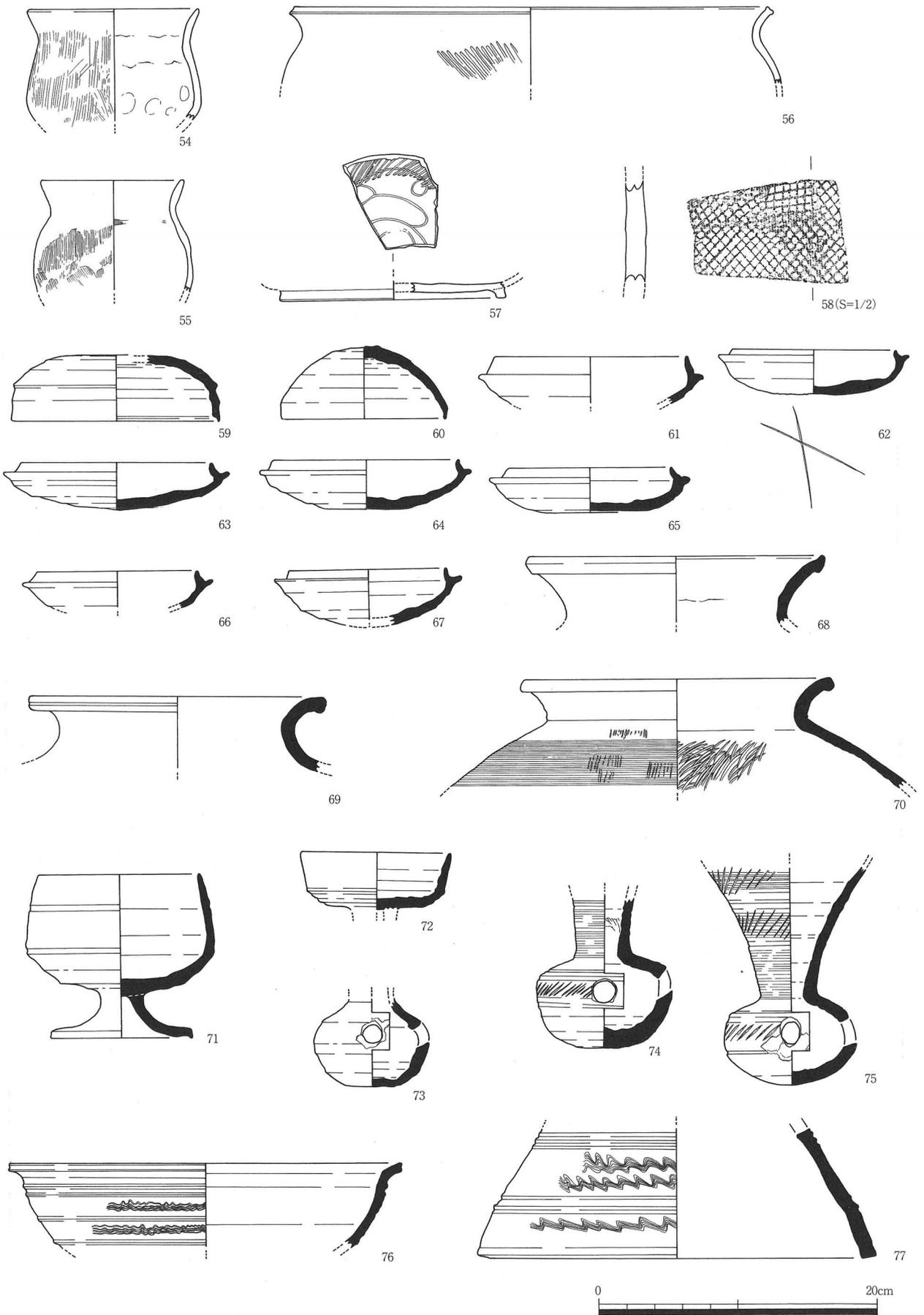
第30図 第1遺構面各遺構出土遺物



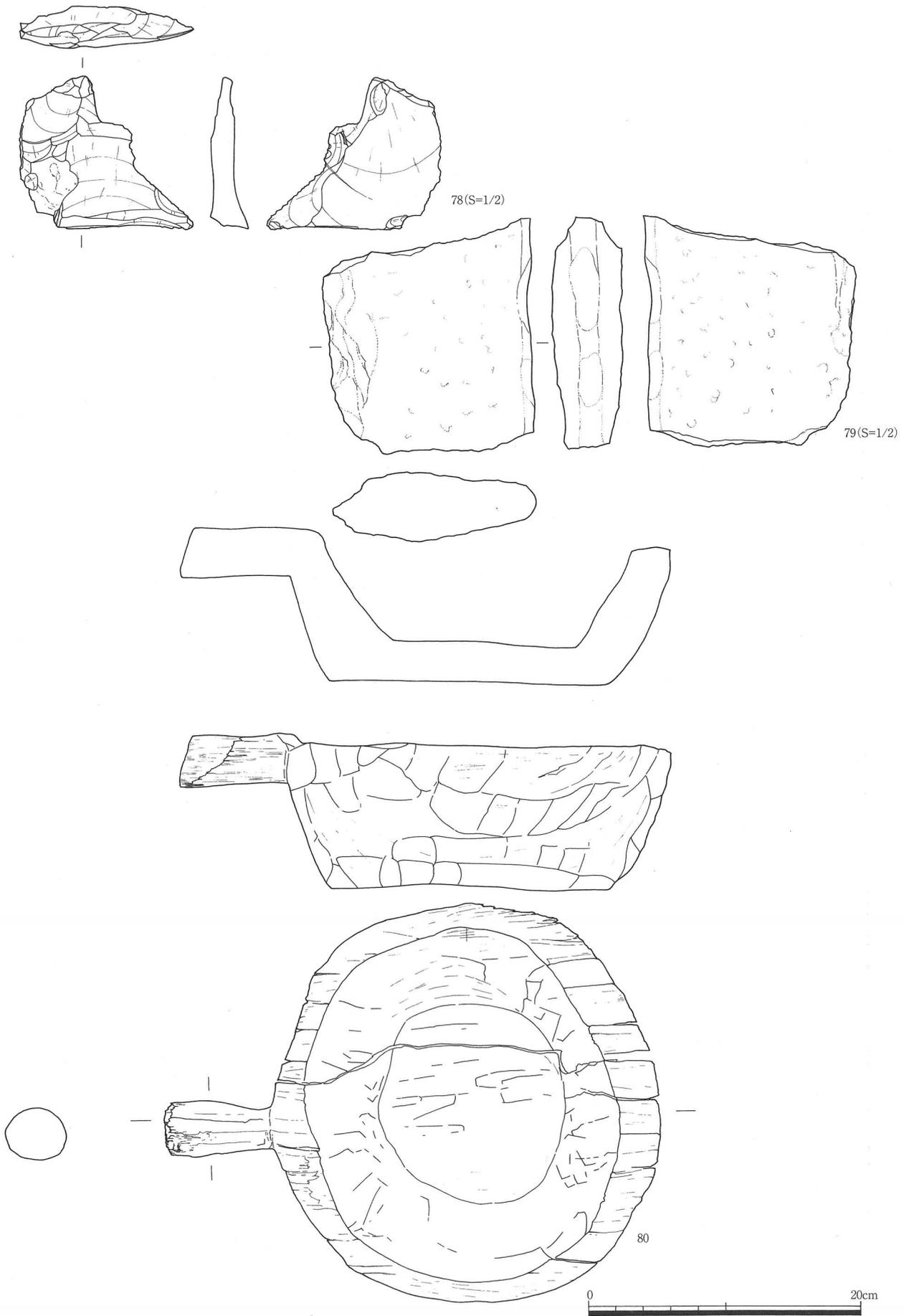
第31図 自然流路(上層)出土遺物



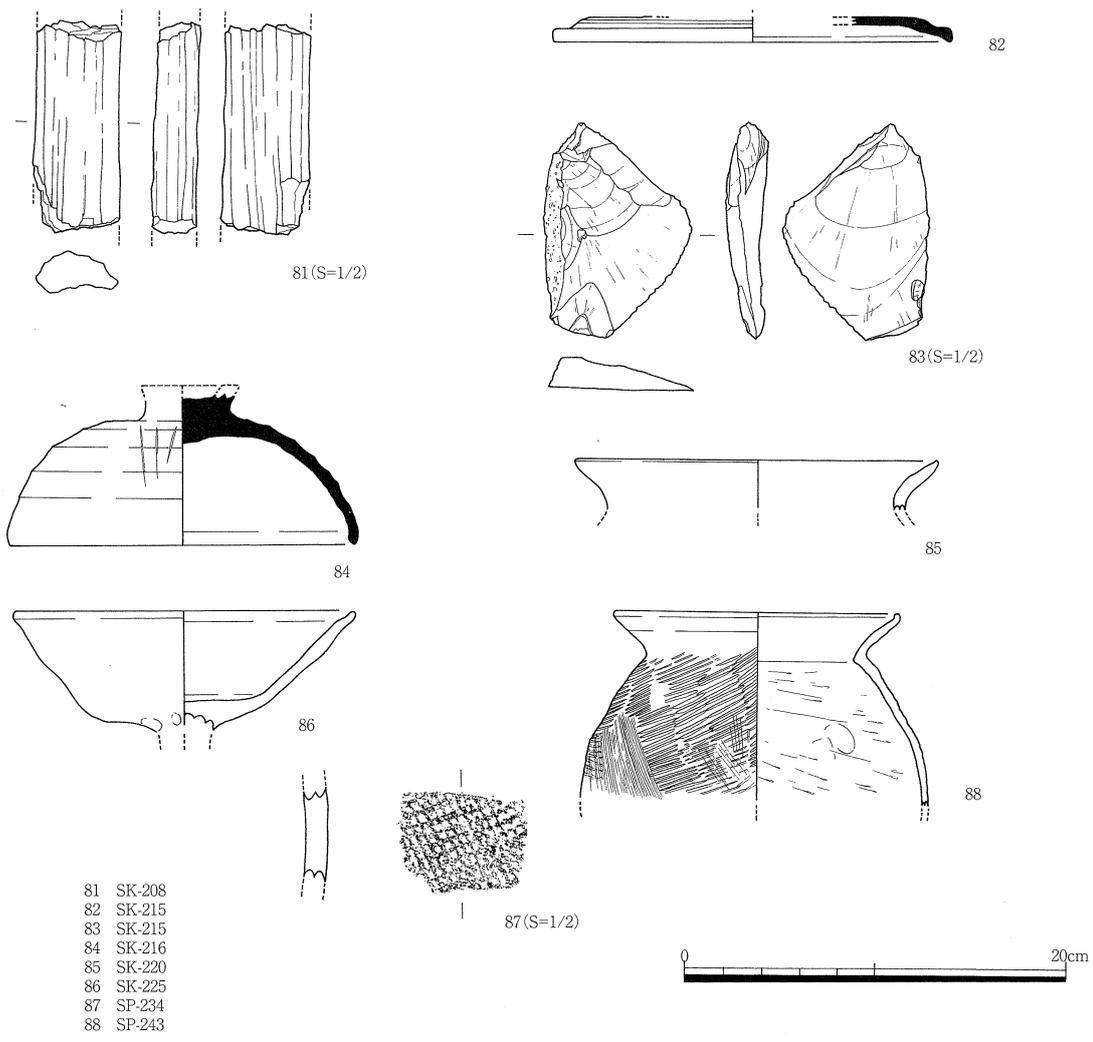
第32圖 自然流路(中層)出土遺物



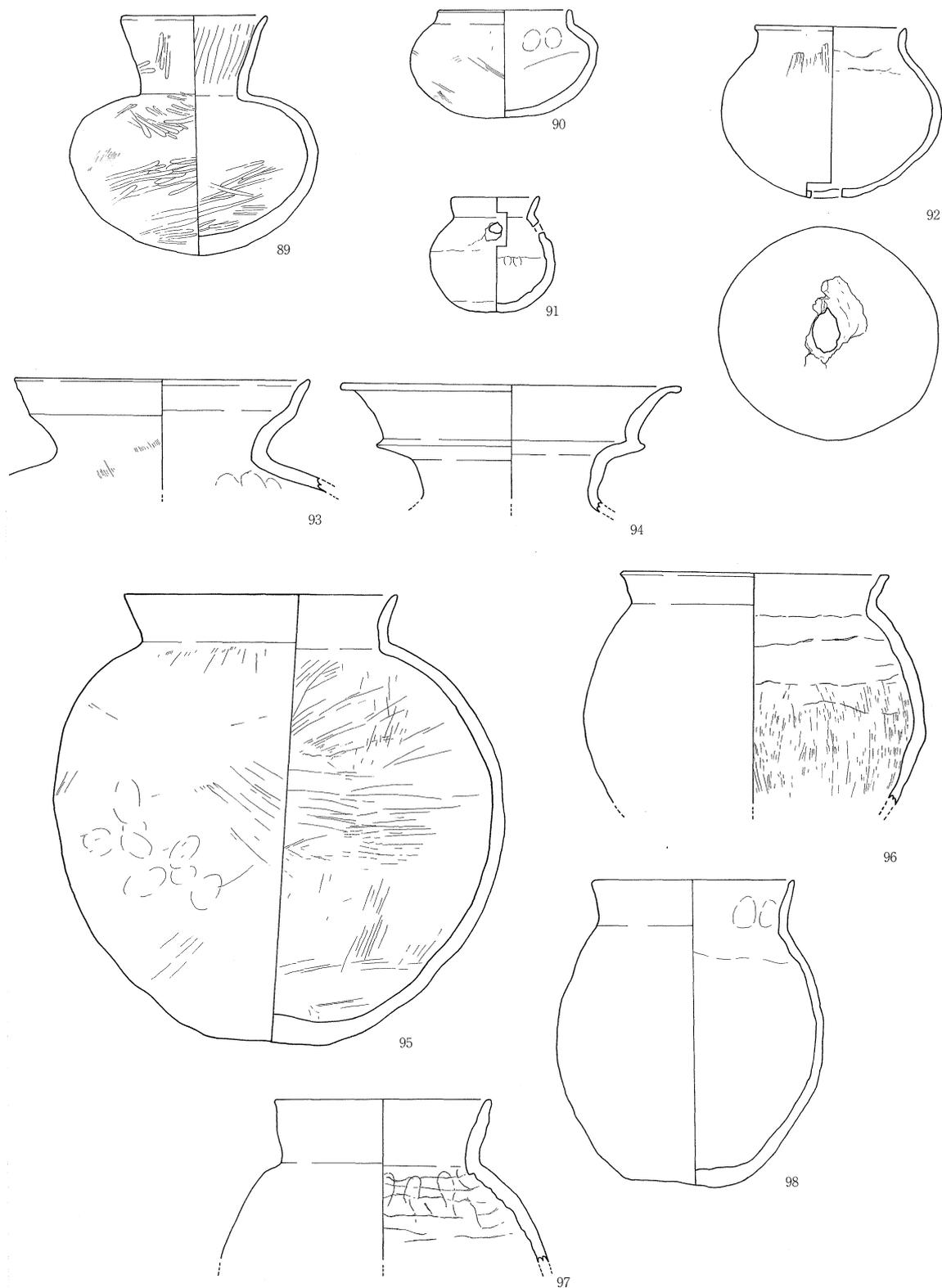
第33図 自然流路(下層)出土遺物(1)



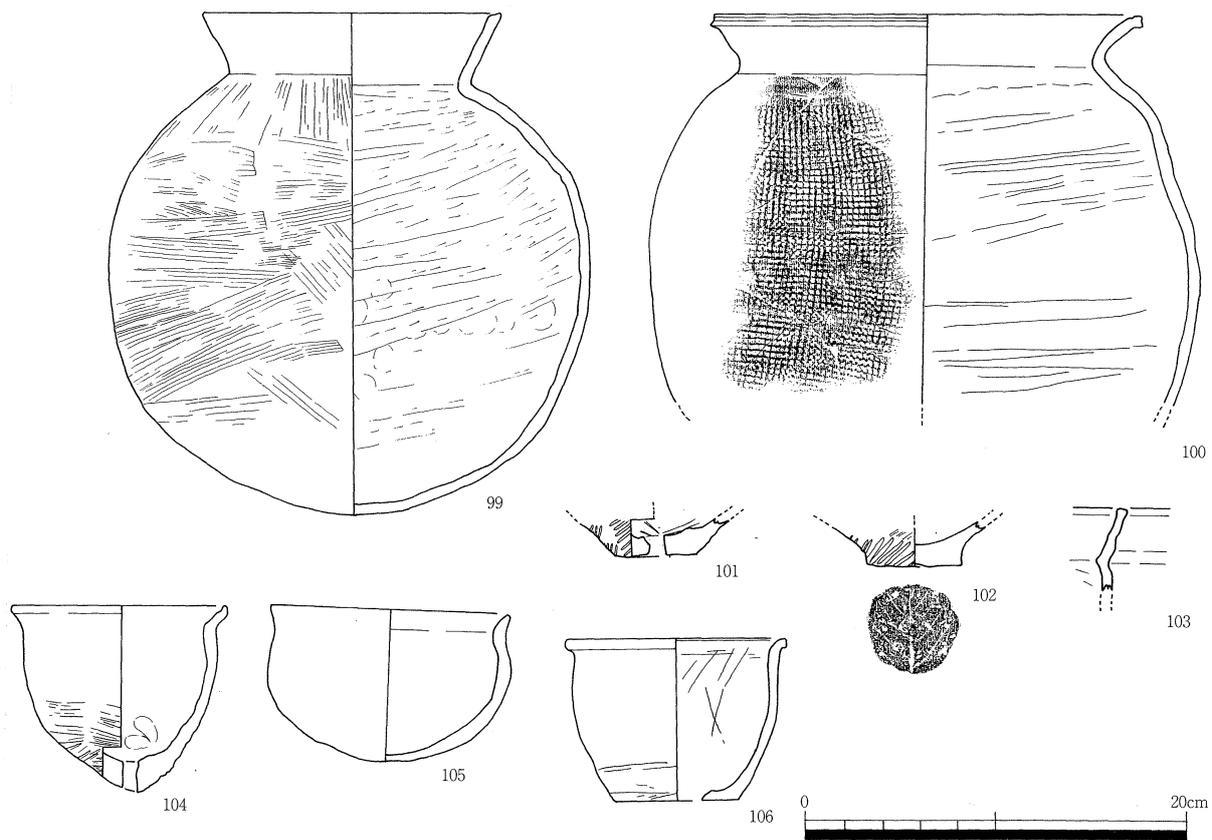
第34図 自然流路(下層)出土遺物(2)



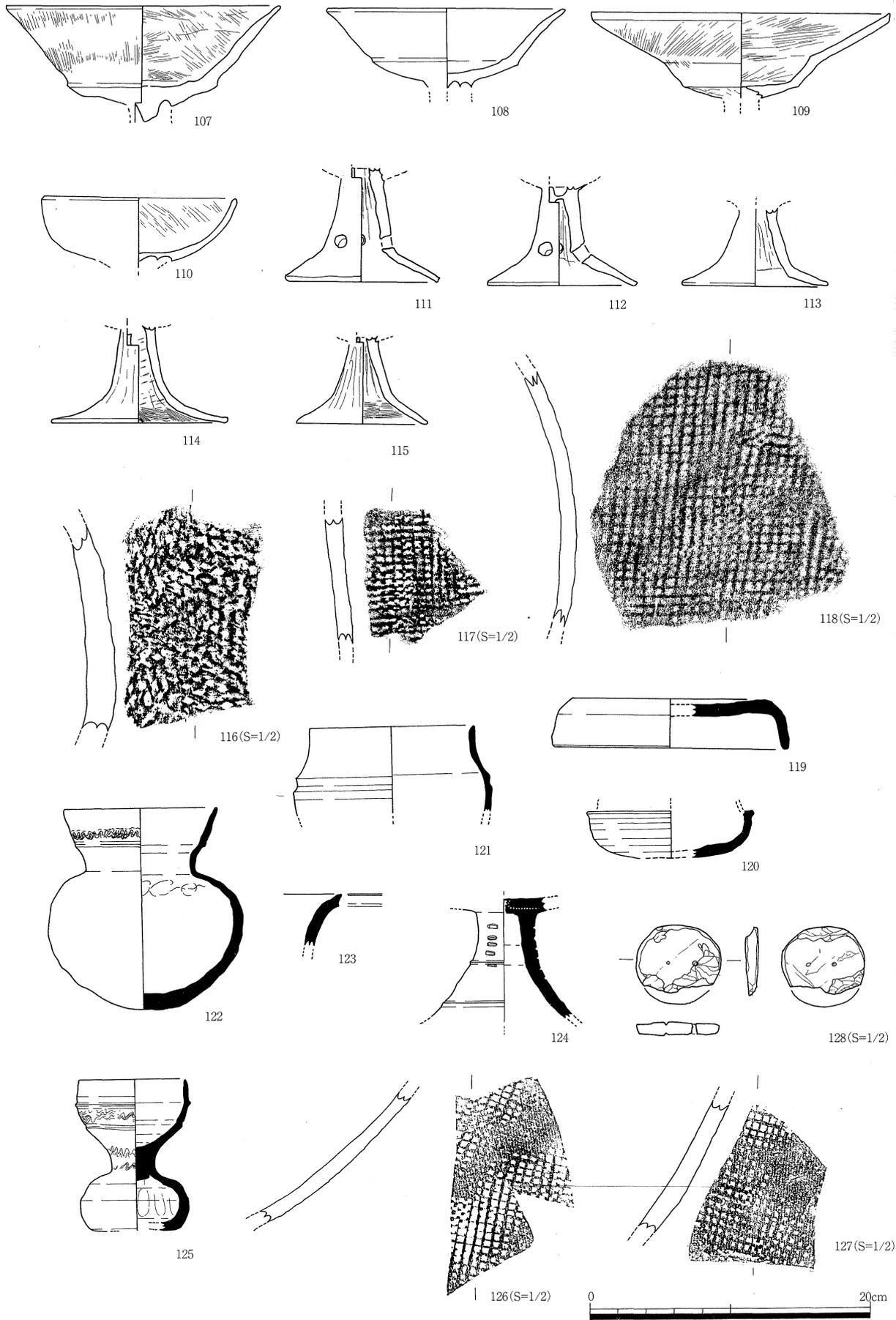
第35図 第2遺構面各遺構出土遺物



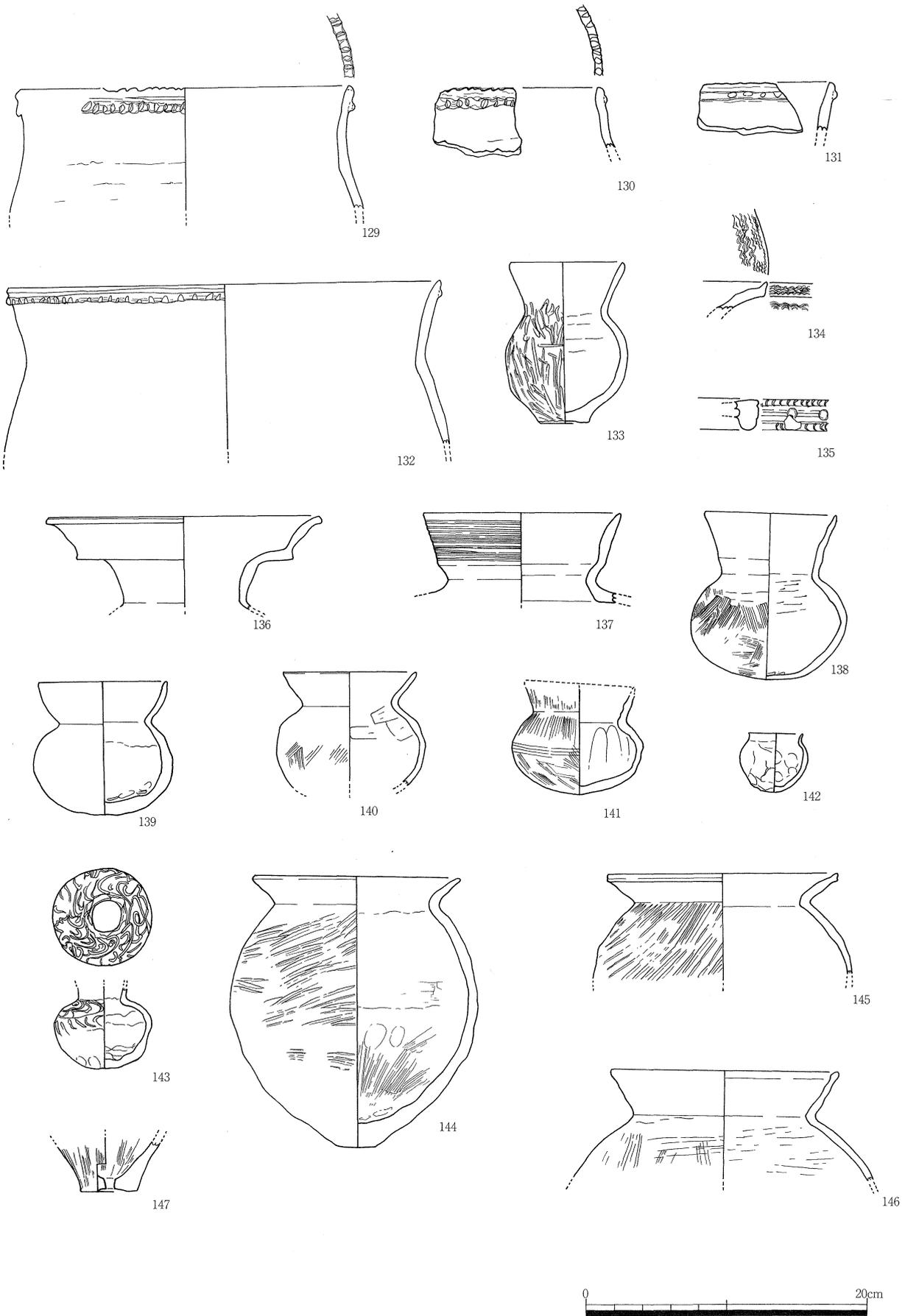
第36図 落ち込みA出土遺物(1)



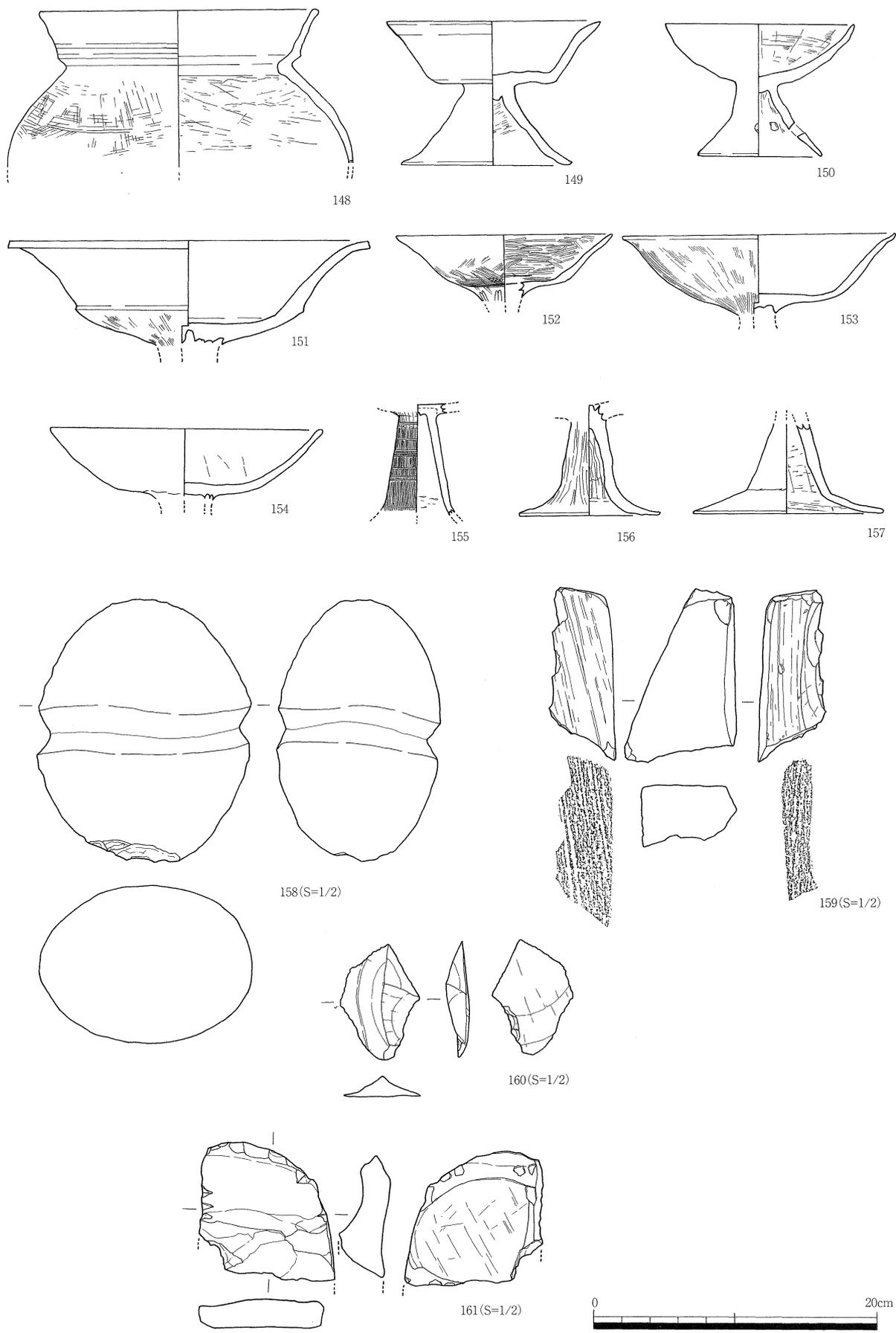
第37図 落ち込みA出土遺物(2)



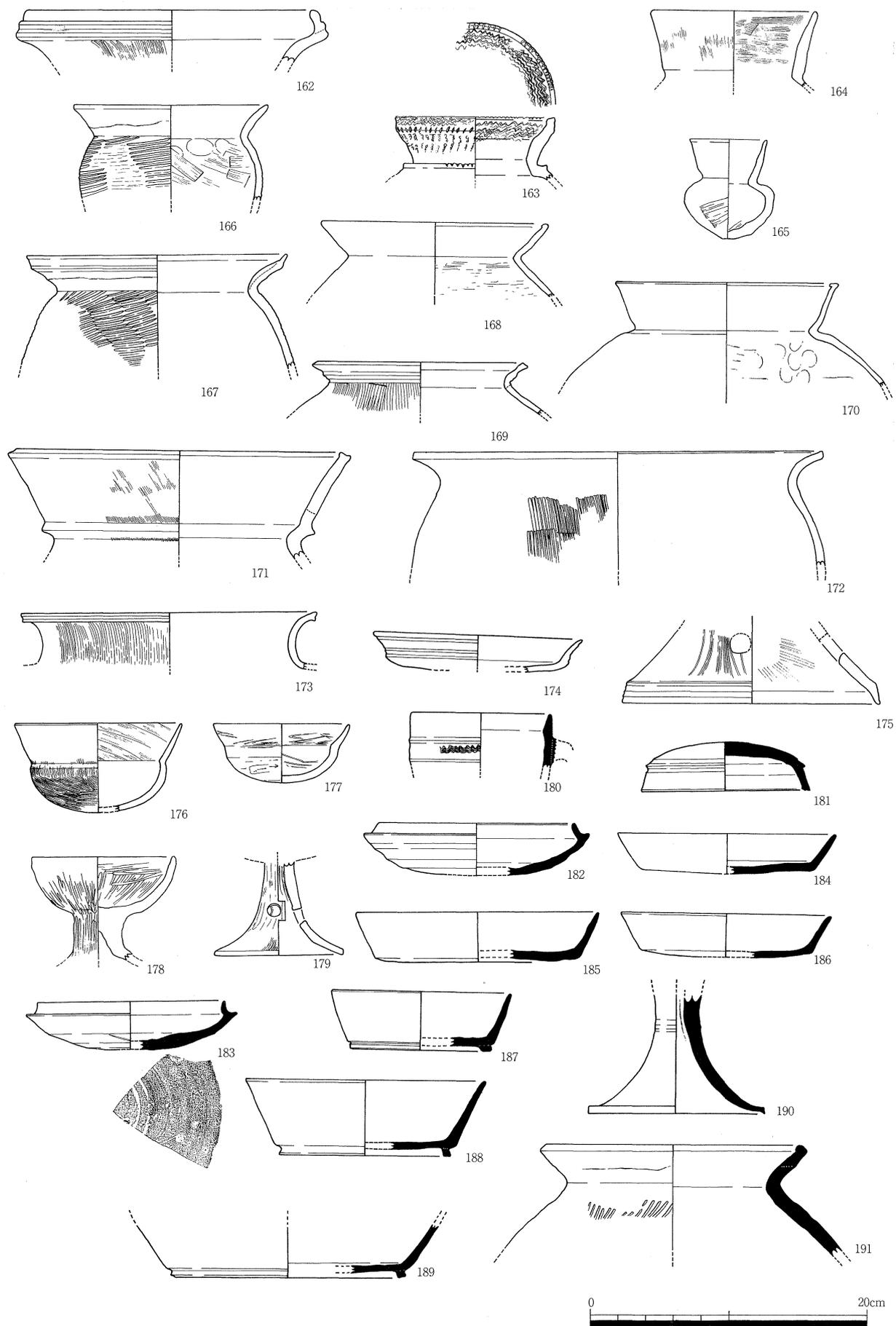
第38図 落ち込みA出土遺物(3)



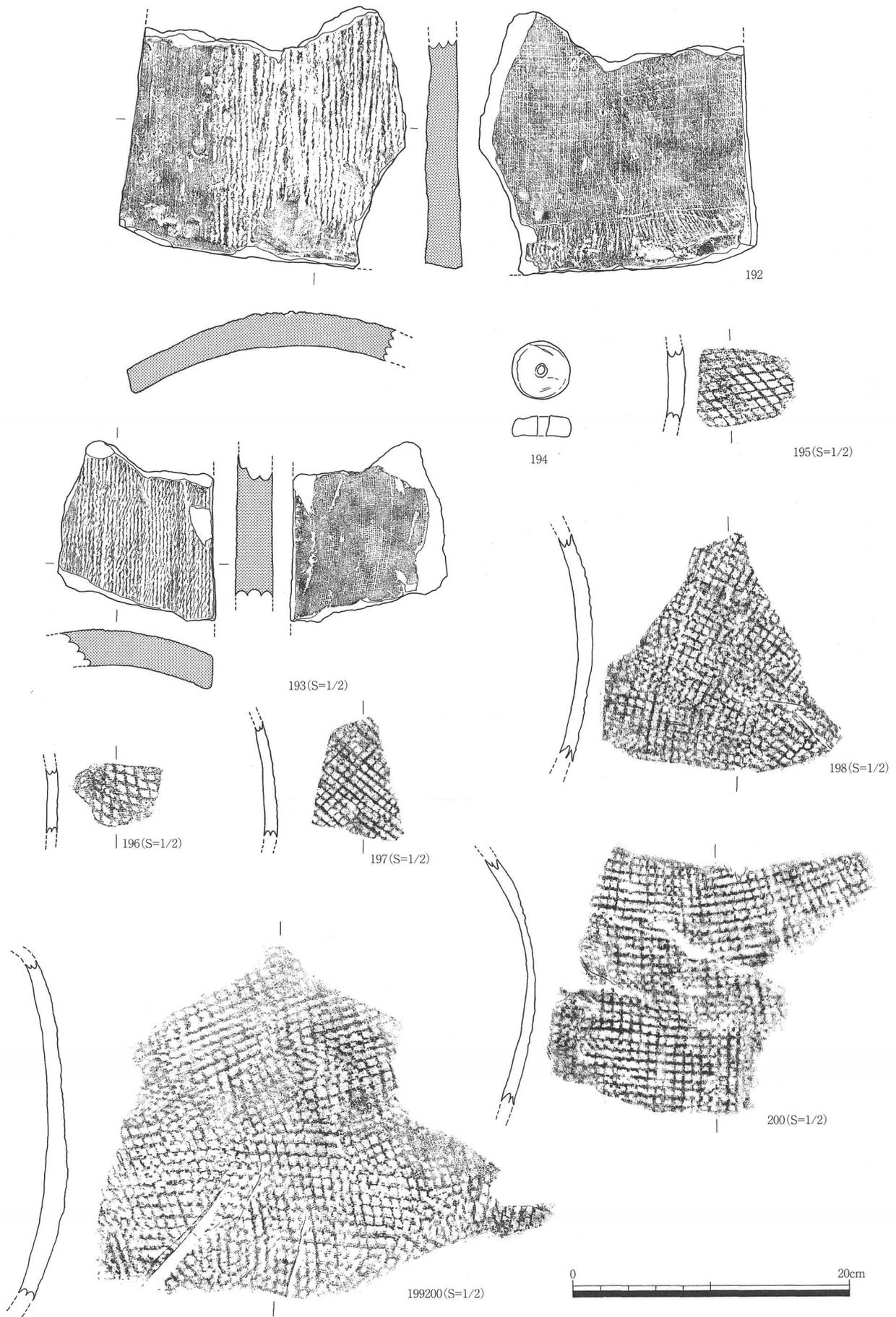
第39図 落ち込みB出土遺物(1)



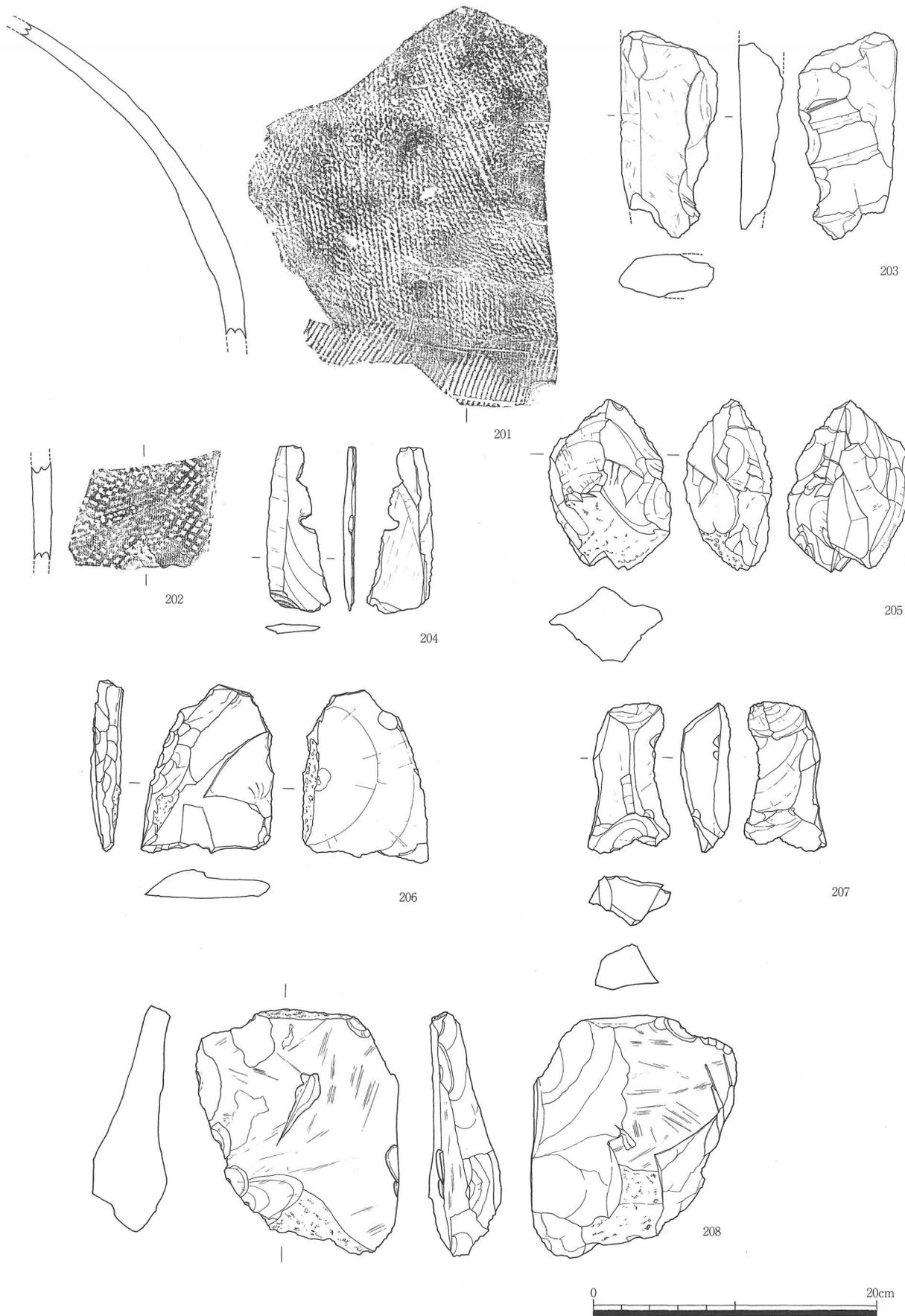
第40図 落ち込みB出土遺物(2)



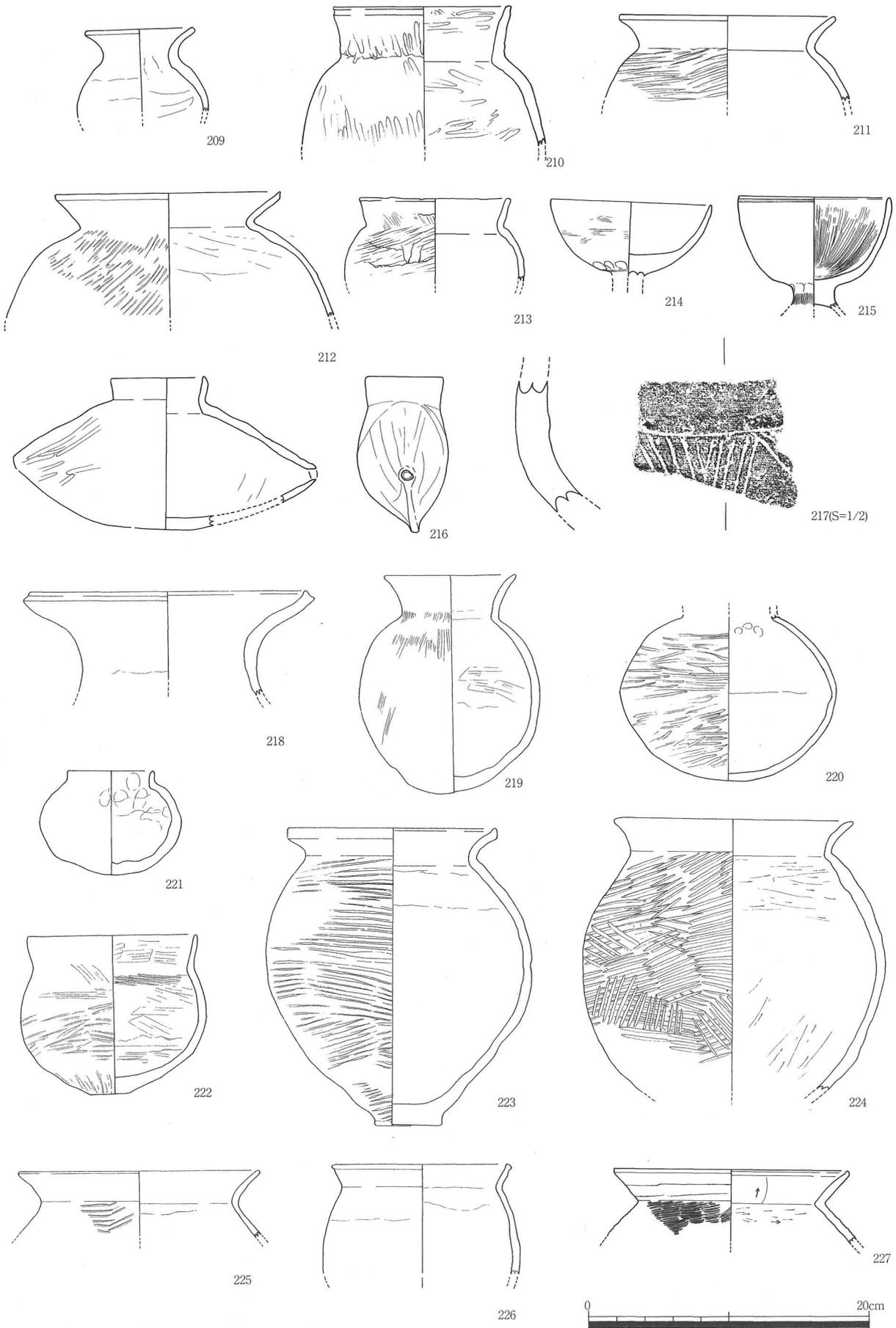
第41図 第V層出土遺物(1)



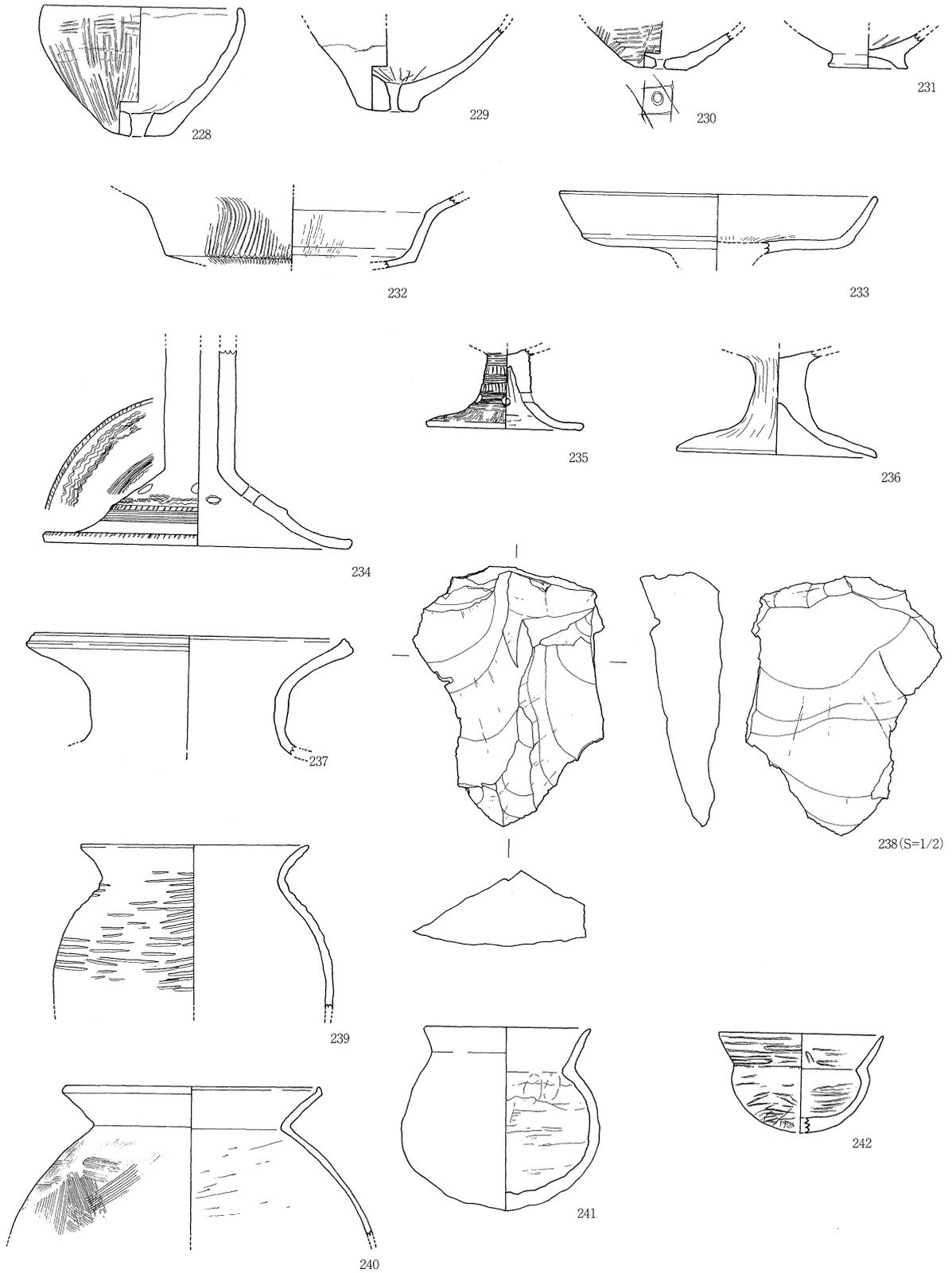
第42図 第V層出土遺物(2)



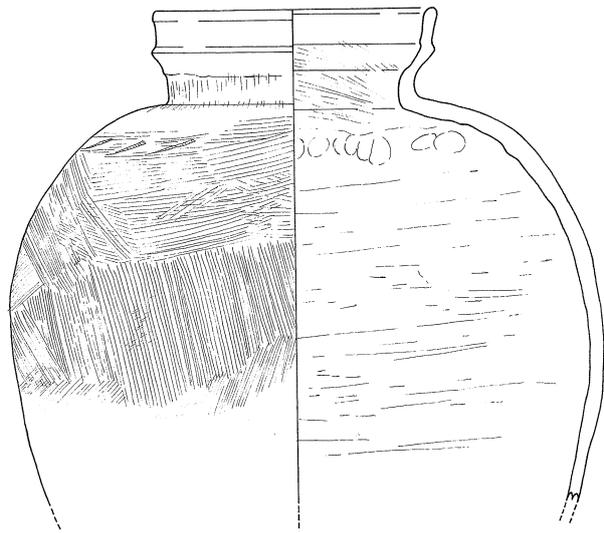
第43図 第V層出土遺物(3)



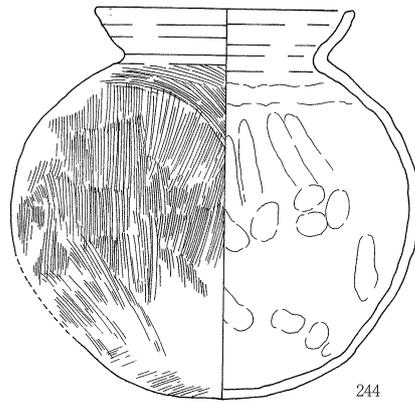
第44图 第VI層出土遺物(1)



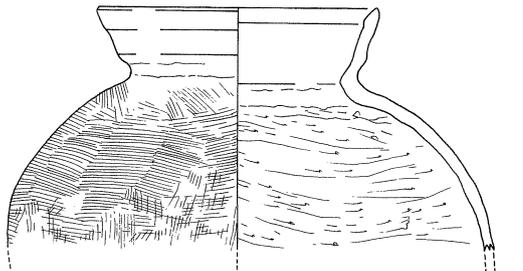
第45圖 第Ⅵ層出土遺物(2)



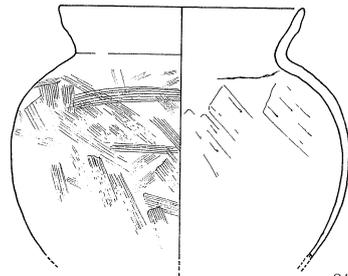
243



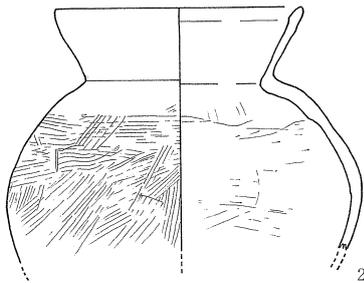
244



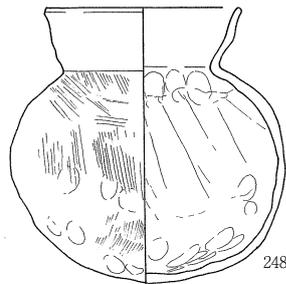
245



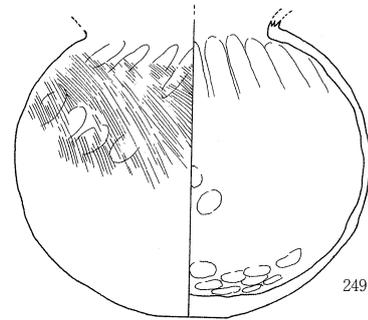
246



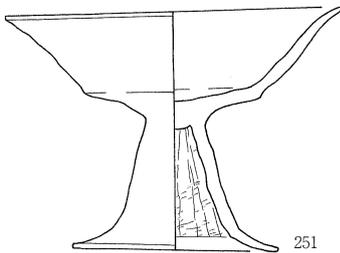
247



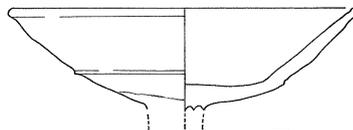
248



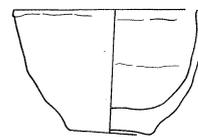
249



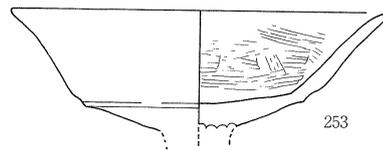
251



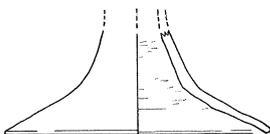
252



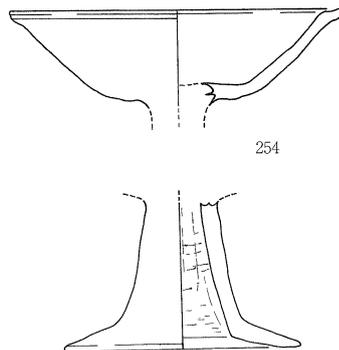
250



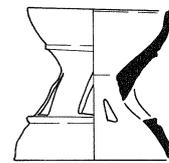
253



255



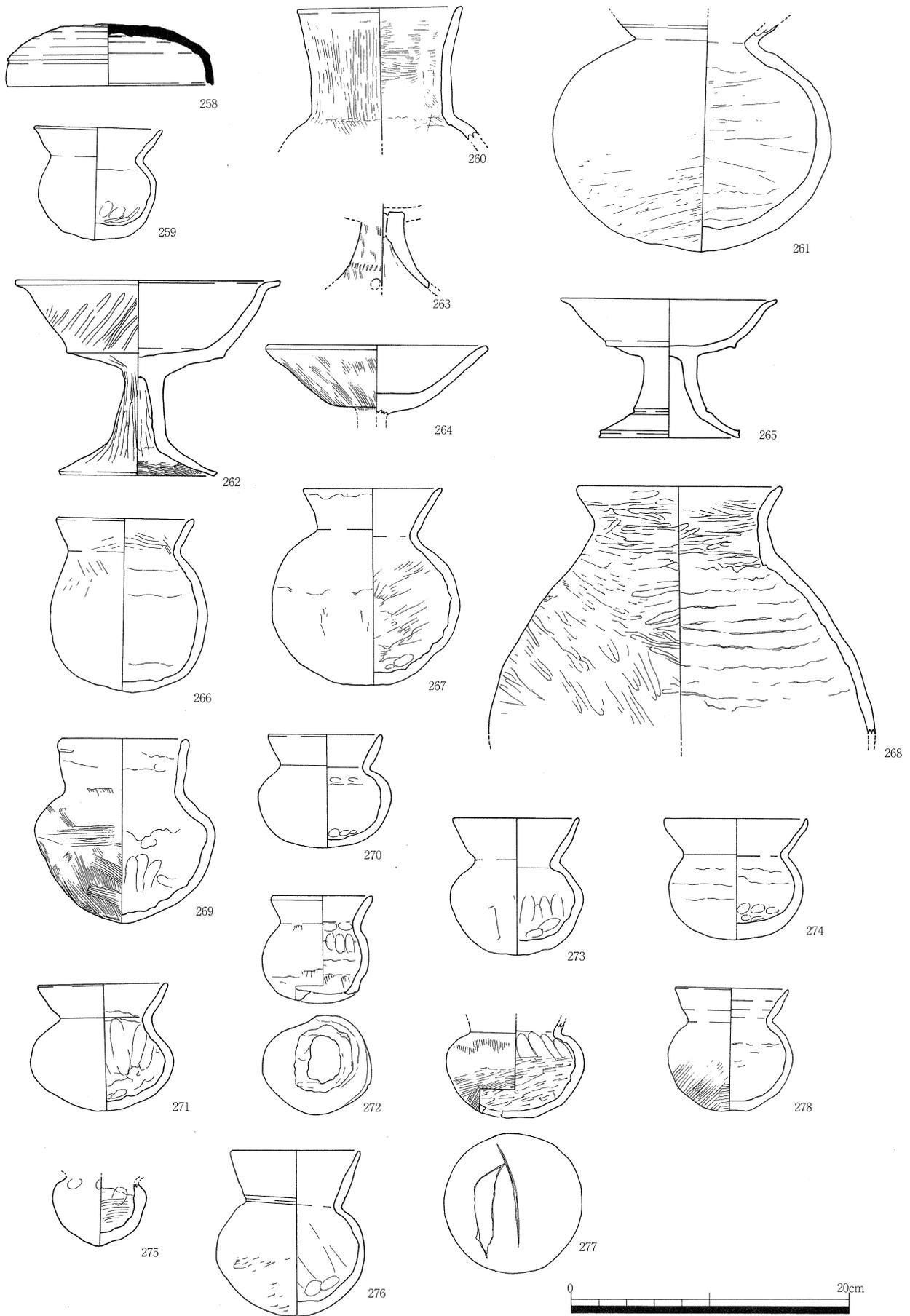
254



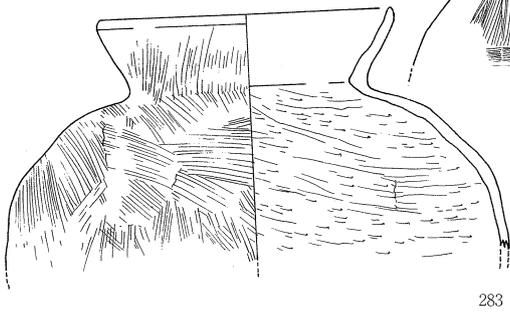
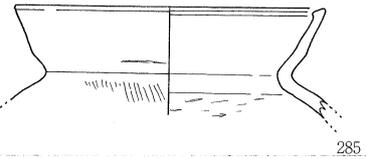
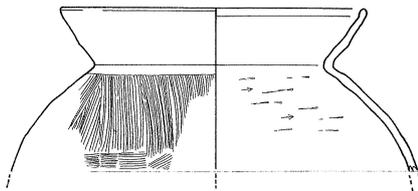
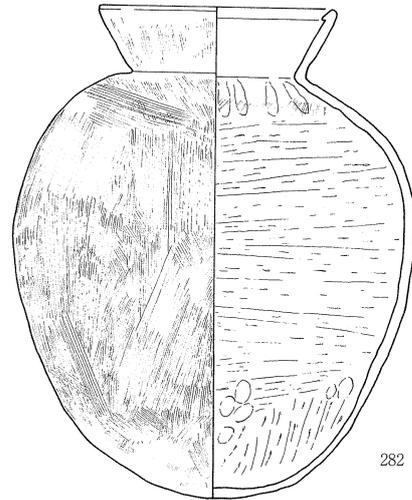
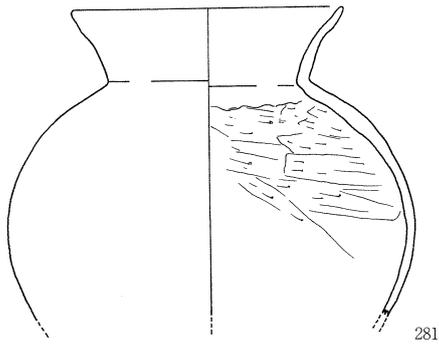
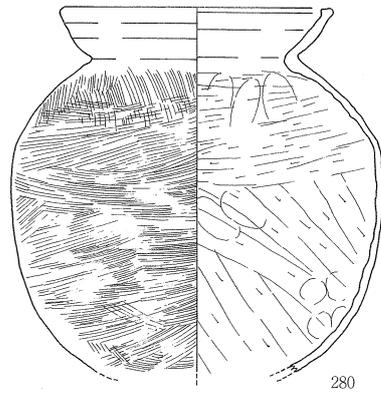
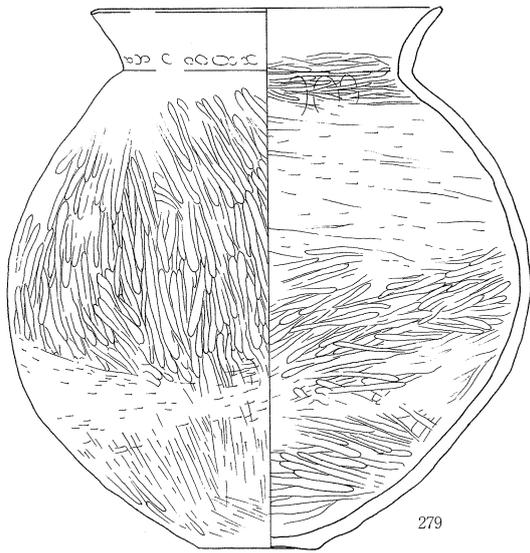
257



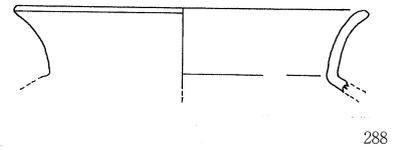
第46図 第VI層出土遺物(3)



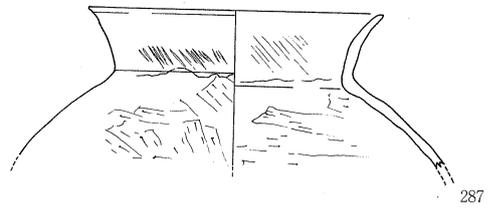
第47図 第VI層出土遺物(4)



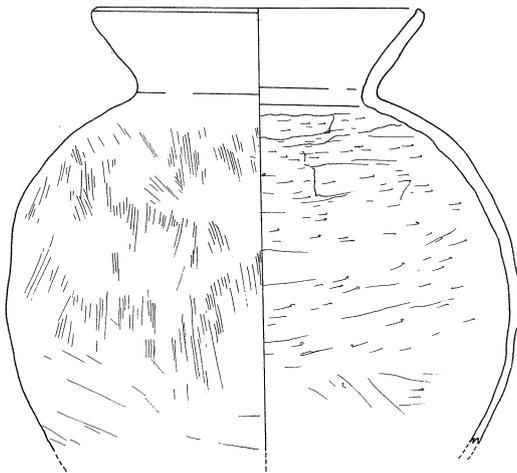
284



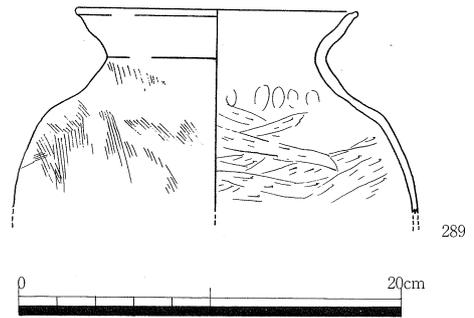
288



287



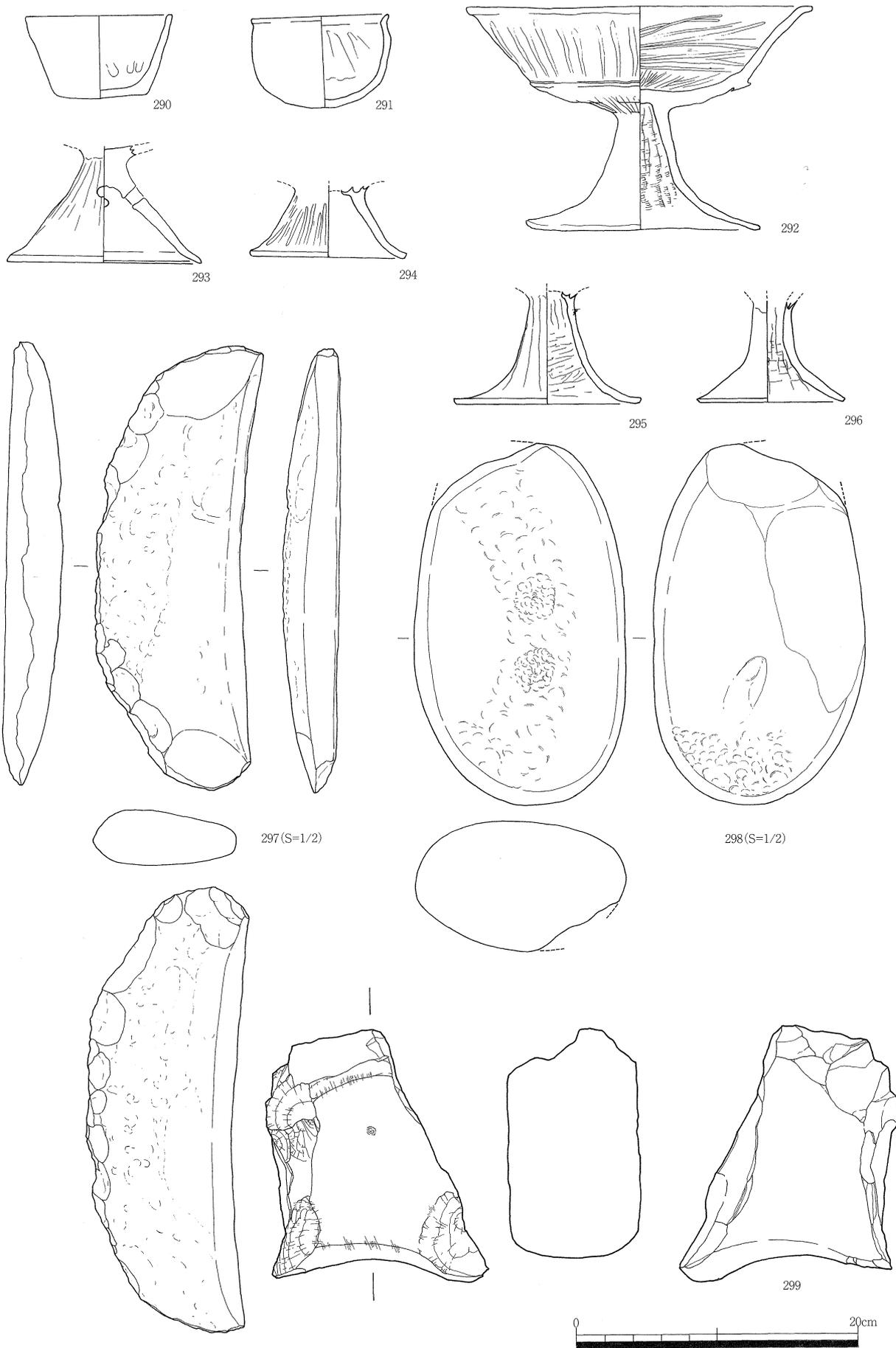
288



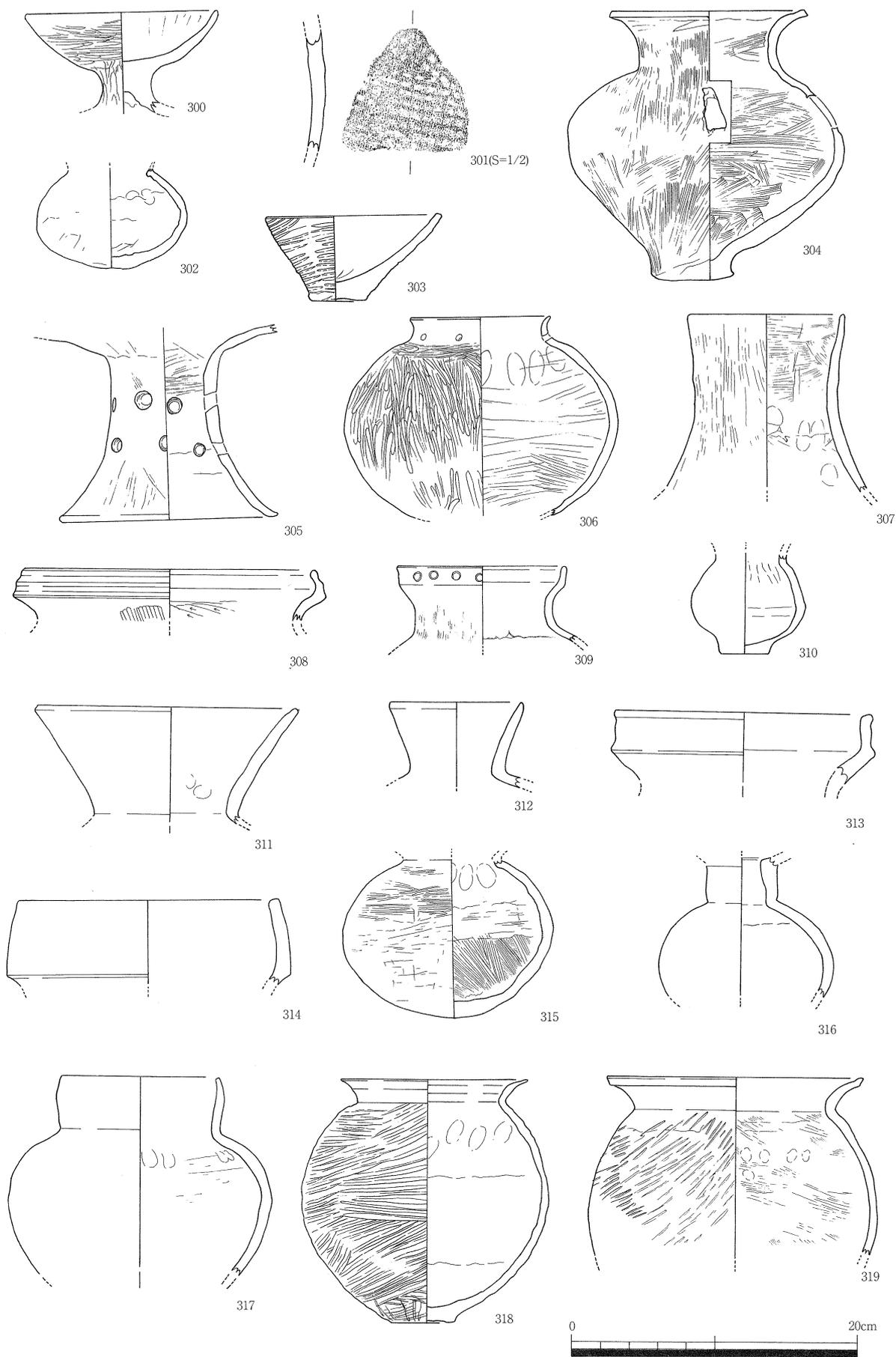
289



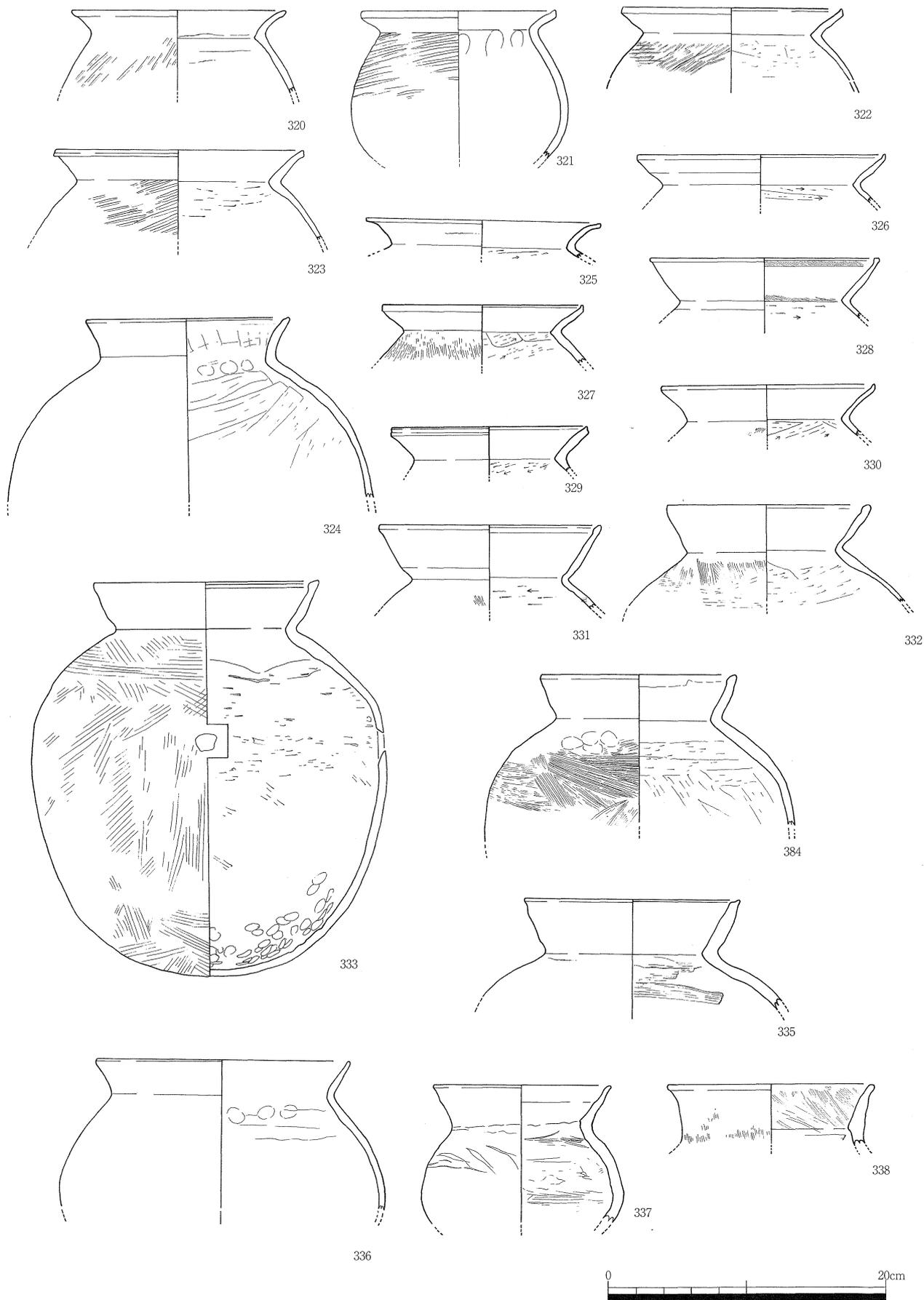
第48図 第VI層出土遺物(5)



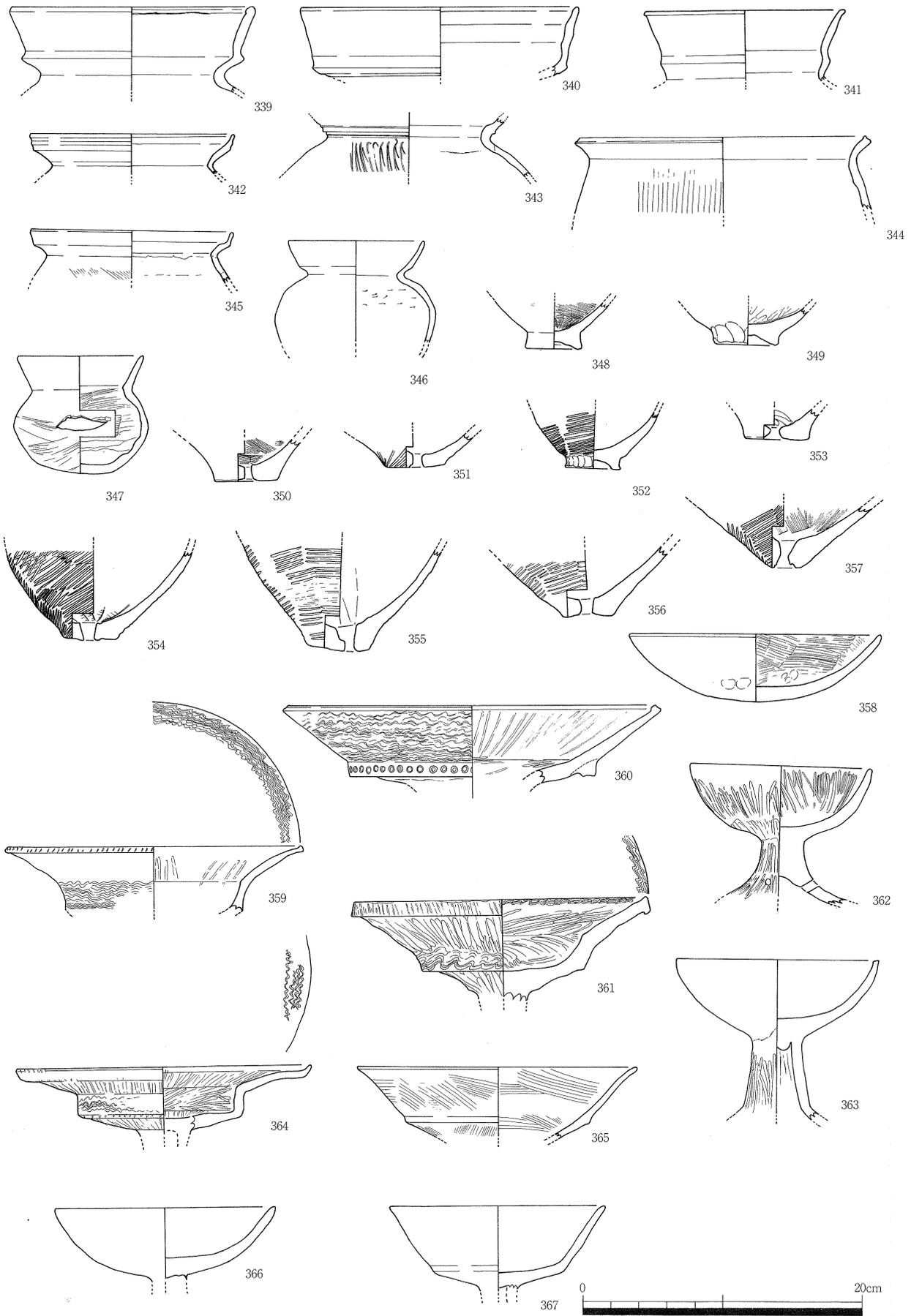
第49図 第Ⅵ層出土遺物(6)



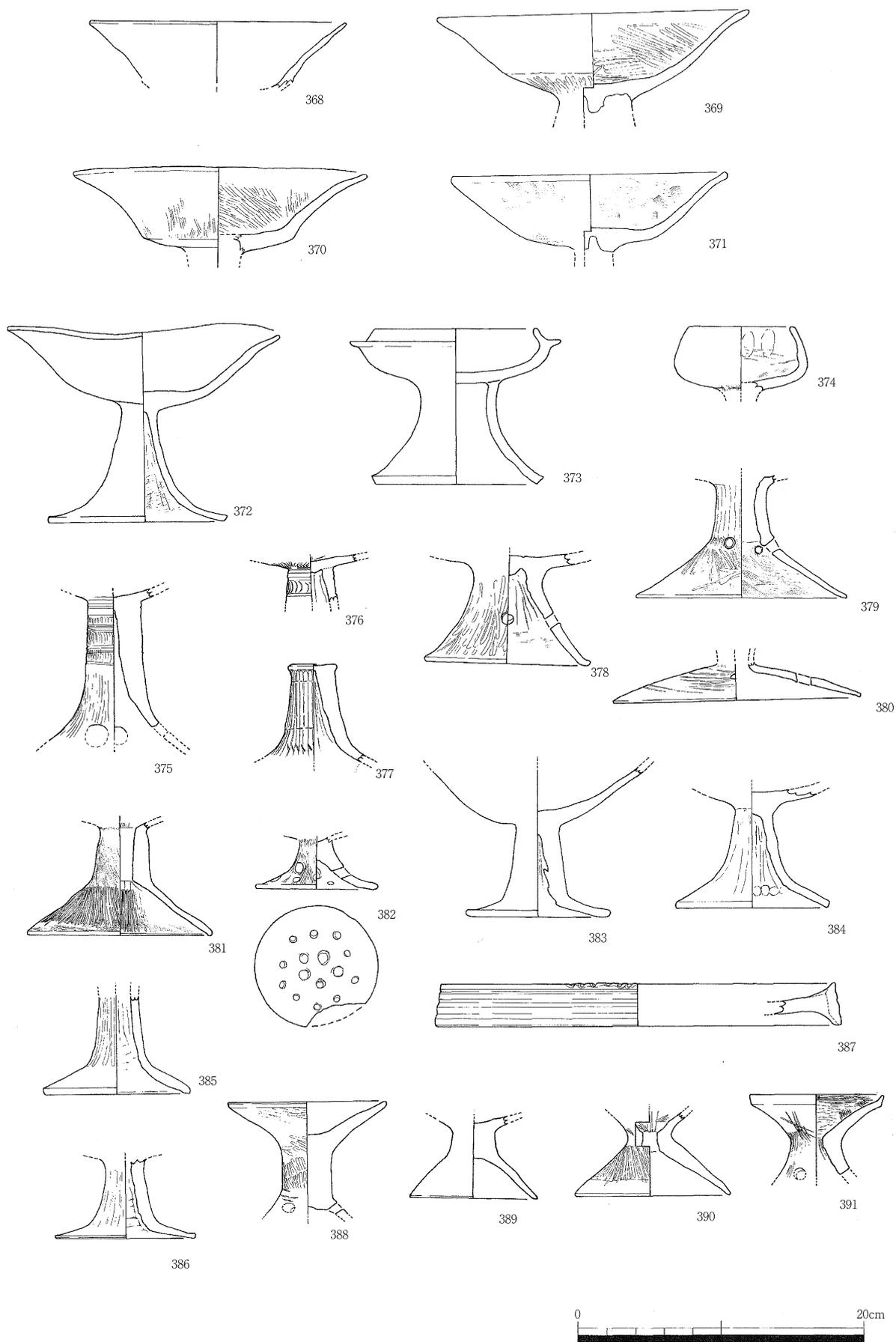
第50図 第Ⅵ層出土遺物(7)



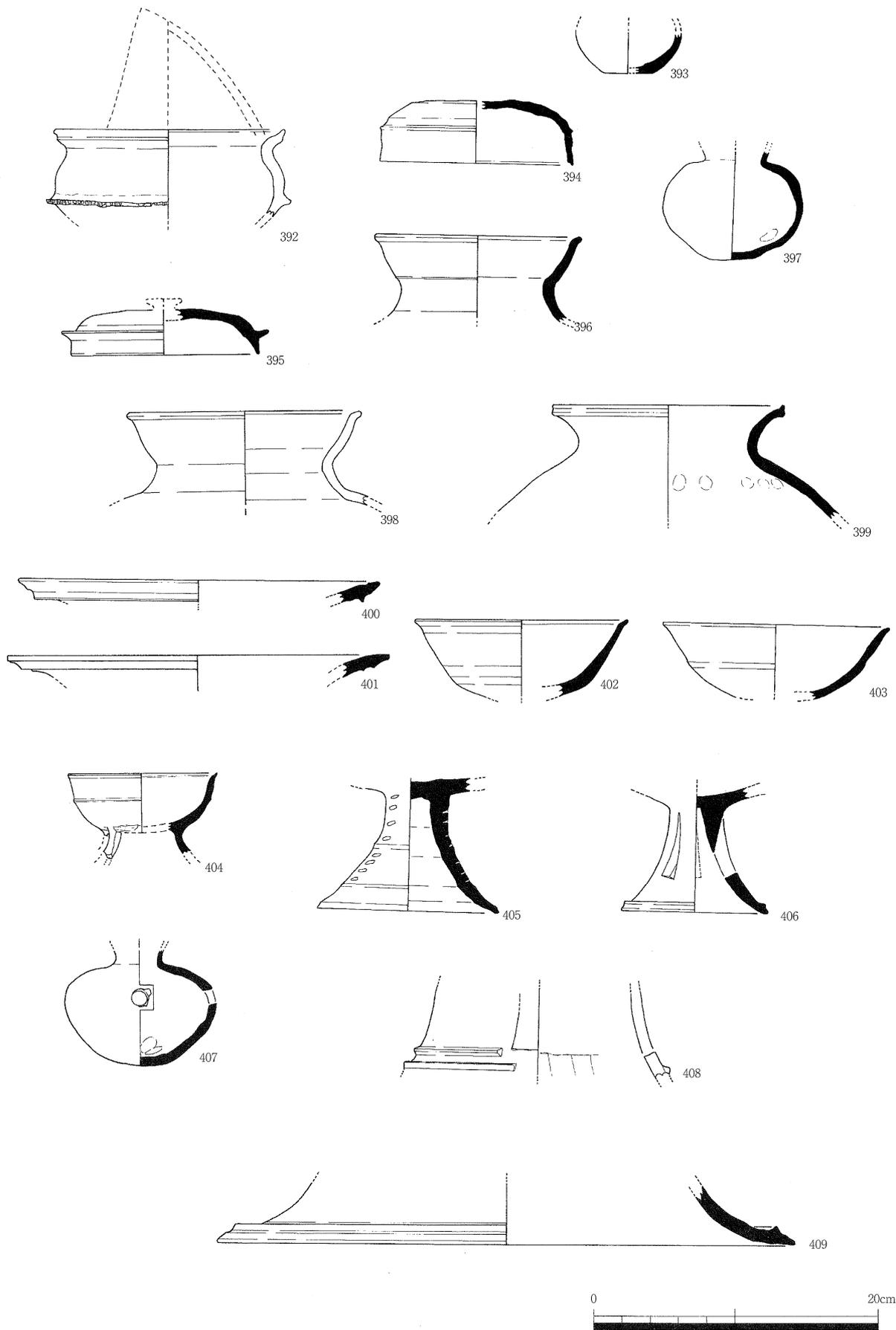
第51図 第Ⅵ層出土遺物(8)



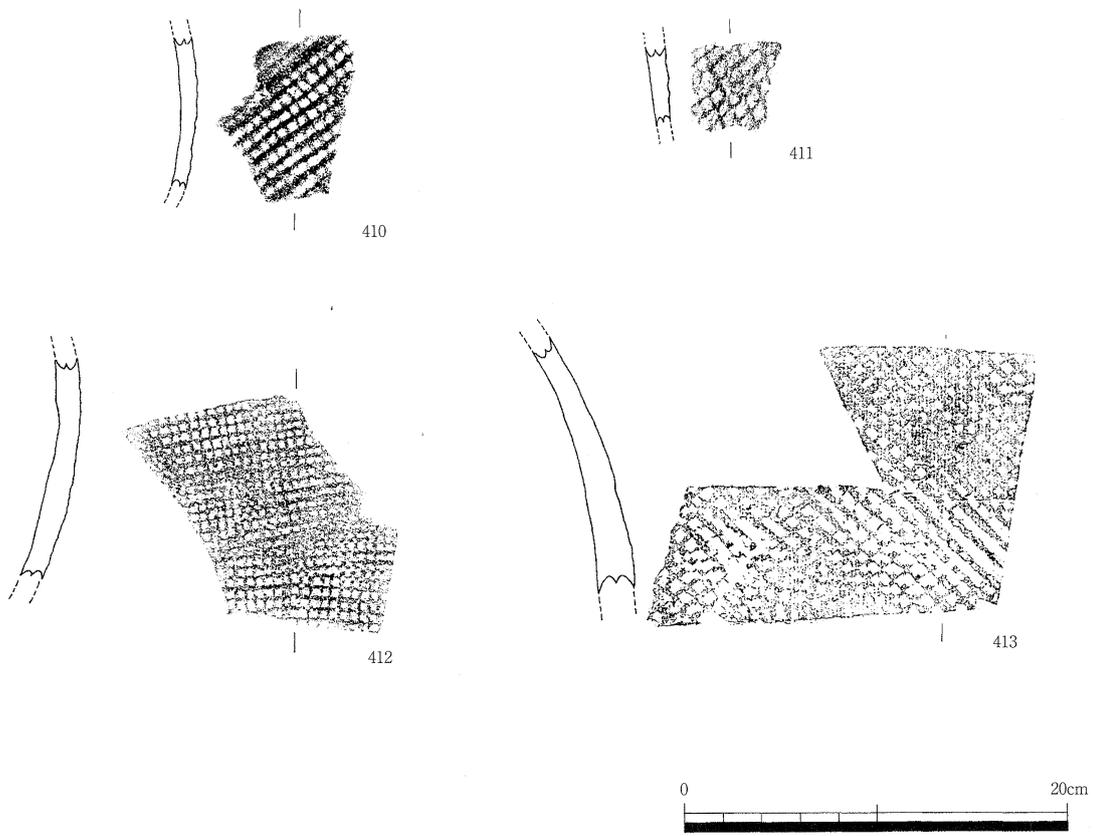
第52图 第VI层出土遗物(9)



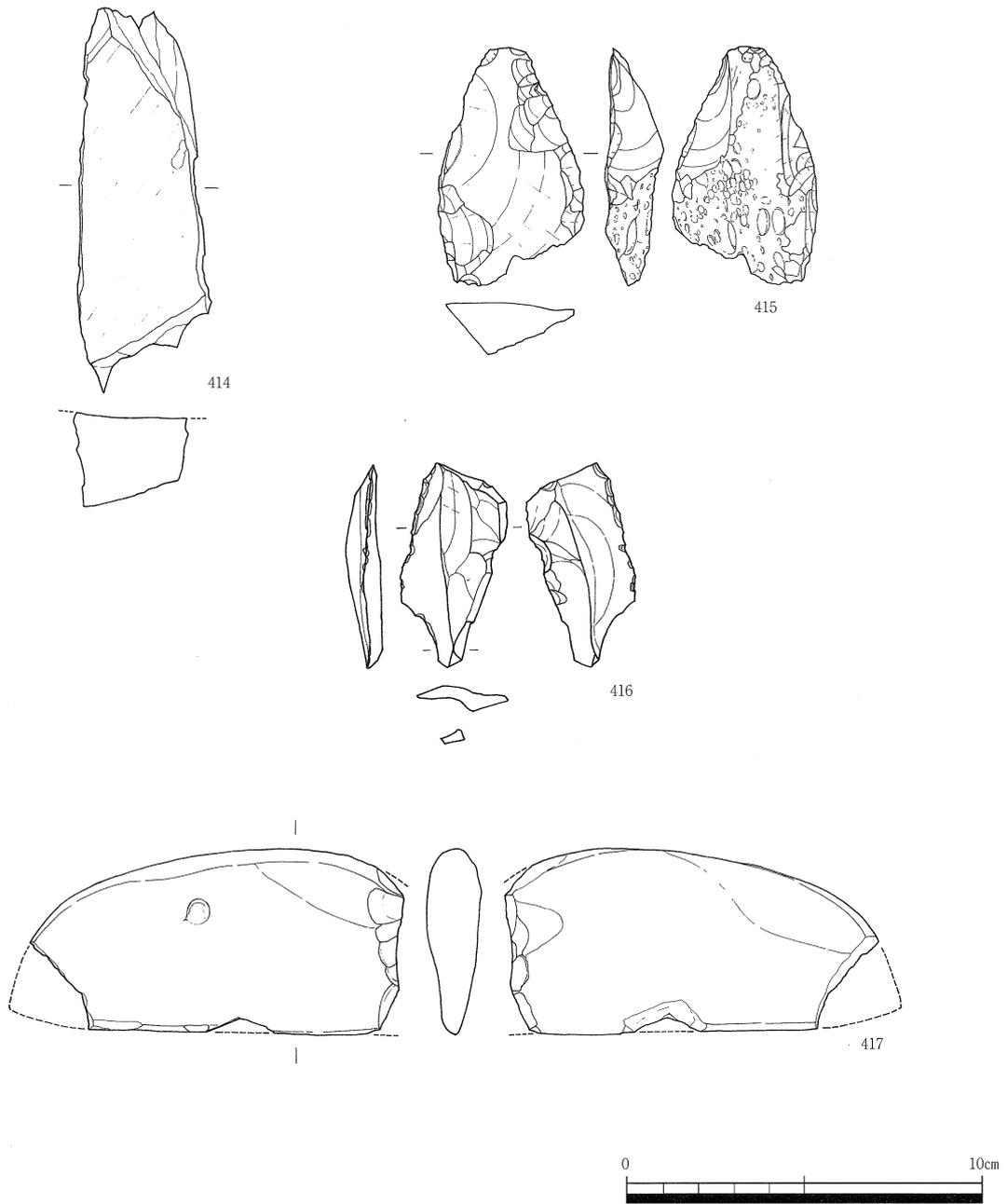
第53圖 第Ⅵ層出土遺物(10)



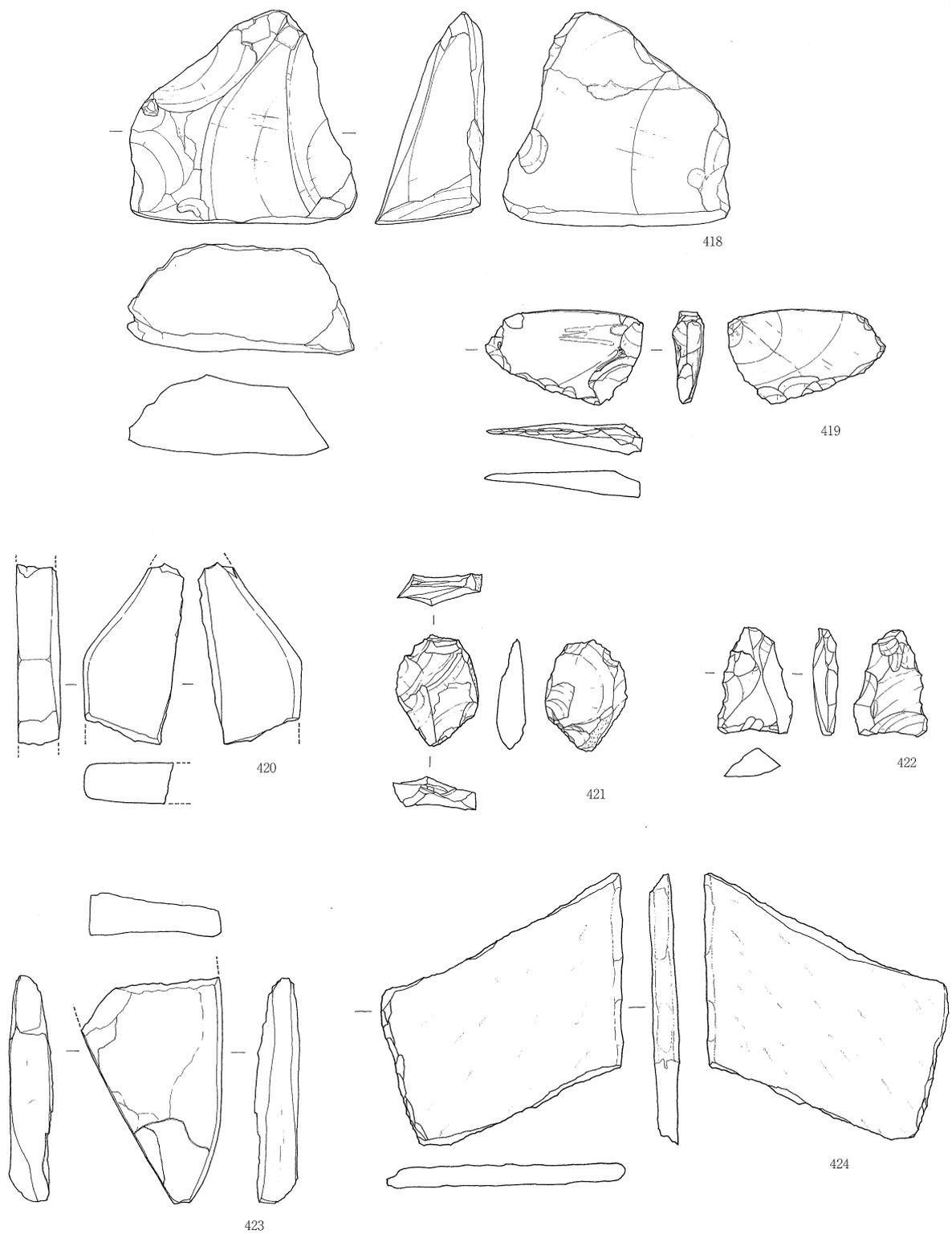
第54図 第Ⅵ層出土遺物(11)



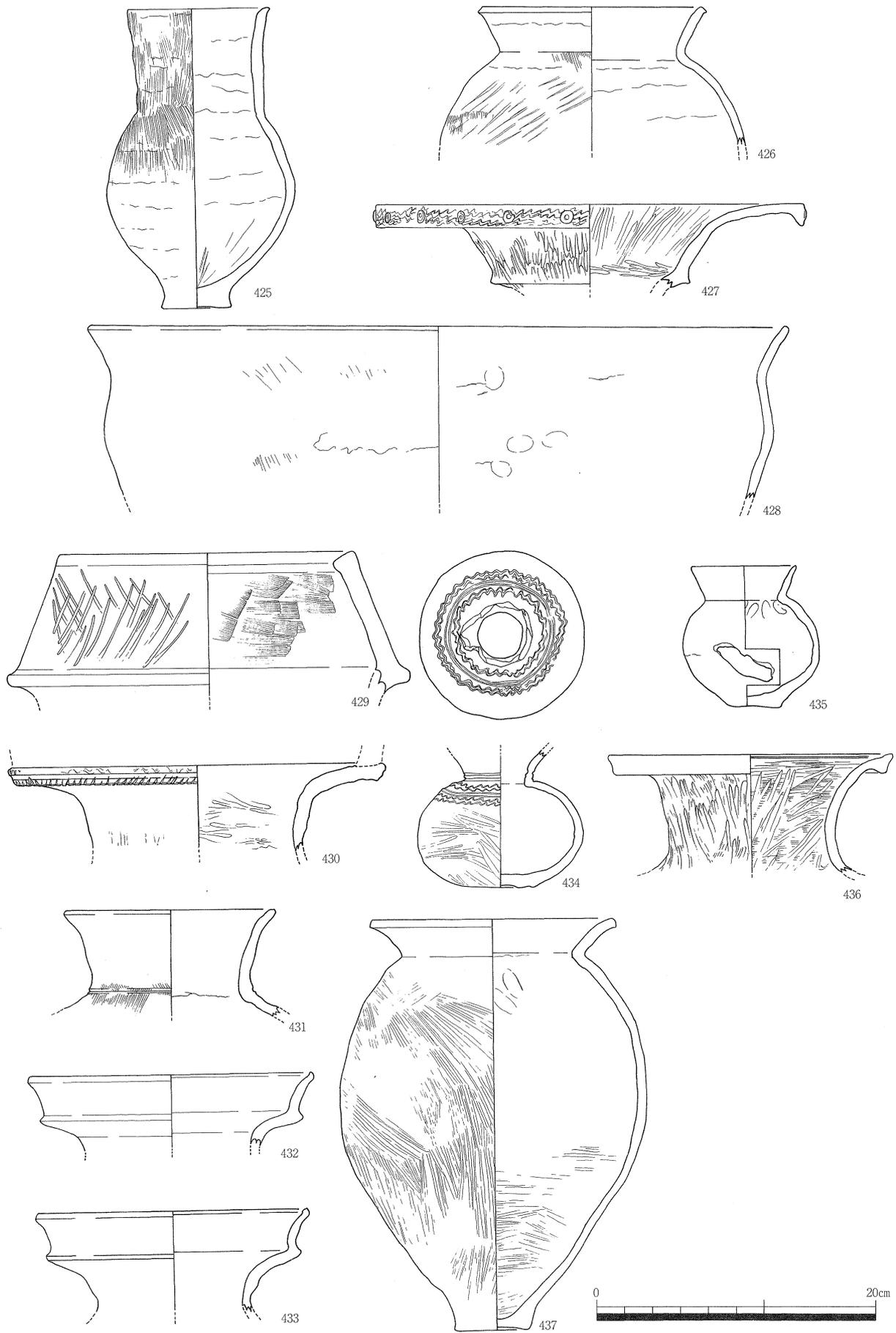
第55図 第Ⅵ層出土遺物(12)



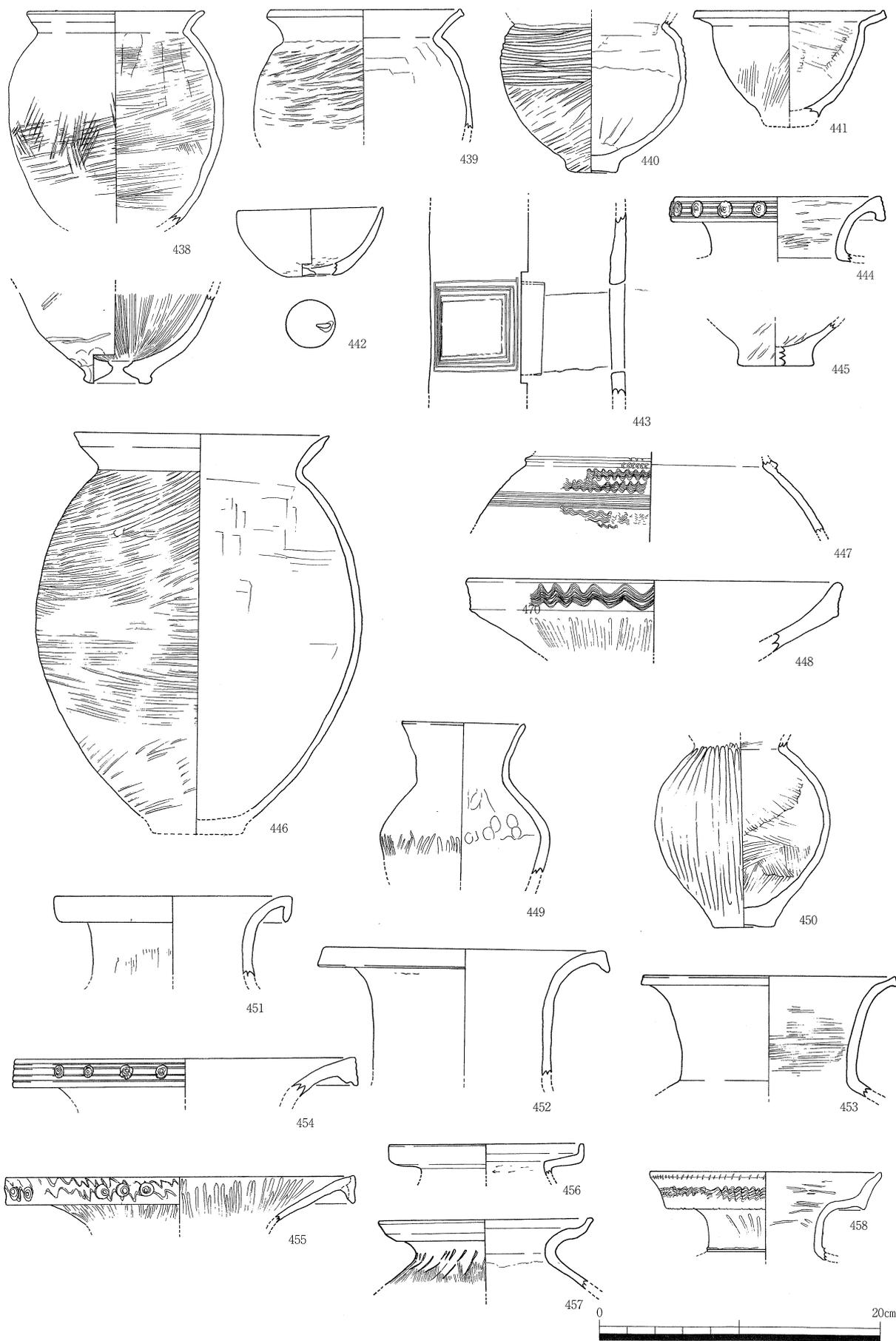
第56図 第Ⅵ層出土遺物(13)



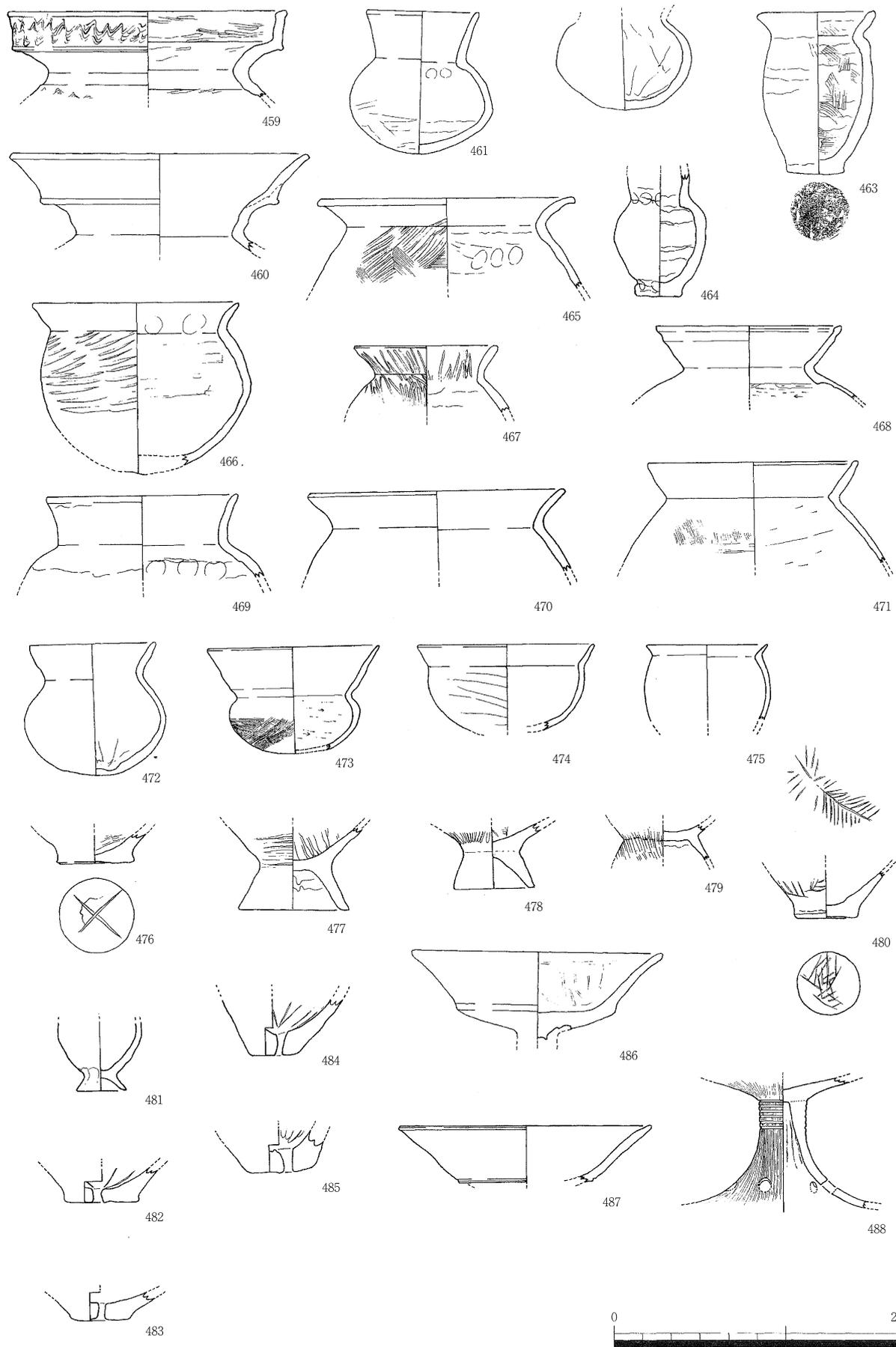
第57図 第Ⅵ層出土遺物(14)



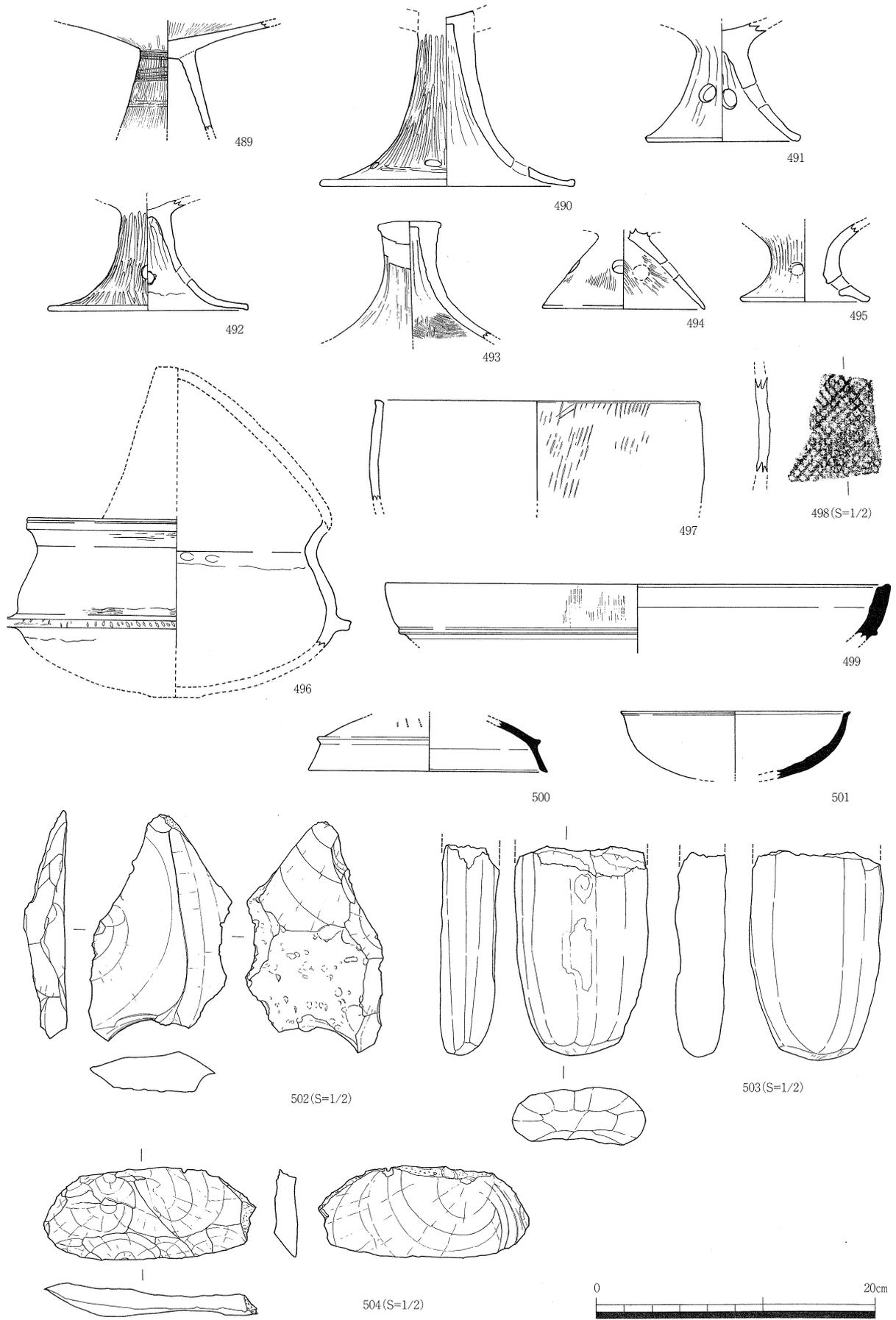
第58図 第Ⅶ層出土遺物(1)



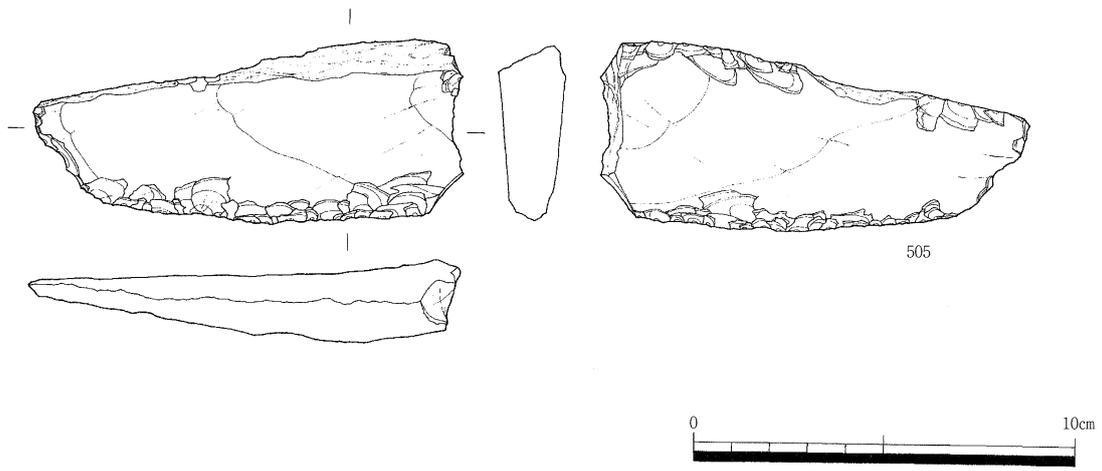
第59图 第Ⅶ層出土遺物(2)



第60图 第Ⅶ層出土遺物(3)



第61図 第Ⅶ層出土遺物(4)



第62図 第Ⅶ層出土遺物(5)

遺物一覧表

挿図番号	器種	出土地点	法量 (cm)	色 調	焼成	胎 土	技法の特徴	備 考
1	石臼 (上臼)	SD-102	外径(復) 31.4 孔径(復) 上 4.4 孔径(復) 下 6.5 重 3145.4g 器高 8.8			花崗岩	擦合線条溝は1区画5条	分画数は不明、使用により研磨されている面あり
2	土師器 小皿	SD-114	口径(復) 9.2 器高(残) 1.5	外) におい黄橙 内) におい黄橙 断) におい黄橙	良好	密	内外面ヨコナデ・ナデ	
3	石核(?)	SD-115	長 4.3 幅 4.25 厚 1.6 重 39.7g			サヌカイト		古い石核を何回も再利用している、二上山産
4	土師器 小皿	SD-116	口径(復) 10.6 器高(残) 1.6	外) におい黄橙 内) におい黄橙 断) におい黄橙	良好	密	内外面ヨコナデ・ナデ	
5	土師器 甕	SK-103	口径(復) 30.0 器高(残) 6.0	外) 灰黄褐 内) 黄灰 断) 褐灰	良好	密	口縁から頸部にかけて内外面ヨコナデ、外面体部ハケ目の後ナデ(ハケ目はナデにより消えている)、内面頸部から体部にかけて板ナデ(上部はヨコナデのため、下部はケズリのため消えている)とケズリ、粘土継ぎ目痕あり	
6	凹石?	SK-116	残長 6.7 残幅 4.6 残厚 1.2 重 59.6g			片岩		
7	瓦 椀	SK-120	口径(復) 13.0 器高 2.8	外) 断) 内) 断)	堅緻	密	外面ナデ・指圧痕、内面ヘラミガキ・口縁部に沈線あり、口縁部ヨコナデ	大和型
8	平瓦	SX-101	残長 15.4 残幅 15.6 厚 2.6	外) 灰 内) 灰 断) 灰白	良好	やや粗	凸面ヨコ方向のケズリ・面取り施す、凹面縄目タタキ、端部ヘラケズリ	平安時代の瓦と思われる、凹面ケズリの下に布目は観察できない、晒のように細かい布を使用したカ
9	土師器 壺	自然流路 (上層)	口径(復) 12.7 器高(残) 6.5	外) におい黄橙 内) におい黄橙 断) におい黄橙	良好	密	外面ナデ・下部ハケ目(単位不明)、内面板ナデ・粘土紐痕あり、口縁部ヨコナデ	
10	土師器 小型丸底壺	自然流路 (上層)	口径(復) 9.0 器高(残) 4.9	外) 灰黄褐 内) 灰黄 断) 灰	良好	密	外面ナデ、内面ナデ・ヨコ方向ヘラケズリ・体部に粘土紐痕、口縁部ヨコナデ	内面体部上半に煤付着
11	土師器 小型丸底壺	自然流路 (上層)	口径(復) 8.4 器高(残) 6.1	外) 灰黄褐 内) 灰黄褐 断) 灰	良好	密	内外面ヨコナデ・ナデ	外面にベンガラ付着
12	土師器 甕	自然流路 (上層)	口径(復) 15.0 器高(残) 4.9	外) におい黄橙 内) におい黄橙 断) 灰	良好	密	外面タタキ目、内面ナデ・粘土紐痕、口縁部ヨコナデ・粘土紐痕・指押さえ(指ナデ)、口縁部ヨコナデ	外面口縁部に少量の煤付着
13	土師器 甕	自然流路 (上層)	口径(復) 13.7 器高(残) 4.3	外) におい橙 内) 橙 断) 灰	不良	密	外面7条/cmのハケ目、内面ナデ・ヘラケズリ・体部上部に指圧痕と粘土紐痕、口縁部ヨコナデ	
14	土師器 甕	自然流路 (上層)	口径(復) 16.2 器高(残) 4.6	外) 灰黄褐 内) におい黄橙 断) 灰	やや不良	密	外面ナデ・12/cm(?)のハケ目、内面ナデ(わずかに板ナデ)・ヘラケズリ・粘土紐痕あり、口縁部ヨコナデ	
15	土師器 甕	自然流路 (上層)	口径(復) 15.0 器高(残) 5.4	外) におい橙 内) 浅黄橙 断) オリーブ黒	やや不良	密	外面頸部ナデ・体部上半7条/cmのハケ目と粘土紐痕、内面ナデ・ヘラケズリ、口縁部ヨコナデ	
16	土師器 甕	自然流路 (上層)	口径(復) 17.2 器高(残) 8.5	外) 灰黄褐 内) 灰黄 断)	やや不良	密	外面体部タテ方向細かいハケ目、内面体部ヨコ方向ヘラケズリ・体部上部ナメ方向ハケ目と粘土紐痕、口縁部ヨコナデ	外面体部上半部に煤付着
17	土師器 有孔鉢	自然流路 (上層)	底径 3.6 器高(残) 8.5	外) 灰白 内) 灰黄 断) 黄灰	良好	やや粗	外面タタキ・底部ナデで線刻施す、内面板ナデ(ナデ消されて不明瞭)	穿孔あり
18	須恵器 杯蓋	自然流路 (上層)	口径(復) 12.6 器高(残) 4.3	外) 灰 内) 灰白 断) 赤灰	やや不良	密	外面上半回転ヘラケズリ・下半ナデ、内面ナデ、口縁部ヨコナデ	
19	須恵器 杯身	自然流路 (上層)	口径(復) 12.5 口径(受部) 15.0 器高(残) 4.4	外) 灰 内) 灰 断) 灰	堅緻	密	外面ナデ・回転ヘラケズリ、内面ナデ、口縁部ヨコナデ	
20	瓦質土器? 鉢	自然流路 (上層)	口径(復) 14.6 器高 4.5	外) 灰オリーブ 内) 灰黄 断) におい黄橙	やや不良	密	外面ヨコ方向ヘラミガキ(所々磨耗している)、内面ヨコナデ・ナデ	外面口縁部に少量の煤付着

挿図番号	器種	出土地点	法量 (cm)	色 調	焼成	胎 土	技法の特徴	備 考
21	須恵器 杯蓋	自然流路 (上層)	口径(復) 器高(残) 18.0 1.0	外) 灰 内) 灰 断) 灰	堅緻	密	外面回転ナデ・ナデ、内面ナデ、口縁部ヨコナデ	
22	須恵器 杯身	自然流路 (上層)	口径(復) 器高(残) 14.0 3.6	外) 灰 内) 灰 断) 灰	堅緻	密	内外面ナデ、口縁部ヨコナデ	
23	須恵器 杯身	自然流路 (上層)	口径(復) 器高(残) 13.5 3.9	外) 灰 内) 灰 断) 灰	堅緻	密	外面ナデ・底部ヘラケズリ、内面ナデ、口縁部ヨコナデ	外面底部全体を体部の下1/2位のところ黒斑が見られる
24	須恵器 杯身	自然流路 (上層)	口径(復) 器高(残) 13.6 4.2	外) 灰白 内) 灰白 断) 灰白	堅緻	密	内外面ナデ、口縁部ヨコナデ、内面に粘土紐痕	
25	須恵器 杯身	自然流路 (上層)	口径(復) 器高 13.4 4.2	外) 灰 内) 灰 断) 灰	堅緻	密	外面ナデ、内面ナデ・底部回転ヘラケズリ、口縁部ヨコナデ	外面口縁部に灰付着
26	須恵器 甕	自然流路 (上層)	口径(復) 器高(残) 22.5 8.5	外) 灰 内) 灰 断) 赤灰	やや軟	密	口縁部ヨコナデ、内外面回転ナデ、内面に指圧痕	
27	須恵器 高杯	自然流路 (上層)	口径(復) 器高(残) 7.6 2.7	外) 灰 内) 灰 断) 灰	堅緻	密	外面杯部ナデ・脚部回転ヘラケズリ、内面杯部底面と脚部回転ヘラケズリ	外面に灰付着
28	須恵器 高杯	自然流路 (上層)	口径(復) 器高 12.6 7.6	外) 灰 内) 灰 断) 灰オリーブ	堅緻	密	内外面回転ナデ、坏底部回転ヘラケズリ	
29	韓式系土器 小片	自然流路 (上層)	最長 最大厚 6.7 0.55	外) 灰黄 内) 黄 断) 黄黒	やや不良	密	外面格子目タタキ、内面ナデ	
30	韓式系土器 小片	自然流路 (上層)	最長 最大厚 6.8 0.8	外) 黄灰 内) 黒 断) 灰	やや不良	密	外面格子目タタキ、内面ナデ	内面に煤付着
31	韓式系土器 甕	自然流路 (上層)	残長 4.5	外) 灰 内) 灰 断) 灰	良好	密	外面縄席文タタキ・線刻施す、内面ナデ	軟質
32	平瓦	自然流路 (上層)	幅 長さ 厚み 14.3 18.9 2.0	外) 断) 内) 断)				
33	平瓦	自然流路 (上層)	幅 長さ 厚み 28.2 32.0 2.6	外) 断) 内) 断)				
34	土師器 鉢	自然流路 (中層)	口径(復) 器高(残) 17.0 8.7	外) 灰黄橙 内) 黄橙 断) 黒	やや不良	密	外面上半に列点文と円形浮文施す、下半に簾状文施す、内面口縁部ヨコナデで刺突文施す・体部ナデ	
35	土師器 壺	自然流路 (中層)	口径(復) 器高(残) 15.4 2.1	外) 灰黄 内) 灰黄 断) 灰	良好	やや粗	内外面ヨコナデ	外面に煤付着
36	土師器 小型丸底壺	自然流路 (中層)	口径 器高 8.8 9.0	外) 灰オリーブ 内) 灰オリーブ 断)	良好	密	内外面ナデ、内面指押え、口縁部ヨコナデ、内面底部しぼり痕あり	
37	土師器 甕	自然流路 (中層)	底径(復) 器高(残) 5.2 9.1	外) (体部) 灰オリーブ (底部) 赤褐 内) 赤褐 断) 黄褐 暗灰黄	良好	密	外面タタキ目、内面ナデ、底部ヨコナデ、内面しぼり痕あり	外面に煤付着
38	土師器 甕	自然流路 (中層)	口径(復) 器高(残) 17.8 5.7	外) 橙 内) 赤褐 断) 褐灰	良好	密	外面ナデとタタキ目、内面ナデ、口縁部ヨコナデ	
39	土師器 甕	自然流路 (中層)	口径 器高(残) - 34.6	外) 暗灰黄 内) 暗灰黄 断) 暗灰黄	良好	密	外面ハケ目、内面ヘラケズリ・体部上半と下半に指押え	
40	土師器 高杯	自然流路 (中層)	底径(復・外) 底径(復・内) 器高(残) 10.8 10.0 5.8	外) 灰黄 内) 黄 断) 灰	やや不良	密	外面ナデ・ヨコナデ。上部に指押え・下部にタテハケ目あり、内面杯底部細かいハケ目・脚部斜めハケ目とヨコハケ目とヨコナデ・脚上部に粘土紐痕	
41	土師器 高杯	自然流路 (中層)	底径(復) 器高(残) 14.0 7.8	外) 黄 内) 灰黄褐 断) 灰	良好	密	外面タテ方向ヘラケズリ・粗いたテ方向のヘラミガキ・ヨコナデ、内面ナデ・ヨコナデ・粘土紐痕あり・杯部底面粗いヘラミガキ	杯部の残っている部分と内面の脚部の一部に煤付着
42	須恵器 杯蓋	自然流路 (中層)	口径(復) 器高(残) 12.4 4.45	外) 青黒 内) 灰 断) 暗赤灰	堅緻	密	外面上半回転ヘラケズリ・下半ナデ・稜線あり、内面ナデ、口縁部ヨコナデ	外面体部に灰付着

挿図 番号	器種	出土地点	法量 (cm)	色 調	焼成	胎 土	技法の特徴	備 考
43	須恵器 杯蓋	自然流路 (中層)	口径(復) 器高(残) 15.6 3.8	外) 灰 内) 灰黄褐 断) 灰	堅緻	密	ギア面上半回転ヘラケズリ・下半ナデ、 内面ナデ	
44	須恵器 杯蓋	自然流路 (中層)	口径(復) 器高 15.2 4.5	外) 灰 内) 灰白 断) 灰白	堅緻	密 長石	外面上半回転ヘラケズリ・下半ナデとヨ コナデ、内面ナデ・ヨコナデ	
45	須恵器 杯蓋	自然流路 (中層)	口径 器高 12.6 4.7	外) 青灰 内) 灰 断) 灰	堅緻	密	外面上半回転ヘラケズリ・下半ナデ、内 面ナデ	口縁歪む
46	須恵器 蓋	自然流路 (中層)	つまみ径 器高(残) 3.0 2.5	外) 灰 内) 灰 断) 赤灰	良好	密	内外面回転ナデ、内面ナデ、カマ記号あ り	
47	須恵器 杯身	自然流路 (中層)	口径(復) 器高(残) 14.4 3.9	外) 灰 内) 灰 断) 灰	堅緻	密	内外面ナデ、外面底部ヘラケズリ、口縁 部ヨコナデ	
48	須恵器 杯身	自然流路 (中層)	口径(復) 口径(受部) 器高(残) 14.0 16.4 4.0	外) 灰 内) 灰 断) 灰	堅緻	密	内外面ナデ、口縁部ヨコナデ	
49	須恵器 杯身	自然流路 (中層)	口径(復) 器高(残) 10.8 3.3	外) 灰 内) 灰 断) 灰	堅緻	密	外面ナデ・回転ヘラケズリ、内面ナデ、 口縁部ヨコナデ	
50	韓式系土器 小片	自然流路 (中層)	最長 最大厚 7.5 0.7	外) 橙 口縁部) 橙 体部) 灰黄褐	良好	密	外面格子目タタキ、内面ナデ	
51	韓式系土器 小片	自然流路 (中層)			良好	密	外面格子目タタキ、内面ナデ	
52	韓式系土器 小片	自然流路 (中層)	最長 最大厚 9.4 0.7	外) 灰黄 内) 黒 断) 黒・灰黄	不良	密	外面格子目タタキ、内面ナデ	
53	砥石	自然流路 (中層)	残長 残幅 残厚 重 5.9 5.9 1.4 74.1g	外) 断) 内) 断)		凝灰岩	両面に擦痕あり	緑刻磔
54	土師器 小型甕	自然流路 (下層)	口径(復) 器高(残) 12.2 8.2	外) におい黄褐 内) 黄灰 断) 黄灰	良好	やや粗	外面ヨコナデ、ハケ目(タテ・斜め)、 内面ヨコナデ・板ナデ・体部上部粘土紐 痕・体部下部指押さえ	外面にベンガラ付着
55	土師器 小型丸底壺	自然流路 (下層)	口径(復) 器高(残) 10.2 7.6	外) 褐灰・ 内) 黒褐 断) におい黄橙	良好	密	内外面ヨコナデ・ナデ、外面体部に10 条/cmのハケ目あり	胴部内外に煤付着
56	土師器 甕	自然流路 (下層)	口径(復) 器高(残) 33.6 5.6	外) におい黄橙 内) におい黄橙 断) 灰白	良好	密	内外面ヨコ案で、外面体部タタキ(タタ キの後ナデ)	
57	土師器 杯	自然流路 (下層)	高台径(復) 器高(残) 16.0 1.2	外) 灰黄褐 内) 灰黄褐 断) におい褐	良好	密	外面ヨコナデ・ナデ・貼り付け高台、内 面ヨコナデ・暗文	
58	韓式系土器 小片	自然流路 (下層)	残長 3.8	外) 灰白 内) 灰白 断) 灰白	やや 軟質	密	外面格子目タタキ、内面ナデ	須恵質
59	須恵器 杯蓋	自然流路 (下層)	口径(復) 器高(残) 15.0 4.75	外) オリーブ黒 内) 暗オリーブ灰 断) 灰	堅緻	密	外面上半回転ヘラケズリ・下半ナデ、内 面ナデ	内面に鉄分付着、外面に 灰付着
60	須恵器 蓋	自然流路 (下層)	口径 器高 12.0 5.3	外) 灰白 内) 灰 断) 灰	堅緻	密	内外面回転ナデ、上面回転ヘラケズリ	
61	須恵器 杯身	自然流路 (下層)	口径(復) 器高(残) 13.8 3.5	外) 灰 内) 灰 断) 灰	堅緻	密	口縁部ヨコナデ、内外面回転ナデ	
62	須恵器 杯身	自然流路 (下層)	口径 口径(受部) 器高 11.8 13.7 3.2	外) 灰 内) 灰 断) 灰	堅緻	密	内外面ナデ、口縁部ヨコナデ、ヘラ記号カ あり	
63	須恵器 杯身	自然流路 (下層)	口径(復) 器高(残) 13.8 3.5	外) 灰 内) 黄灰 断) 灰	堅緻	密	外面ナデ・回転ヘラケズリ、内面ナデ・ 口縁部ヨコナデ	
64	須恵器 杯身	自然流路 (下層)	口径(復) 口径(受部) 器高(残) 13.3 15.2 3.5	外) 灰 内) 灰 断) 灰	やや軟	密	外面ナデ・回転ヘラケズリ、内面回転ナ デ、口縁部ヨコナデ	

挿図番号	器種	出土地点	法量 (cm)	色 調	焼成	胎 土	技法の特徴	備 考	
65	須恵器 杯身	自然流路 (下層)	口径 口径(受部) 器高	11.7 14.4 3.2	外) 灰 内) 灰 断) 灰	堅緻	密	外面上半ナデ・下半回転ヘラケズリ、内面ナデ、口縁部ヨコナデ	
66	須恵器 杯身	自然流路 (下層)	口径(復) 器高(残)	11.4 2.7	外) 暗灰青 内) 暗灰青 断) 暗赤灰	やや 不良	密	内外面ナデ、口縁部ヨコナデ	
67	須恵器 杯身	自然流路 (下層)	口径(復) 器高(残)	11.0 4.0	外) 灰 内) 灰 断) 灰	堅緻	密	外面ナデ・回転ヘラケズリ、内面ナデ、口縁部ヨコナデ	
68	須恵器 甕	自然流路 (下層)	口径(復) 器高(残)	21.1 4.9	外) 暗灰 内) 灰褐 断)	やや 不良	密	内外面ヨコナデ・ナデ、内面に粘土紐痕	
69	須恵器 甕	自然流路 (下層)	口径(復) 器高(残)	21.2 5.4	外) 灰 内) 灰 断) 灰	堅緻	密	内外面ヨコナデ・ナデ	
70	須恵器 甕	自然流路 (下層)	口径(復) 器高(残)	22.0 8.05	外) 灰 内) 灰 断) 灰	堅緻	密	口縁部ヨコナデ、頸部ナデ、外面体部タテ方向のタタキの後カキ目ですりけしている、内面体部に青海波文施す	
71	須恵器 台付鉢	自然流路 (下層)	口径 器高	11.6 11.8	外) 灰 内) 灰黄褐 断) (中心部) にぶい褐	やや 不良	密	口縁部と台底部ヨコナデ、内外面ナデ、外面ヘラ描き波線文施す、鉢部下半回転ヘラケズリ	軟質
72	須恵器 高杯	自然流路 (下層)	口径(復) 器高(残)	10.8 4.4	外) 灰 内) 灰黄褐 断) 灰	堅緻	密	内外面ナデ、外面杯部下半回転ヘラケズリ	
73	須恵器 甌	自然流路 (下層)	口径 器高(残)	- 6.4	外) 灰 内) 灰 断)	堅緻	密	外面上半ナデ・下半回転ヘラケズリ、内面ナデ	穿孔は外面から内面に穿っている
74	須恵器 甌	自然流路 (下層)	口径 器高(残)	- 10.9	外) オリーブ灰 内) オリーブ灰 断) 灰	堅緻	密	外面頸部カキ目・体部上半ヘラ描き沈線文(3条)と線刻文施す・体部下半回転ヘラケズリ、内面ナデ、	穿孔あり
75	須恵器 甌	自然流路 (下層)	口径 器高(残)	- 15.8	外) 黄灰 内) オリーブ黒 断) 赤灰	堅緻	やや粗	外面上半カキ目・下半ナデ・線刻文を施す、内面ナデ	内外面に灰付着、穿孔あり
76	須恵器 器台	自然流路 (下層)	口径(復) 器高(残)	27.8 6.1	外) 灰 内) 灰 断) 灰赤	堅緻	密	内外面回転ナデ、外面にクシ描き波状文を施す	内面に降灰
77	須恵器 器台	自然流路 (下層)	口径(復) 器高(残)	26.5 9.4	外) 灰 内) 灰 断) 灰	堅緻	密	外面ナデ・沈線と沈線の間に12条の波状文(2帯と1帯)それぞれあり、内面ナデ・ヨコナデ	透し孔あり
78	剥片	自然流路 (下層)	長 幅 厚 重	5.6 6.35 1.5 31.5g			サヌカイト		二上山産
79	砥石	自然流路 (下層)	長 残幅 厚 重	7.6 7.6 2.6 225.6g			砂岩		玉造りの際の玉砥石か、砥面には現状で2つの凹みをもつ、玉(勾玉など)の内湾部研磨に使用されたものか
80	木製品	自然流路 (下層)							
81	砥石	SK-208	残長 幅 厚 重	5.5 2.2 1.1 24.0g			片岩		玉造?
82	須恵器 杯蓋	SK-215	口径(復) 器高(残)	20.6 1.8	外) 灰白 内) 灰白 断) 灰白	堅緻	密	内外面ナデ・ヨコナデ	
83	剥片	SK-215	長 幅 厚 重	5.6 3.7 0.8 20.7g			サヌカイト		二上山産
84	須恵器 杯蓋	SK-216	口径(復) 器高(残)	8.1 8.1	外) 灰白 内) 灰白 断) 灰白	良好	密	外面ナデ・回転ヘラケズリ、内面ナデ、口縁部ヨコナデ	外面にヘラ記号あり
85	土師器 甕	SK-220	口径(復) 器高(残)	18.8 3.0	外) にぶい橙 内) にぶい橙 断) 黄灰	堅緻	密	内外面ヨコナデ	
86	土師器 高杯	SK-225	口径(復) 器高(残)	17.8 6.3	外) 橙 内) 橙 断) 橙	良好	やや粗	内外面ヨコナデ・ナデ、外面杯下部に指押さえ	

挿図番号	器種	出土地点	法量 (cm)	色 調	焼成	胎 土	技法の特徴	備 考
87	韓式系土器小片	SP-234	器高(残) 2.6	外) におい黄褐 内) 灰黄褐 断) 灰黄褐	良好	やや粗	外面格子目タタキ、内面ナデ	軟質
88	古式土師器甕	SP-243	口径(復) 15.0 器高(残) 10.1	外) 黄褐 内) 黄褐 断) 黄褐	良好	密	外面タタキ目とハケ目、内面ヘラケズリ・指押さえ、口縁部ヨコナデ	
89	古式土師器小型丸底壺	落ち込みA	口径器高 9.4 15.5	外) 橙 内) 橙 断) 橙	やや不良	密	外面ハケ目とタタキ文、内面ナデとヘラミガキ、口縁部ヨコナデ	外面口縁から頸部にかけて暗文あり
90	土師器短頸壺	落ち込みA	口径器高 8.2 7.0	外) 灰黄褐 内) 灰黄褐 断) 灰	良好	密	内外面ナデ、口縁部ヨコナデ	外面底部全体に黒斑あり
91	土師器ミニチャ7壺	落ち込みA	口径器高 5.5 7.4	外) 暗灰黄 内) 暗灰黄 断) 褐	良好	密	外面ナデとヘラケズリ、内面ナデ、口縁部ヨコナデ	肩部に穿孔あり(外→内へ)
92	土師器壺	落ち込みA	口径器高 9.4 11.2	外) 黒褐 内) 黒褐 断) 灰オリーブ	やや不良	密	外面板ナデ、内面ナデ、口縁部ヨコナデ	外面は特に底部・内面は全体に煤けている、底部穿孔
93	弥生土器壺	落ち込みA	口径(復) 18.8 器高(残) 5.9	外) 浅黄 内) におい黄橙 断) 灰	やや不良	密	内外面ヨコナデ、内面頸下部指押さえ	二重口縁
94	弥生土器甕	落ち込みA	口径(復) 21.8 器高(残) 8.3	外) におい黄橙 内) におい黄橙 断) 灰	やや不良	密	内外面ヨコナデ・ナデ	段上(2段)口縁
95	古式土師器壺	落ち込みA	口径器高 17.1 29.2	外) におい黄橙 内) オリーブ黒 断) におい黄橙	良好	密	内外面ヨコナデ・ナデ	
96	土師器甕	落ち込みA	口径(復) 17.0 器高(残) 15.0	外) におい黄橙 内) におい黄橙 断) 灰	良好	密	外面ナデ、内面ナデ・タテ方向のヘラケズリ・粘土紐痕あり、口縁部ヨコナデ	外面体部上半部に煤付着
97	古式土師器甕	落ち込みA	口径(復) 13.9 器高(残) 10.4	外) におい黄橙 内) 橙 断) 灰白	やや不良	密	内外面ヨコナデ・ナデ、内面に指押え・粘土紐痕あり	外面体部上半部に煤付着
98	土師器甕	落ち込みA	口径(復) 12.7 器高 19.8	外) におい黄褐 内) 褐 断) 褐	良好	密	外面板ナデ、内面ナデ、口縁部指押えとヨコナデ、底部ナデ	
99	土師器丸底壺	落ち込みA	口径(復) 15.6 器高(復) 26.6	外) 浅黄橙 内) におい黄橙 断) 灰黄	良好	粗	外面体部上半タテ方向のハケ目と粗いハケ目・板ナデ、内面体部ヘラケズリ・下半タテ方向の板ナデ、口縁部ヨコナデ	外面体部に煤付着
100	韓式系土器甕	落ち込みA	口径(復) 22.2 器高(残) 20.7	外) におい黄橙 内) 灰 断) 灰	良好	密	外面格子タタキ、内面ナデ、口縁部ヨコナデ	外面口縁部に鉄分付着
101	土師器有孔鉢	落ち込みA	口径(復) 4.5 器高(残) 1.8	外) におい橙 内) におい橙 断) 浅黄橙	良好	やや粗	外面タタキ・底部ナデ、内面ナデ(放射状)	穿孔あり
102	土師器甕	落ち込みA	口径(復) 5.0 器高(残) 2.4	外) におい橙 内) 灰黄 断) 灰黄	良好	やや粗	外面タタキ、内面調整不明	底面に木の葉の跡あり
103	土師器鉢	落ち込みA	器高(残) 4.4	外) 橙 内) におい橙 断) 灰	良好	やや粗	口縁部内外面ヨコナデ、外面体部ハケ目(わずかに観察できる)、内面体部ケズリ	
104	土師器小型甕	落ち込みA	口径(復) 11.3 器高 9.9	外) 明赤褐 内) 明赤褐 断) 明赤褐	良好	粗	外面タタキ目(ところどころ磨耗)、内面ナデ・指押え、口縁部ヨコナデ	穿孔あり
105	土師器丸底壺	落ち込みA	口径器高 12.3 8.05	外) 灰褐 内) 褐灰 断) 褐灰	良好	密	内外面ナデ、口縁部ヨコナデ	内面は全体に煤付着
106	韓式系土器小型鉢	落ち込みA	口径(復) 11.6 器高 8.5	外) におい黄褐 内) 灰黄 断) 灰黄	良好	やや粗	内外面ナデ、口縁部ヨコナデ	底部穿孔あり
107	土師器高杯	落ち込みA	口径(復) 21.4 器高(残) 6.2	外) 橙 内) 橙 断) 灰黄褐	良好	密	外面斜め方向ハケ目・ナデ・ヘラケズリ、内面ヨコ方向ハケ目・ナデ、口縁部ヨコナデ	
108	土師器高杯	落ち込みA	口径(復) 17.0 器高(残) 6.0	外) 明赤褐 内) 明赤褐 断) 黄灰	不良	やや粗	内外面ヨコナデ・ナデ	

挿図 番号	器種	出土地点	法量 (cm)	色 調	焼成	胎 土	技法の特徴	備 考
109	土師器 高杯	落ち込みA	口径(復) 器高(残) 19.6 8.3	外) におい橙 内) におい橙 断) 灰白	やや 不良	密	外面口縁部ヨコナデ・杯部ナデ・タテハケ、内面口縁部ヨコハケ・杯部ハケ目・粘土紐痕あり	
110	土師器 高杯	落ち込みA	口径(復) 器高(残) 13.8 4.6	外) 橙 内) 橙 断) 褐灰	不良	粗	口縁部ヨコナデ、外面ナデ、内面ハケ目	
111	土師器 高杯	落ち込みA	底径(復) 器高(残) 10.6 8.1	外) におい橙 内) におい橙 断) オリーブ黒	良好	密	外面ナデ、内面しぼり目・板ナデ・ナデ 粘土紐痕あり、脚底部ヨコナデ	脚部に円形の透しを3ヶ所穿つ
112	土師器 高杯	落ち込みA	底径(復) 器高(残) 10.8 7.35	外) におい黄橙 内) 灰 断) 灰	不良	密	外面ナデ、内面しぼり目・ヨコ方向ヘラケズリ・粘土紐痕あり	脚部に円形の透しを3ヶ所穿つ
113	土師器 高杯	落ち込みA	底径(復) 器高(残) 10.4 5.7	外) 赤橙 内) 赤橙 断) 灰白	やや 不良	密	外面ナデ、内面しぼり目・ナデ・粘土紐痕、脚底部ヨコナデ	
114	土師器 高杯	落ち込みA	口径(復) 器高(残) 12.4 7.4	外) 灰黄 内) 灰黄 断) 黒褐	やや 不良	密	外面ヘラナデ、内面ヘラケズリ・ハケ目、脚底部ヨコナデ	
115	土師器 高杯	落ち込みA	底径(復) 器高(残) 9.3 6.4	外) 橙 内) 橙 断) 灰白	良好	密	外面タテ方向ヘラミガキ、内面しぼり目・ヨコ方向ヘラケズリ・ヨコ方向ハケ目、脚底部内外面ヨコナデ	
116	韓式系土器 小片	落ち込みA	最長 最大厚 7.7 1.0	外) 灰黄 内) 灰黄 断) 暗灰	不良	やや粗	外面格子目タタキ、内面ナデ	
117	韓式系土器 小片	落ち込みA	最長 最大厚 4.7 0.65	外) におい黄橙 内) 灰黄 断) 灰	やや 不良	密	外面格子目タタキ、内面ナデ	
118	韓式系土器 小片	落ち込みA	最長 最大厚 9.5 0.55	外) におい黄 内) におい黄 断) 暗灰黄	良好	密	外面格子目タタキ、内面ナデ	
119	須恵器 蓋	落ち込みA	口径(復) 器高 16.8 3.5	外) 黒 内) 灰 断) 灰	堅緻	密	内外面ナデ(外面上部ナデはヘラ切りを消している)、外面上部指押さえ、内面回転ナデ	
120	須恵器 杯	落ち込みA	最大径 器高(残) 11.8 3.3	外) 灰 内) 灰 断) 灰	堅緻	密	外面上半と内面回転ナデ、外面下半ヘラケズリ	
121	須恵器 不明	落ち込みA	口径(復) 最大径(復) 器高(残) 11.5 14.2 6.2	外) 灰 内) 灰 断) 黄灰	堅緻	密	内外面回転ナデ	内面に白色付着物あり
122	須恵器 丸底壺	落ち込みA	口径(復) 器高 10.8 14.7	外) 青灰 内) 青灰 断) 灰	堅緻	密	外面ナデと板ナデ、内面指押さえとナデ、口縁部ヨコナデ	口縁外面に波状文
123	須恵器 壺	落ち込みA	器高(残) 3.9	外) 灰 内) 灰 断) 褐灰	堅緻	密	内外面回転ナデ	
124	須恵器 高杯	落ち込みA	器高(残) 8.7	外) 灰 内) 灰 断) 灰	堅緻	密	外面回転ナデ・ヘラ状工具による刺突文 施す、内面ナデ、回転ナデ	刺突文は脚部の3ヶ所に施されている
125	須恵器 高杯?	落ち込みA	口径(復) 器高(残) 7.4 11.0	外) 灰 内) 緑灰 断) 灰	堅緻	密	内外面ヨコナデ・ナデ、外面に波状文(1・2カ?条)施す、内面下半指押さえ	
126	須恵器 甕	落ち込みA	器高(残) 4.5	外) 褐灰 内) 灰 断) 灰赤	堅緻	密	外面格子目タタキ、内面ヨコナデ、ナデ	
127	須恵器 甕	落ち込みA	器高(残) 5.0	外) 灰 内) 灰 断) 褐灰	堅緻	密	外面格子目タタキ、内面ナデ	
128	石製品 有孔円盤	落ち込みA	直径(復) 厚 3.0 0.45					
129	縄文土器 深鉢	落ち込みB	口径(復) 器高(残) 23.4 9.0	外) におい黄橙 内) 灰黄 断) におい黄橙	良好	粗	外面貼り付け突帯、突帯部にD字型刻み目文施す・粘土紐痕あり、内外面ナデ	
130	縄文土器 深鉢	落ち込みB	口径(復) 器高(残) - 4.5	外) 灰黄 内) 灰黄 断) 灰黄	良好	粗	外面貼り付け突帯、突帯部にD字型刻み目文施す・粘土紐痕あり、内外面ナデ	

挿図 番号	器種	出土地点	法量 (cm)	色 調	焼成	胎 土	技法の特徴	備 考
131	縄文土器 深鉢	落ち込みB	口径(復) 器高(残)	3.6 - 外) 暗灰黄 内) 暗灰黄 断) 暗灰黄	やや 不良	粗	外面に貼り付け突帯、内外面ナデ	
132	縄文土器 深鉢	落ち込みB	口径(復) 器高(残)	28.4 11.7 外) 黄褐 内) 黄褐 断) 黄褐	良好	粗	内外面ヨコナデ・ナデ、外面に貼り付け突帯・突帯部に刻み目文(O字)施す	外面に少量のベンガラ附着?
133	土師器 小型壺	落ち込みB	口径 器高	3.4 11.5 外) におい黄橙 内) 暗灰黄 断) 暗灰黄	良好	密	外面ヘラミガキ、底部ヨコナデ、内面ナデ・粘土紐紺あり、口縁部ヨコナデ	
134	弥生土器 壺	落ち込みB	器高(残)	2.0 外) 黄灰 内) 暗灰黄 断) 黒褐	良好	やや粗	内外面ナデ・クシ描きによる波状文(4条/単位)施す	
135	弥生土器 壺	落ち込みB	器高(残)	2.2 外) 黄灰 内) 黄灰 断) 黄灰	良好	やや粗	内外面ナデ、外面口縁部に瓜形文と円形浮文施す	外面くぼみにわずかに朱が残る(全体に塗布されていたものと思われる)
136	弥生土器 壺	落ち込みB	口径(復) 器高(残)	18.9 6.7 外) におい褐 内) におい黄褐 断) におい褐	良好	密	内外面ヨコナデ・ナデ	二重口縁
137	土師器 壺	落ち込みB	口径(復) 器高(残)	14.0 6.5 外) におい黄橙 内) 橙 断) 灰白	良好	やや粗	外面クシ目・ヨコナデ・ナデ、内面ヨコナデ・ケズリ、口縁部磨滅(外面口縁部にハケ目があったと思われるが不明)	
138	土師器 小型丸底壺	落ち込みB	口径 器高	9.2 12.0 外) におい黄橙 内) におい黄橙 断) におい黄橙	良好	密	外面ナデとハケ目、内面ヘラケズリ、口縁部ヨコナデ	底部全体と一部口縁に煤附着
139	土師器 小型丸底壺	落ち込みB	口径 器高	9.2 9.6 外) におい黄 内) 灰黄褐 断) 灰黄褐	良好	密	内外面ナデ、口縁部ヨコナデ、内面底部指押さえ	外面体部と胴部に煤附着
140	土師器 小型丸底壺	落ち込みB	口径(復) 器高(残)	9.2 8.2 外) 橙 内) 橙 断) 橙	良好	密	外面ナデ・ハケ目、内面ナデ・ヘラケズリ、口縁部ヨコナデ	
141	土師器 小型丸底壺	落ち込みB	口径(復) 器高(残)	- 7.8 外) 黒褐 内) におい橙 断) 灰褐	やや 不良	密	外面タテハケ・ヨコと斜めハケ・頸部ヨコナデ、内面頸部ヨコナデ・指ナデ・粘土紐痕あり	体部全面的に煤附着、作りが歪、鉄分附着、外面体部に5・6つのケズレあり
142	土師器 ミニチュア土器 壺	落ち込みB	口径(復) 器高	3.8 4.2 外) におい黄橙 内) におい橙 断) 暗灰	良好	密	内外面ヨコナデ・ナデ・粘土紐痕、内面頸部指押さえ指押さえ、外面に粘土紐痕	
143	土師器 ミニチュア 丸底壺	落ち込みB	口径(復) 器高(残)	- 5.8 外) 灰黄 内) 灰黄 断) 灰黄	良好	密	内外面ヨコナデ・ナデ、外面上部に文様カ・底部指押さえ、内面粘土紐痕あり	
144	弥生土器 甕	落ち込みB	口径 器高	14.8 19.4 外) 浅黄 内) 灰黄 断) 灰黄	良好	密	外面タタキ目、内面板ナデと指押さえ、口縁部ヨコナデ	外面胴部中半と底部・内面胴部上半から底部にかけて煤附着
145	土師器 甕	落ち込みB	口径(復) 器高(残)	16.4 7.2 外) 灰オリーブ 内) 灰 断) 灰オリーブ	良好	密	外面タタキ目、内面ナデ・粘土紐痕、口縁部ヨコナデ	外面口縁部に煤附着
146	土師器 甕	落ち込みB	口径(復) 器高(残)	15.9 7.9 外) におい黄橙 内) 灰黄 断) オリーブ黒	良好	密	外面ナデ・5条/cmのハケ目、内面ナデ・ヘラケズリ、口縁部ヨコナデ	
147	土師器 有孔鉢	落ち込みB	底径 器高(残)	4.0 3.6 外) におい黄 内) におい黄橙 断) 黒	良好	やや粗	内外面ハケ目(外底面除く)、外底面ナデ	穿孔あり
148	土師器 甕	落ち込みB	口径(復) 器高(残)	19.6 11.0 外) におい黄 内) におい黄橙 断) におい黄	良好	密	外面ナデ・タテとヨコ方向のハケ目、内面ナデ・ヨコと斜め方向のヘラケズリ、口縁部ヨコナデ	
149	土師器 高杯	落ち込みB	口径(復) 器高	15.0 10.2 外) 淡赤橙 内) 黄灰 断) 黄灰	良好	密	外面ナデ、内面ナデとヘラケズリ、口縁部ヨコナデ	内面全体に煤附着
150	土師器 高杯	落ち込みB	口径(復) 器高	13.4 9.4 外) におい黄橙 内) におい黄橙 断) 黒	やや 不良	密	外面ナデ、内面板ナデとナデ、口縁部ヨコナデ	3ヶ所透かしあり
151	土師器 高杯	落ち込みB	口径(復) 器高(残)	25.4 7.4 外) におい黄橙 内) 橙 断) におい黄	良好	密	内外面ヨコナデ・ナデ、外面杯部下半ハケ目	
152	土師器 高杯	落ち込みB	口径(復) 器高(残)	14.9 4.5 外) におい黄 内) 灰黄 断) 暗灰	やや 不良	粗	外面ナデ・8条/cmハケ目・ヘラミガキ、内面ヘラミガキ、口縁部ヨコナデ	外面口縁部に煤附着

挿図 番号	器種	出土地点	法量 (cm)	色 調	焼成	胎 土	技法の特徴	備 考
153	土師器 高杯	落ち込みB	口径(復) 器高(残) 19.0 5.5	外) におい黄橙 内) におい黄橙 断) 黒	やや 不良	密	外面ハケ目(8条/cm)・上からナデ調整、 内面ナデ(板ナデ)、口縁部ヨコナデ	
154	土師器 高杯	落ち込みB	口径(復) 器高(残) 4.6 10.6	外) 灰黄 内) におい黄橙 断) 暗灰	やや 不良	密	外面ナデ・粘土紐痕、内面板ナデ(かす かに痕跡)、口縁部ヨコナデ	外面口縁部に煤附着
155	土師器 高杯	落ち込みB	器高(残) 6.8	外) 赤橙 内) 赤橙 断) 灰	良好 (硬質)	密	外面ハケ目(ヨコ方向のミガキ線も入 る)・上部ミガキ、内面杯部ミガキ(放 射状)・脚部ナデと下部にケズリ	
156	土師器 高杯	落ち込みB	口径(復) 器高(残) 9.8 7.8	外) におい黄 内) 黄灰 断) オリーブ黒	良好	密	外面タテ方向ヘラナデ・ヨコナデ、内面 しぼり目・ナデ・ヨコナデ	
157	土師器 高杯	落ち込みB	底径(復) 器高(残) 13.0 6.4	外) におい橙 内) におい黄橙 断) オリーブ黒	やや 不良	密	外面ナデ・粘土紐痕、内面ヘラケズリ・ ナデ・板ナデ・脚底部ヨコナデ	
158	石錘	落ち込みB	長 幅 厚 重 9.2 7.5 5.6 544.1g			砂岩		敲石に転用した可能性あり
159	石核	落ち込みB	残長 残幅 残厚 重 6.1 2.2 3.8 56.7g			サヌカイト		二上山産
160	剥片	落ち込みB	長 幅 厚 重 4.1 2.8 0.75 5.0g			サヌカイト		二上山産
161	剥片	落ち込みB	残長 幅 厚 重 4.8 4.8 1.8 35.7g			硬質凝灰岩	擦痕あり	
162	弥生土器 壺	第V層	口径(復) 器高(残) 20.0 3.8	外) 灰黄 内) 灰黄 断) 灰黄	良好	やや粗	口縁部内外面ヨコナデ(外面強いヨコナ デ)、外面頸部ミガキ(消えかかっている)、 内面頸部ナデ	西部瀬戸内系?
163	土師器 甕	第V層	口径(復) 器高(残) 11.4 4.5	外) におい黄橙 内) におい黄橙 断) 黄灰	良好	やや粗	内外面ヨコナデ・ナデ、外面口縁部に4 条の波状文とD字形刻み目文と列点文 施す・貼り付け突帯、内面口縁部に6・7 条の波状文・口縁端部に刻み目文施す	
164	土師器 壺	第V層	口径(復) 器高 11.5 5.4	外) 灰黄 内) におい橙 断) 灰黄	良好	密	外面ナデ・8条/cmのハケ目わずかに残 る、内面8条/cmヨコハケ目、口縁端部 ヨコナデ	
165	須恵器 小型丸底壺	第V層	口径 器高 5.5 7.2	外) 橙 内) 橙 断)	良好	密	外面板ナデ、内面ナデ、口縁部ヨコナデ	
166	土師器 甕	第V層	口径(復) 器高(残) 13.8 7.0	外) 灰黄 内) におい黄橙 断) 黄灰	良好	やや粗	口縁部内外面ヨコナデ、外面体部タタキ (7条/単位)、内面体部板ナデで上部に 指押さえ	内外面に煤附着
167	土師器 甕	第V層	口径(復) 器高(残) 18.6 8.4	外) 灰黄 内) におい黄橙 断) 灰	良好	密	口縁部内外面ヨコナデ、外面体部タタキ、 内面体部ナデ(指押さえの痕跡残る)	
168	土師器 甕	第V層	口径(復) 器高(残) 16.2 5.3	外) 灰オリーブ 内) におい黄橙 断) 灰黄	やや 不良	密	口縁部ヨコナデ、内外面板ナデ(内面下 方の石少量とぶ)	
169	土師器 甕	第V層	口径(復) 器高(残) 14.5 3.7	外) 灰白 内) 灰白 断) 灰白	良好	密	口縁部内外面ヨコナデ、外面体部ハケ目 (8条/単位)、内面体部ハケ目・指押さえ・ 板ナデの痕跡残る	
170	土師器 甕	第V層	口径(復) 器高(残) 15.8 7.4	外) 灰白 内) 灰白 断) 暗灰	やや 不良	密	外面ナデ、内面指押さえ・粘土紐痕、口 縁部ヨコナデ	
171	土師器 甕	第V層	口径(復) 器高(残) 13.4 7.7	外) 暗灰黄 内) 暗灰黄 断) 灰	良好	やや粗	外面ハケ後ヨコナデ、内面ヨコナデ・頸 部指押さえとナデ、粘土継ぎ目痕あり	外面に煤附着しているが 断面にも観察できる、九 州系?
172	土師器 甕	第V層	口径(復) 器高(残) 29.4 8.4	外) におい橙 内) 灰白 断) 灰	やや 軟質	やや粗	口縁部内外面ヨコナデ(磨滅のため不明 瞭)、外面体部ハケ目、内面頸部体部ケ ズリ(磨滅のため不明瞭)	
173	韓式系土器 甕	第V層	口径(復) 器高(残) 21.2 4.2	外) におい黄橙 内) におい黄橙 断) 灰白	良好	やや粗	内外面ヨコナデ、外面タテ方向のハケ(ヨ コナデにより消されている)	
174	土師器 杯	第V層	口径(復) 器高(残) 14.6 2.6	外) におい黄橙 内) におい黄橙 断) 灰	良好	やや粗	内外面ナデ(調整不明瞭)	

挿図番号	器種	出土地点	法量 (cm)	色 調	焼成	胎 土	技法の特徴	備 考
175	土師器 高杯	第V層	底径(復) 器高(残) 18.4 5.4	外) 黄灰 内) 黄橙 断) 灰黄	良好	やや粗	外面ミガキ、内面ハケ目、脚底部内外面 ヨコナデ	穿孔あり
176	土師器 小型丸底壺	第V層	口径(復) 器高 12.6 6.25	外) 灰白 内) 灰白 断) 灰白	良好	密	外面上半ヨコナデ・下半ハケ目、内面上 半ハケ目後ヨコナデ(ナデ消している)・ 下半ナデ	
177	土師器 小型丸底壺	第V層	口径(復) 器高 8.8 4.25	外) 橙 内) 橙 断) ぶい褐	良好	密	内外面ヨコナデ・ミガキ・底部磨滅のため 不明、外面下半ケズリ	外面は火を受けたのか赤 変、煤のようなもの付着
178	古式土師器 高杯	第V層	口径(復) 器高(残) 10.4 7.5	外) 暗灰黄 内) 暗灰黄 断) ぶい黄褐	良好	密	外面ヨコ方向ヘラミガキとタテ方向細か いヘラミガキ、内面ヨコとタテのヘラミ ガキ・しぼり目、口縁部ヨコナデ	粗雑なつくり
179	土師器 高杯	第V層	底径(復) 器高(残) 9.2 6.8	外) 橙 内) 橙 断) ぶい橙	良好	やや粗	外面ハケ目(少し残る)・ミガキ(面取 りしているようである)・端部ヨコナデ、 内面しぼり痕・ナデ・調整不明部分あり	穿孔は3ヶ所
180	須恵器 把手付椀	第V層	口径(復) 器高(残) 10.0 3.9	外) 灰 内) 灰 断) 灰	堅緻	密	内外面回転ナデ、外面把手取り付け付近 ナデ、クシ描きによる波状文(4条/単位) 施す	
181	須恵器 蓋	第V層	口径(復) 器高 12.0 3.5	外) 灰 内) 灰 断) 灰	堅緻	密	内外面回転ナデ・ナデ	
182	須恵器 杯	第V層	口径(復) 最大径(復) 器高 14.0 16.3 3.8	外) 褐灰 内) 灰 断) 灰	堅緻	密	外面上半と内面回転ナデ、外面下半回転 ケズリ	
183	須恵器 杯	第V層	口径(復) 高台径(復) 器高 13.3 15.2 3.55	外) 灰 内) 灰 断) 灰	堅緻	密	外面回転ナデ・回転ケズリ、内面回転ナ デ、カマ記号あり	
184	須恵器 皿	第V層	口径 器高 15.6 2.95	外) 灰白 内) 灰白 断) 灰白	やや 軟質	密	内外面回転ナデ・ナデ	
185	須恵器 杯	第V層	口径(復) 器高 17.4 3.6	外) 灰白 内) 灰白 断) 灰白	堅緻	密	内外面回転ナデ(外面底部は除く)、外 面底部ナデ・粘土貼り合わせた痕跡あり	
186	須恵器 杯	第V層	口径(復) 器高 15.0 3.15	外) 灰 内) 灰 断) 灰	堅緻	密	内外面回転ナデ・ナデ、外面底部に粘土 継ぎ目痕残る	
187	須恵器 杯	第V層	口径(復) 高台径(復) 器高 12.8 10.0 4.3	外) オリーブ灰 内) 灰褐 断) 外オリーブ灰 内灰褐	堅緻	密	内外面回転ナデ・ナデ、外面高台貼り付 けのヨコナデ	
188	須恵器 杯	第V層	口径(復) 高台径(残) 器高 17.2 12.3 5.5	外) 灰 内) 灰 断) 灰	堅緻	密	外面回転ナデ・高台貼り付けのヨコナデ・ ナデ、内面回転ナデ	
189	須恵器 杯	第V層	底径(復) 器高(残) 16.8 3.8	外) 灰白 内) 灰白 断) 灰白	堅緻	密	底部ヘラ切り、内外面轆轤ナデ、貼り付 け高台部接合後ナデ	
190	須恵器 高杯	第V層	底径(復) 器高(残) 12.6 8.7	外) 灰 内) 灰 断) 灰	堅緻	密	外面と内面下半回転ナデ、内面上半しぼ り痕	
191	須恵器 甕	第V層	口径(復) 器高(残) 18.0 8.0	外) 灰 内) 灰 断) 灰	良好	密	外面回転ナデとタタキ、内面回転ナデ・ ナデ、粘土継ぎ目痕あり	
192	平瓦	第V層	残長 残幅 厚 19.2 19.6 2.6	外) 黄灰 内) 灰 断) 灰白	良好 (硬質)	密	凸面布目痕、凹面縄目タタキ、端部ヘラ 切り後未調整	全体的に雑な作りであ る、ヘラ切り部分は乾燥 時下側にあったのか上げ ている
193	平瓦	第V層	残長 残幅 厚 13.2 11.2 2.6	外) 灰白・灰 内) 灰白 断) 灰白	やや 軟質	やや粗	凸面布目(ナデ消している部分あり)・ 布とじ目・面取り施す、凹縄目タタキ、 端部ヘラ切り	全体に磨滅している
194	土師器 紡錘車	第V層	直径 厚 4.2 1.5	外) 灰オリーブ 内) 灰オリーブ 断) 灰オリーブ	良好	密		外・断面にベンガラ付着?
195	韓式系土器 小片	第V層	器高(残) 2.9	外) 灰白 内) ぶい橙 断) ぶい黄橙	良好	やや粗	外面格子目タタキ、内面ナデ	軟質、外面に煤付着
196	韓式系土器 小片	第V層	器高(残) 2.4	外) 橙 内) 橙 断) 灰	良好	密	外面格子目タタキ、内面ナデ	軟質

挿図 番号	器種	出土地点	法量 (cm)	色 調	焼成	胎 土	技法の特徴	備 考
197	韓式系土器 小片	第V層	最長 最大厚 5.0 0.45	外) 淡赤褐 内) 黄橙 断) 灰黄	やや 不良	密	外面格子目タタキ、内面ナデ	
198	韓式系土器 小片	第V層	最長 最大厚 8.7 0.6	外) 暗灰黄 内) におい黄橙 断) におい黄橙	良好	密	外面格子目タタキ、内面ナデ	
199	韓式系土器 小片	第V層	最長 最大厚 15.5 0.8	外) におい黄 内) におい黄橙 断) 灰	良好	密	外面格子目タタキ、内面ナデ	
200	韓式系土器 小片	第V層	最長 最大厚 10.1 0.45	外) におい黄橙 内) 灰黄褐 断) 灰黄褐	良好	密	外面格子目タタキ、内面ナデ	
201	韓式系土器 甕	第V層	器高(残) 14.0	外) 灰 内) 黄灰 断) 黄灰・灰	良好	密	外面縄目タタキ・タタキ(ナデにより消えている部分あり)・沈線施す、内面指押さえ後ナデ	軟質
202	韓式系土器 甕	第V層	器高(残) 3.6	外) オリーブ黒 内) 灰 断) 灰赤	良好	密	外面格子目タタキ、内面ナデ	須恵質
203	砥石	第V層	残長 残幅 残厚 重 6.7 3.4 1.2 45.4g			粘板岩		表面に溝(?)3条あり、 擦痕は縦横にはしっている
204	剥片	第V層	長幅 厚 重 5.9 2.3 0.4 4.3g			粘板岩		器種は不明だが製品として製作しようとして失敗した(?)ものと思われる。剥離は大きなものだけ認められる
205	石核	第V層	長幅 厚 重 5.5 4.2 2.8 61.8g					玉作の原石
206	削器	第V層	残長 幅 厚 重 6.0 4.4 1.0 31.1g			サヌカイト		二上山産
207	石核	第V層	長幅 厚 重 5.1 2.8 1.6 27.4g			サヌカイト		二上山産
208	砥石	第V層	残長 残幅 厚 重 8.7 7.2 2.6 141.0g			泥岩	両面に擦痕あり	
209	土師器 小型壺	第VI層 (土器群C)	口径(復) 7.6	外) におい黄橙 内) におい黄橙 断) におい黄橙	良好	密	内外面ナデ、口縁部ヨコナデ、粘土ひも痕	
210	土師器 甕	第VI層 (土器群C)	口径(復) 器高(残) 12.8 9.9	外) におい黄 内) におい黄 断) におい黄	良好	密	外面ヨコナデ・タテ(斜め)方向粗いヘラミガキ、内面口縁部ヨコナデとヨコ(斜め)方向ヘラミガキ・頸部から体部斜め方向ヘラミガキ	
211	土師器 甕	第VI層 (土器群C)	口径(復) 器高(残) 15.4 6.0	外) におい黄橙 内) 灰黄褐 断) 灰	良好	密	外面タタキ目、内面ナデ、口縁部ヨコナデ	
212	土師器 甕	第VI層 (土器群C)	口径(復) 器高(残) 7.6 11.3	外) 灰黄褐 内) 褐灰 断) 灰黄褐	良好	密	外面ナデ、内面ナデ・板ナデ・ヘラケズリ、口縁部ヨコナデ	
213	土師器 小型甕	第VI層 (土器群C)	口径(復) 器高(残) 9.8 6.0	外) 灰黄 内) 灰黄 断) 黄灰	良好	密	外面口縁部と頸部板ナデ・体部タタキ目・粘土紐痕、内面ナデ、口縁部ヨコナデ	外・内面ともに少量の鉄分付着
214	土師器 高杯	第VI層 (土器群C)	口径(復) 器高(残) 11.2 5.5	外) におい黄橙 内) におい黄橙 断) 灰黄	良好	密	外面板ナデ・指圧痕あり、内面ナデ、口縁部ヨコナデ	
215	土師器 高杯	第VI層 (土器群C)	口径(復) 器高(残) 10.7 8.1	外) におい橙 内) 浅黄橙 断) 灰	やや 軟質	やや粗	外面杯部調整不明・脚部指押さえとミガキ、内面杯部ミガキとナデ(口縁部不明瞭)・脚部ナデ	
216	土師器 皮袋型土器	第VI層 (土器群C)		外) 橙 内) におい褐 断) 橙	良好	密	外面ナデとヘラミガキ、内面ナデ	体部長端に穿孔あり
217	土師器 特殊器台?	第VI層 (土器群C)	器高(残) 5.0	外) 明赤褐 内) 橙 断) 灰	良好	やや粗	外面タガがはずれた跡・ヘラ描きによる線刻あり、内面ナデ(調整不明瞭)	埴輪の可能性あり
218	土師器 壺	第VI層 (土器群D)	口径(復) 器高(残) 20.5 6.4	外) におい黄橙 内) におい黄橙 断) 灰	やや 不良	密	内外面ヨコナデ・ナデ、外面に粘土紐痕あり	

挿図番号	器種	出土地点	法量 (cm)	色 調	焼成	胎 土	技法の特徴	備 考
219	土師器壺	第Ⅵ層(土器群D)	口径器高 9.2 15.8	外) 灰黄 内) 黒褐 断) 黄灰	やや不良	密	外面ナデとハケ目、内面ナデと板ナデ、口縁部ヨコナデ	底部に黒斑あり、やや粗雑なつくり
220	土師器小型丸底壺	第Ⅵ層(土器群D)	器高(残) 11.8	外) 橙 内) 橙 断) におい黄橙	良好	密	外面ヘラミガキ、内面ナデ、粘土紐痕あり	外面に鉄分らしきもの付着
221	土師器小型丸底壺	第Ⅵ層(土器群D)	口径器高 6.2 7.5	外) におい黄橙 内) 灰黄 断) 灰	やや不良	密	内外面指押さえとナデ、口縁部指押さえ	外面胴部下半に煤付着
222	土師器小型丸底壺	第Ⅵ層(土器群D)	口径器高 12.0 11.5	外) におい黄橙 内) におい黄橙 断) におい黄橙	良好	密	外面ナデ、タタキ目、ヘラケズリ、内面ナデとハケ目、口縁部ヨコナデ	
223	土師器甕	第Ⅵ層(土器群D)	口径(復)器高 15.0 21.7	外) におい黄橙 内) におい褐 断) 褐灰	良好	密	外面タタキ目、内面板状工具によるナデ、口縁部ヨコナデ	体部外面と底部内面に煤付着
224	弥生土器甕	第Ⅵ層(土器群D)	口径器高(残) 17.0 19.9	外) におい黄 内) 黄褐 断) 断)	良好	密	外面タタキ目、内面板ナデ(少量の石がとんでいる)、口縁部ヨコナデ	
225	土師器甕	第Ⅵ層(土器群D)	口径(復)器高(残) 17.0 4.8	外) 暗灰黄 内) 黄褐 断) 暗灰黄	良好	密	外面タタキ、内面ナデ・粘土紐痕、口縁部ヨコナデ	
226	土師器壺	第Ⅵ層(土器群D)	口径(復)器高(残) 12.1 8.0	外) 暗灰黄 内) 灰黄褐 断) 灰	良好	やや粗	内外面ヨコナデ・ナデ(内面板ナデ)・粘土紐痕	
227	土師器甕	第Ⅵ層(土器群D)	口径(復)器高(残) 16.6 5.2	外) 灰白 内) 黄灰 断) 灰白	良好	やや粗	口縁部内外面ヨコナデ(ナデ上げ)、外面体部タタキ、内面体部ケズリ、粘土接合痕あり	
228	土師器小型鉢	第Ⅵ層(土器群D)	口径器高 13.0 8.7	外) 灰黄 内) 灰黄 断) 灰黄	良好	密	外面タタキ目、内面ナデ、口縁部ヨコナデ	内面胴部上半に煤付着、穿孔(外→内へ)
229	土師器有孔鉢	第Ⅵ層(土器群D)	底径器高(残) 4.0 5.7	外) 灰黄 内) 灰黄 断) 灰	良好	やや粗	外面指押さえ後ナデ・底部未調整、内面ナデ・下部板ナデ、粘土継ぎ目痕あり	穿孔あり
230	土師器有孔鉢	第Ⅵ層(土器群D)	底径器高(残) 3.6 2.8	外) 灰黄褐 内) 灰黄 断) 灰	良好	やや粗	外底面に線刻あり、外面タタキ・底部ナデ、内面ナデと指押さえ	穿孔あり
231	土師器有孔鉢	第Ⅵ層(土器群D)	底径器高(残) 5.2 2.4	外) におい黄橙 内) におい黄橙 断) におい黄橙	良好	やや粗	外面ナデと指ナデ台部指ナデと指押さえ、内面板ナデ(放射状に入る)	
232	弥生土器高杯	第Ⅵ層(土器群D)	器高(残) 4.8	外) 灰黄褐 内) 灰白 断) におい黄橙	良好	やや粗	内外面に赤色顔料塗布(ほとんど剥がれている)、内外面ミガキ(ほとんど消えている)	
233	土師器高杯	第Ⅵ層(土器群D)	口径(復)器高(残) 20.6 4.0	外) におい黄 内) におい黄 断) 灰	やや不良	密	外面ヨコナデ・ナデ、内面ヨコナデ・板ナデ	
234	土師器高杯	第Ⅵ層(土器群D)	口径器高(残) 19.8 13.2	外) におい黄橙 内) におい黄橙 断) 灰	良好	密	内外面ナデ、ヨコナデ、外面に波状文・刻み目文・9条のクシ描き文・9条の波状文施す	脚部に5ヶ孔を穿つ(外→内)非常に丁寧なつくり
235	土師器高杯	第Ⅵ層(土器群D)	底径器高(残) 10.2 5.3	外) におい黄橙 内) におい黄橙 断) におい褐	良好	密	外面13条のヘラ描き沈線と線刻文を施す・脚下部タテ方向ヘラミガキとナデ、内面杯底部ヘラミガキが残る・ナデ・しほり目・脚底部少量の石がとぶ	円形の透かし4ヶ所穿つ
236	土師器高杯	第Ⅵ層(土器群D)	底径器高(残) 13.0 7.0	外) 黄褐 内) 黄褐 断) 灰	良好	粗	外面ヘラナデ、内面ナデ、脚底部ヨコナデ	
237	土師器壺	第Ⅵ層(土器群E)	口径(復)器高(残) 20.3 7.8	外) 灰オリーブ 内) 灰オリーブ 断) 灰オリーブ	良好	密	内外面ヨコナデ・ナデ	
238	剥片	第Ⅵ層(土器群D)	長幅厚重 8.6 6.0 2.5 117.2g			サヌカイト		二上山産
239	土師器甕	第Ⅵ層(土器群E)	口径(復)器高(残) 14.8 10.7	外) 灰オリーブ(口縁部) 内) 黒灰 断) 断)	良好	やや粗	外面ヨコナデ・ナデ・タタキ、内面ヨコナデ・ナデ	内面(残っている部分)黒斑?
240	土師器甕	第Ⅵ層(土器群E)	口径(復)器高(残) 16.55 9.8	外) 黄褐 内) 暗灰黄 断) 灰	良好	やや粗	外面ハケ目(ヨコ・タテ・斜め)、内面ヘラケズリ、口縁部ヨコナデ	外面体部上半に煤付着

挿図番号	器種	出土地点	法量 (cm)		色 調	焼成	胎 土	技法の特徴	備 考
241	土師器 小型丸底壺	第VI層 (土器群E)	口径(復) 器高	11.1 12.2	外) におい黄橙 内) におい黄橙 断)	やや 不良	密	外面ナデ、内面板ナデ・指押え・粘土紐痕あり	体部中半部から底部にかけて煤附着
242	土師器 小型丸底壺	第VI層 (土器群E)	口径 器高	11.0 6.6	外) 淡赤橙 内) 淡赤橙 断) 淡赤橙	良好	密	外面ヘラミガキ(暗文風)・わずかにハケ目痕あり、内面ミガキ(暗文風)、口縁部ヨコナデ	
243	土師器 壺	第VI層 (土器群F)	口径 器高	14.4 26.3	外) におい黄橙 内) 褐灰 断) 黒褐	良好	密	外面ハケ目(ヨコ・タテ・斜め)、内面頸部斜めハケ目・体部ヘラケズリ・体部上部に粘土紐痕と指押えあり、口縁部ヨコナデ	二重口縁、口縁部から体部下半にかけて煤附着
244	土師器 甕	第VI層 (土器群F)	口径(復) 器高	13.5 21.0	外) 浅黄橙 内) におい黄橙 断) 灰	良好	密	外面ハケ目、内面ナデと指押え、口縁部ヨコナデ	体部外面中央部と底部内面に煤附着
245	土師器 壺	第VI層 (土器群F)	口径(残) 器高	14.7 12.8	外) におい橙 内) におい橙 断) -	良好	密	外面体部ハケ目(タテ・ヨコ・斜め)、内面体部ナデ・ヘラケズリ・粘土紐痕、口縁部ヨコナデ	外面体部上半に煤附着
246	土師器 壺	第VI層 (土器群F)	口径 器高	12.8 13.3	外) におい黄橙 内) におい褐 断) 灰	良好	密	口縁部ヨコナデ、外面ナデ5条/cmの荒いハケ目、内面ヘラケズリ	
247	土師器 壺	第VI層 (土器群F)	口径(復) 器高(残)	12.2 13.2	外) 灰黄 内) 灰黄 断) 黒褐	良好	密	外面ナデ・7条/cmのハケ目、内面ナデ・ヘラケズリ・粘土紐痕あり、口縁部ヨコナデ	外面胴部に煤附着
248	土師器 丸底壺	第VI層 (土器群F)	口径(復) 器高	10.2 14.5	外) 灰黄 内) 灰黄 断)	不良	密	口縁部ヨコナデ、内外面指押え、外面ハケ目、内面指ナデ	
249	土師器 甕	第VI層 (土器群F)	器高(残)	15.8	外) 浅黄 内) 灰黄 断) 黄灰	良好	密	外面指押え後にハケ目とナデ、内面ナデと指押え	体部外面に煤附着
250	土師器 椀	第VI層 (土器群F)	口径 器高	9.7 6.8	外) におい黄 内) におい黄 断) 黄褐	やや 不良	密	内外面ナデ、口縁部ヨコナデ	内面に煤附着
251	土師器 高杯	第VI層 (土器群F)	口径 器高	17.7 13.0	外) 橙 内) 橙 断) 灰褐	やや 不良	密	外面ナデ、内面ナデ・脚部にしほり痕とヘラケズリ、口縁部ヨコナデ	
252	土師器 高杯	第VI層 (土器群F)	口径(復) 器高(残)	17.8 5.45	外) におい黄 内) におい黄 断) 黄褐	良好	密	内外面ヨコナデ・ナデ、外面に稜線・粘土紐痕あり	
253	土師器 高杯	第VI層 (土器群F)	口径(残) 器高	19.6 6.5	外) におい黄橙 内) におい黄橙 断) におい黄橙	良好	密	外面ナデ、内面ナデ・板ナデまたは4条/cmのハケ目、口縁部ヨコナデ	
254	土師器 高杯	第VI層 (土器群F)	口径(復) 器高(残)	17.6 5.1	外) におい黄 内) 浅黄 断) 灰	やや 不良	密	内外面ヨコナデ・ナデ	
255	土師器 高杯	第VI層 (土器群F)	底径(残) 器高	13.5 5.5	外) におい橙 内) におい橙 断) 灰黄	やや 不良	密	外面ナデ・板ナデ、内面ヨコ方向ヘラケズリ・ナデ	
256	土師器 高杯	第VI層 (土器群F)	底径(残) 器高	12.2 7.8	外) におい黄褐 内) におい黄褐 断) におい黄褐	良好	密	外面ナデ、内面ヨコ方向ヘラケズリ・ナデ	
257	須恵器 器台	第VI層 (土器群F)	口径 底径 器高	7.5 8.5 8.0	外) 暗灰 内) 暗灰 断) 灰	堅緻	密	内外面回転ナデ、口縁部と端部ヨコナデ	脚部四方に透かし
258	須恵器 杯壺	第VI層 (土器群G)	口径 器高	15.1 4.5	外) 灰 内) 灰 断) オリーブ灰	堅緻	密	外面上半回転ヘラケズリ・下半ナデ、内面鉄分附着	内面鉄分附着
259	土師器 小型丸底壺	第VI層 (土器群H)	口径 器高	9.0 8.2	外) におい黄 内) 黄灰 断) 黄灰	良好	密	外面板ナデ、内面ナデと指押え	
260	土師器 長頸壺	第VI層 (土器群H)	口径(残) 器高	11.8 9.8	外) におい黄 内) におい黄 断) -	良好	やや粗	内外面ヨコナデ・板ナデ	
261	土師器 丸底壺	第VI層 (土器群H)	器高(残)	16.8	外) におい黄 内) 暗灰黄 断) 黄灰	やや 不良	やや粗	内外面板ナデ、口縁部ヨコナデ	底部に黒斑あり
262	土師器 高杯	第VI層 (土器群I)	口径 器高	18.9 14.35	外) 橙 内) 橙 断) 明褐灰	良好	密	外面ナデと粗いヘラミガキ、内面坏部ナデ・脚部ハケ目、坏部口縁ヨコナデ	

挿図番号	器種	出土地点	法量 (cm)	色 調	焼成	胎 土	技法の特徴	備 考
263	土師器 高杯	第Ⅵ層 (土器群H)	器高(残) 5.6	外) におい黄橙 内) におい黄橙 断) 灰白	良好	やや粗	外面ハケ目・脚上部指押さえの痕跡残る、 脚下部に刺突文と穿孔、内面上半しぼり 痕・下半ナデ	穿孔は3ヶ所確認できる が4ヶ所あけていたと思 われる
264	土師器 高杯	第Ⅵ層 (土器群I)	口径 器高 15.8 5.0	外) におい橙 内) におい橙 断) 灰黄橙	良好	密	外面ナデ・6条/cmのハケ目、内面ナデ、 口縁部ヨコナデ	
265	須恵器 高杯	第Ⅵ層 (土器群I)	口径 器高 15.8 10.1	外) 灰白 内) 灰白 断) 灰白	良好	密	内外面ナデ、口縁部と杯底部ヨコナデ	
266	土師器 小型丸底壺	第Ⅵ層 (土器群J)	口径 器高 9.6 12.5	外) におい黄橙 内) 灰黄褐 断) 断)	良好	密	外面ナデと板ナデ・ヘラケズリ、内面ハ ケ目とナデ、口縁部ヨコナデ、粘土紐痕 あり	体部外面一部に黒斑あり
267	土師器 小型丸底壺	第Ⅵ層 (土器群L)	口径 器高 9.8 14.5	外) 浅黄 内) 浅黄 断) 灰黄	やや 不良	密	外面ナデ、内面板ナデと指押さえ、口縁 部ヨコナデ	
268	弥生土器 甕	第Ⅵ層 (土器群M)	口径 器高(残) 15.0 18.6	外) 黄褐 内) におい黄橙 断) におい黄褐	良好	やや粗	内面に粘土紐痕が多く残っている、外面 ヨコ方向ヘラミガキと斜め方向ヘラミガ キ、内面頸部ヨコ方向ヘラミガキ・体部 ナデ、口縁部ヨコナデ	内外面にベンガラ付着、 後期?
269	土師器 小型丸底壺	第Ⅵ層 (土器群M)	口径 器高 8.9 13.4	外) におい黄橙 内) におい黄橙 断) 灰褐	良好	密	外面ナデとハケ目、内面ナデと指押さえ、 口縁部ヨコナデ	
270	土師器 小型丸底壺	第Ⅵ層 (土器群M)	口径 頸径 胴径 器高 8.2 6.5 9.6 8.2	外) 黄灰 内) 黒褐 断) 断)	良好	密	外面ナデ、内面指押えとナデ、口縁部ヨ コナデ	粗雑なつくり
271	土師器 小型丸底壺	第Ⅵ層 (土器群M)	口径 器高 9.6 9.2	外) 灰黄 内) 灰黄 断) 灰	良好	密	外面板ナデ、内面ナデと指押さえ、口縁 部ヨコナデ	外面口縁部から底部にか けて 内面口縁部と底に煤付着
272	土師器 ミニチュア壺	第Ⅵ層 (土器群M)	口径 器高 7.4 7.6	外) におい橙 内) におい橙 断) 灰	良好	密	内外面指押さえとナデ、口縁部ヨコナデ	底部穿孔あり
273	土師器 小型丸底壺	第Ⅵ層 (土器群M)	口径 器高 9.2 9.9	外) におい黄褐 内) におい黄褐 断) におい黄褐	良好	密	外面板ナデ、内面ナデ、口縁部ヨコナデ、 内面底部指押え	
274	土師器 小型丸底壺	第Ⅵ層 (土器群M)	口径 器高 10.4 8.8	外) 暗灰黄 内) 暗灰黄 断) 断)	良好	密	内外面ナデと指押さえ、口縁部ヨコナデ	粗雑なつくり
275	土師器 小型丸底壺	第Ⅵ層 (土器群M)	器高(残) 4.9	外) 橙 内) におい褐 断) 灰黄	良好	密	外面指押さえとナデ、内面指押さえと板 ナデ	粗雑なつくり
276	土師器 小型丸底壺	第Ⅵ層 (土器群M)	口径 器高 9.2 12.0	外) におい橙 内) 灰黄褐 断) 灰	良好	密	外面ヘラケズリ、内面指押さえとナデ、 口縁部ヨコナデ	外面胴部下半に煤付着
277	土師器 小型丸底壺	第Ⅵ層 (土器群M)	器高(残) 7.15	外) におい黄橙 内) におい黄橙 断) 黄灰	良好	密	外面ハケ目、内面ヘラケズリ・頸部ヨコ ナデ	底部に穿孔あり、打ち欠 きあり
278	土師器 小型丸底壺	第Ⅵ層 (土器群M)	口径 器高 8.2 8.9	外) 灰黄 内) 灰黄 断) 灰	良好	密	外面ハケ目、内面ヘラケズリ、口縁部ヨ コナデ	体部中半部に黒斑あり
279	弥生土器 壺	第Ⅵ層 (土器群M)	口径 器高 18.7 28.8	外) 浅黄 内) 黄褐 断) 灰	良好	密	口縁部ヨコナデ、頸部ナデ、外面体部と 底部粗いヘラミガキ・下半部ヘラケズリ、 内面体部粗いヘラケズリ・上半部ヘラケ ズリと指押さえ	
280	土師器 甕	第Ⅵ層 (土器群M)	口径(復) 器高 14.2 19.7	外) 黄褐 内) 浅黄 断) 断)	良好	密	外面ハケ目、内面ヘラケズリと指押さえ、 口縁部ヨコナデ	口縁部と体部外面、底部 内面に煤が付着。
281	土師器 甕	第Ⅵ層 (土器群M)	口径(復) 器高(残) 14.1 16.2	外) 暗灰黄 内) 暗灰黄 断) 暗灰黄	良好	密	外面ナデ、内面ヘラケズリ・粘土紐痕あ り、口縁部ヨコナデ	
282	土師器 大型壺	第Ⅵ層 (土器群M)	口径 器高(復) 器高(残) 24.8 52.0 46.2	外) 浅黄 内) 黒 断) 黄灰	良好	密	口縁部ヨコナデ、頸部ナデ、外面頸部と 体部ハケ目、内面体部上半ハケ目と指押 さえ・ヘラケズリ・下半指押さえ	体部内面下半部に煤が付 着
283	土師器 丸底壺	第Ⅵ層 (土器群M)	口径(復) 器高(残) 15.5 13.0	外) 橙 内) 灰黄 断) 断)	やや 不良	密	口縁部と頸部ヨコナデ、外面体部ハケ目、 内面体部ヘラケズリ	体部上半部に黒斑あり
284	土師器 甕	第Ⅵ層 (土器群M)	口径(復) 器高(残) 16.2 8.7	外) 灰黄 内) 灰 断) 灰	良好	やや粗	口縁部内外面ヨコナデ、外面体部ハケ目、 内面体部ケズリ後ナデ	

挿図番号	器種	出土地点	法量 (cm)	色 調	焼成	胎 土	技法の特徴	備 考
285	土師器 甕	第VI層 (土器群M)	口径(復) 器高(残) 16.2 5.8	外) にぶい黄橙 内) にぶい黄橙 断) 黄灰	良好	密	口縁から体部にかけてヨコナデ、外面体部ハケ目、内面体部ナデ・ケズリ・粘土継ぎ目痕あり、外面ハケ目は消えかけている	
286	土師器丸底壺	第VI層 (土器群M)	口径 器高 16.8 23.8	外) 灰黄 内) 灰オリーブ 断) 灰	良好	密	外面体部板ナデ、内面体部ヘラケズリ、口縁部と頸部ヨコナデ、粘土紐痕あり	胴部に黒斑あり
287	土師器 壺	第VI層 (土器群M)	口径(復) 器高(残) 14.8 10.6	外) オリーブ黒 内) 黄灰 断) 灰	良好	密	口縁部ヨコナデ・ナデ、外面頸・体部8条/cmのハケ目、内面頸部指押さえ・体部ヘラケズリ	
288	土師器 壺	第VI層 (土器群M)	口径 器高(残) 18.4 4.4	外) にぶい橙 内) にぶい橙 断) にぶい褐	良好	密	内外面ヨコナデ・ナデ	
289	土師器 甕	第VI層 (土器群M)	口径(復) 器高(残) 15.3 8.1	外) にぶい黄褐 内) にぶい黄褐 断) 灰黄褐	良好	密	口縁部ヨコナデ、外面ナデ・ヘラケズリ、内面ナデ・指押え・粘土紐痕あり板ナデ・ヘラケズリ、内面板ナデ・ヘラケズリ、内外面に粘土紐痕	
290	土師器 小型鉢	第VI層 (土器群M)	口径 器高 10.4 6.0	外) 灰黄 内) オリーブ黒 断) オリーブ黒	良好	密	内外面ナデ、内面に指圧痕あり、口縁部ヨコナデ	体部中半部～底部にかけて黒斑あり
291	土師器 椀	第VI層 (土器群M)	口径 器高 9.8 6.6	外) 明褐灰 内) にぶい橙 断) 灰白	やや不良	密	外面ナデ、内面板ナデ、口縁部ヨコナデ、粘土紐痕あり	粗雑なつくり
292	土師器 高杯	第VI層 (土器群M)	口径 器高 24.8 16.4	外) にぶい黄橙 内) にぶい黄橙 断) オリーブ黒	良好	密	外面ナデとヘラミガキ、内面ナデとヘラミガキ、ヘラケズリ、口縁部ヨコナデ	
293	土師器 高杯	第VI層 (土器群M)	底部(復) 器高(残) 13.9 8.5	外) 灰黄 内) にぶい黄 断) 灰黄	良好	密	外面ヘラナデ・ナデ、内面ナデ	4方に円形の透かしを穿つ(外→内へ)
294	土師器 高杯	第VI層 (土器群M)	底径(復) 器高(残) 11.0 5.2	外) 暗灰黄 内) 灰黄 断) オリーブ黒	やや不良	密	外面粗いヘラミガキ、内面ナデ、脚底部ヨコナデ	
295	土師器 高杯	第VI層 (土器群M)	口径(復) 器高(残) 13.2 8.0	外) にぶい黄 内) にぶい黄 断) オリーブ黒	良好	密	外面ヘラ状工具による(ヘラナデカ)・ナデ、内面しぼり目・ヘラケズリ、脚底部ヨコナデ	
296	土師器 高杯	第VI層 (土器群M)	底径 器高(残) 10.3 4.0	外) にぶい橙 内) にぶい橙 断) 褐灰	良好	密	外面ナデ・粘土紐痕あり、内面ナデ・ヘラケズリ・ヘラ押さえ・しぼり目あり、脚底部内外面ヨコナデ	
297	砥石	第VI層 (土器群M)	長幅 厚重 16.0 5.2 1.9 250.1g			砂岩	打ち割り時の凹凸がやや残る所あり	勾玉みたいなもの
298	敲石	第VI層 (土器群M)	長幅 厚重 13.0 7.5 5.0 695.7g			砂岩		打撃痕あり
299	台石	第VI層 (土器群M)	残長 厚重 10.5 9.4 3524.6g			流紋岩?		流紋岩カ
300	土師器 高杯	第VI層 (土器群N)	口径 器高(残) 13.2 7.2	外) にぶい橙 内) にぶい橙 断) にぶい橙	やや不良	密	外面ヘラミガキ、内面ナデ・粘土紐痕、口縁部ヨコナデ	
301	韓式系土器 甕	第VI層 (土器群N)	器高(残) 4.3	外) 灰黄褐 内) 灰 断) 灰黄褐	良好	やや粗	外面格子目タタキ、内面調整不明	軟質
302	土師器 小型丸底壺	第VI層 (土器群O)	器高(残) 7.0	外) にぶい黄橙 内) 灰黄褐 断) にぶい黄橙	良好	密	外面板ナデ、内面ナデと指押さえ、粘土紐痕あり	
303	土師器 鉢	第VI層 (土器群O)	口径(復) 底径 器高 12.2 4.2 6.15	外) にぶい黄橙 内) にぶい黄橙 断) 灰白	良好	やや粗	外面タタキ・底部未調整、内面口縁端部ナデ・板ナデ	外面口縁部に煤付着
304	土師器 壺	第VI層 (土器群O)	口径 器高 13.3 9.2	外) 灰黄褐 内) 灰黄褐 断) 灰黄褐	良好	密	内外面ハケ目、口縁部ヨコナデ	胴部に穿孔あり
305	土師器 器台	第VI層 (土器群Q)	口径 器高(残) 14.7 13.5	外) にぶい黄橙 内) にぶい黄橙 断) 灰	良好	密	外面板ナデ・ヨコナデ、内面板ナデ・ナデ・ヨコナデ、内外面に粘土紐痕あり	脚部中段に2段計13コの穿孔あり
306	土師器 無頸壺	第VI層 (土器群Q)	口径(復) 器高(残) 10.0 14.0	外) 灰黄 内) 灰黄 断) 黄灰	良好	密	外面ヘラミガキ、内面指押さえと板ナデ、口縁部ヨコナデ	外面一部口縁から胴部下 部にかけて煤付着、頸部 に穿孔あり

挿図番号	器種	出土地点	法量 (cm)	色 調	焼成	胎 土	技法の特徴	備 考
307	土師器 長頸壺	第Ⅵ層	口径(復) 器高(残) 10.7 12.3	外) におい黄 内) 灰黄褐 断) におい橙	良好	密	内外面ヨコナデ・板ナデ(外面タテ方向、内面ヨコと斜め方向)、内面に粘土紐痕・指押さえ	外面口縁部から体部上半にかけて煤付着
308	土師器 甗	第Ⅵ層	口径(復) 器高(残) 20.2 3.7	外) におい黄橙 内) におい黄橙 断) 灰	良好	密	口縁部ナデ、内面口縁下部ケズリ・口縁端部面取り施す	吉備系土器カ(『古墳時代の研究』610-a期庄内式並行)
309	弥生土器 壺	第Ⅵ層	口径(復) 器高(残) 11.6 5.7	外) におい黄橙 内) におい黄橙 断) 灰	やや不良	密	外面口縁部に竹管文施す・頸部に細かいハケ目、内面ヨコナデ・ナデ・頸部に粘土紐痕	
310	土師器 ミニチュア壺	第Ⅵ層	器高 7.1	外) におい橙 内) 褐灰 断) 黄灰	良好	密	内外面ナデ、内面頸部から肩部にかけてしぼり痕あり	
311	土師器 壺	第Ⅵ層	口径(復) 器高(残) 18.4 7.7	外) 黄褐 内) 暗灰黄 断) 灰オリーブ	やや不良	密	内外面ヨコナデ・ナデ、内面頸部指押さえ	
312	土師器 壺	第Ⅵ層	口径(復) 器高(残) 9.2 6.1	外) 灰黄 内) 灰黄 断) オリーブ黒	良好	密	内外面ヨコナデ・ナデ	
313	弥生土器 壺	第Ⅵ層	口径(復) 器高(残) 18.0 5.0	外) におい黄橙 内) におい黄橙 断) 灰	良好	密	内外面ヨコナデ・ナデ	二重口縁、内面に煤付着
314	弥生土器 壺	第Ⅵ層	口径(復) 器高(残) 18.0 6.2	外) 灰黄 内) 黄灰 断) 灰黄	良好	密	内外面ヨコナデ・ナデ	二重口縁、内面口縁部に煤付着
315	土師器 小型丸底壺	第Ⅵ層	器高(残) 11.2	外) におい橙 内) 灰黄褐 断) 灰白	やや不良	密	外面ヘラミガキとヘラケズリ、内面指押さえと板ナデとハケ目	
316	弥生土器 壺	第Ⅵ層	口径(復) 器高(残) 4.0 9.8	外) 橙 内) 灰黄 断) におい橙	良好	密	内外面ナデ、内面に粘土紐痕あり	二重口縁
317	土師器 壺	第Ⅵ層	口径(復) 器高(残) 11.0 14.0	外) におい赤褐 内) 明赤褐 断) 黄灰	やや不良	やや粗	外面ヨコナデ・ナデ、内面ヨコナデ・ナデ・ヘラケズリ・体部上部に指圧痕	全体的に雑なつくりで外面は特に磨耗が著しい
318	土師器 甗	第Ⅵ層	口径(復) 器高 13.0 17.5	外) 淡黄 内) 灰褐 断) 黄褐	良好	密	外面タタキ目、内面ヘラミガキと指押さえ、口縁部ヨコナデ	底部外面に黒斑を有する
319	土師器 甗	第Ⅵ層	口径(復) 器高(残) 17.8 12.7	外) におい黄 内) 灰黄 断) 灰黄	良好	密	外面ナデ・タタキ、内面板ナデ・指圧痕あり、口縁部ヨコナデ、内外面に粘土紐痕あり	
320	土師器 甗	第Ⅵ層	口径(復) 器高(残) 15.4 5.8	外) におい橙 内) 灰黄褐 断) 断)	やや不良	密	外面タタキ目、内面ナデ・粘土紐痕、口縁部ヨコナデ	
321	土師器 甗	第Ⅵ層	口径(復) 器高(残) 14.0 10.8	外) 灰黄 内) 灰黄 断) 灰黄	良好	密	外面口縁部ヨコナデとナデ・体部タタキ目(下方は磨耗)、内面口縁部ヨコナデ・頸部指押さえ・体部ナデ	外面に少量の煤付着
322	土師器 甗	第Ⅵ層	口径(復) 器高(残) 15.8 5.2	外) 暗灰黄 内) 暗灰黄 断) 暗灰黄	良好	密	口縁部ヨコナデ、外面タタキ、内面ナデ・ヘラケズリ	
323	土師器 甗	第Ⅵ層	口径(復) 器高(残) 17.8 6.3	外) におい黄褐 内) におい黄褐 断) 灰	やや不良	密	外面体部タタキ、内面体部ヘラケズリ、口縁部ヨコナデ・ナデ	
324	土師器 壺	第Ⅵ層	口径(復) 器高(残) 14.5 13.2	外) 明赤褐 内) におい赤褐 断) 黒	不良	やや粗	外面ヨコナデ・ナデ、内面ヨコナデ・板ナデ、内面口縁部ヨコナデとヘラナデ・頸部指押さえ・体部ヘラケズリ	粗雑なつくり
325	土師器 甗	第Ⅵ層	口径(復) 器高(残) 16.9 2.6	外) 灰 内) 明褐灰 断) 灰黄褐	良好	やや粗	内外面ヨコナデ、内面体部ケズリ、粘土継ぎ目あり	
326	土師器 壺	第Ⅵ層	口径(復) 器高(残) 17.8 3.5	外) 褐灰 内) 灰 断) 灰	良好	密	外面ヨコナデ・ハケ目(少しだけ見える)、内面ヨコナデ・ケズリ	
327	土師器 壺	第Ⅵ層	口径(復) 器高(残) 14.4 4.0	外) 黄灰 内) 黄灰 断) 黄灰	良好	密	外面ヨコナデ・頸部ハケ目(ヨコナデで消えかけている)、内面ヨコナデ・ケズリ	
328	土師器 甗	第Ⅵ層	口径(復) 器高(残) 16.4 4.4	外) 灰白 内) 灰白 断) 灰白	良好	やや粗	口縁部内外面ヨコナデ(ナデ上げ)、外面体部ハケ目、内面口縁部ハケ目・体部ケズリ、内面ハケ目は口縁部全体に施されていると思われるがナデにより消されている	

挿図 番号	器種	出土地点	法量 (cm)	色 調	焼成	胎 土	技法の特徴	備 考
329	土師器 壺	第Ⅵ層	口径(復) 器高(残) 14.0 3.3	外) 灰黄褐 内) 灰黄橙 断) 灰黄褐	良好	密	外面ヨコナデ・頸部にハケ目(ほんの少し見える)、内面ヨコナデ・ケズリ、粘土の接合痕が所々にみられる	
330	土師器 壺	第Ⅵ層	口径(復) 器高(残) 15.4 3.8	外) 褐灰 内) 褐灰 断) 褐灰	良好	密	外面ヨコナデ・ハケ目、内面ヨコナデ・ケズリ	
331	土師器 甕	第Ⅵ層	口径(復) 器高(残) 17.8 6.0	外) におい黄橙 内) におい黄橙 断) 灰白	良好	やや粗	口縁部と頸部ヨコナデ、外面体部ハケ目、内面体部ケズリ	
332	土師器 壺	第Ⅵ層	口径(復) 器高(残) 14.1 7.3	外) 浅黄 内) におい黄褐 断) -	良好	密	外面ナデ・8条/cmのハケ目、内面ナデ・ヘラケズリ、口縁部ヨコナデ	
333	土師器 甕	第Ⅵ層	口径(復) 器高(残) 16.0 29.1	外) におい黄 内) 黒 断) 暗灰	良好	密	外面ハケ目、内面ヘラケズリ・指押さえ、口縁部ヨコナデ	
334	土師器 壺	第Ⅵ層	口径(復) 器高(残) 14.0 13.0	外) におい黄 内) 灰黄 断) 黄灰	良好	密	外面体部10条/cmのハケ目・体部上部に指圧痕、内面体部ナデとヘラケズリ・口縁部粘土紐痕、口縁部ヨコナデ	
335	土師器 甕	第Ⅵ層	口径(復) 器高(残) 15.4 7.3	外) 暗灰黄 内) 暗灰黄 断) 灰	やや不良	密	内外面ヨコナデ・ナデ・粘土紐痕	
336	土師器 甕	第Ⅵ層	口径(復) 器高(残) 17.9 10.8	外) 橙 内) 明赤褐 断) 灰黄褐	良好	密	内外面ヨコナデ・ナデ、内面頸部に指圧痕・粘土紐痕	
337	土師器 甕	第Ⅵ層	口径(復) 器高(残) 12.7 10.1	外) 暗灰黄 内) 暗灰黄 断) 黄灰	良好	密	外面ヨコナデ・ナデ・体部に文ありカ、内面ヨコナデ・板ナデ、内外面に粘土紐痕	
338	土師器 甕	第Ⅵ層	口径(復) 器高(残) 14.9 4.3	外) におい褐 内) におい褐 断) 灰	やや不良	密	口縁部ヨコナデ、外面ナデとタテ方向ハケ目	外面煤付着
339	土師器 甕	第Ⅵ層	口径(復) 頸部径(復) 器高(残) 17.15 13.0 6.2	外) 浅黄橙 内) におい橙 断) におい黄橙	良好	密	内外面ヨコナデ、内面断続的な沈線状の痕跡残る・体部右下がりのケズリを行う、焼成時の黒斑あり、口縁部は折り返しによる内面肥厚と思われるが断面での観察はできなかった	山陰系複合口縁部片である
340	土師器 壺	第Ⅵ層	口径(復) 器高(残) 19.8 5.0	外) におい黄橙 内) におい黄橙 断) におい黄褐	良好	密	内外面ヨコナデ	
341	土師器 壺	第Ⅵ層	口径(復) 器高(残) 14.4 5.2	外) 灰白 内) 灰白 断) 灰白	良好	密	内外面ヨコナデ、内面頸下部ケズリ	
342	土師器 甕	第Ⅵ層	口径(復) 器高(残) 7.3 3.0	外) 褐 内) 褐 断) 褐	良好	やや粗	内外面ヨコナデ、内面体部磨滅のため不明	
343	土師器 甕	第Ⅵ層	器高(残) 4.2	外) 灰白 内) 灰白 断) 灰白	良好	やや粗	外面ヨコナデ・ハケ目、内面ヨコナデ・ナデ、粘土継ぎ目痕あり	東海系
344	土師器 壺	第Ⅵ層	口径(復) 器高(残) 20.4 5.6	外) 灰白 内) 灰白 断) 灰	良好	密	内外面ヨコナデ、外面体部ハケ目(上部はヨコナデによりハケ目消されている)、内面体部指押さえの痕跡残る	
345	土師器 壺	第Ⅵ層	口径(復) 器高(残) 14.5 3.9	外) におい橙 内) 黄灰 断) 黒	軟質	やや粗	口縁部と外面体部上部ヨコナデ、外面体部ハケ目、内面体部調整不明、全体に磨滅しており調整不明瞭、粘土継ぎ目痕あり	
346	土師器 小型壺	第Ⅵ層	口径(復) 器高(残) 9.7 7.5	外) 灰黄 内) 灰黄 断) 灰	良好	密	外面ナデ、内面ナデ、ヘラケズリ、口縁部ヨコナデ	
347	土師器 小型丸底壺	第Ⅵ層	口径(復) 器高(残) 8.9 8.6	外) におい黄 内) 灰黄褐 断) 褐灰	良好	密	内外面板ナデ、口縁部ヨコナデ	外面体部に黒斑あり、体部に打ち欠きあり
348	土師器 鉢	第Ⅵ層	底径(復) 器高(残) 4.0 3.3	外) 灰 内) 灰 断) 灰	良好	やや粗	外面調整不明・底部指押さえとナデ、内面ハケ目	
349	土師器 鉢	第Ⅵ層	底径(復) 器高(残) 4.1 2.7	外) におい黄橙 内) におい黄橙 断) におい黄橙	良好	密	外面ナデ・指押さえ、内面ミガキ	
350	土師器 有孔鉢	第Ⅵ層	底径(復) 器高(残) 4.5 3.1	外) におい橙 内) におい橙 断) 暗灰	良好	やや粗	外面タタキ、内面板ナデとナデ	穿孔あり

挿図番号	器種	出土地点	法量 (cm)	色 調	焼成	胎 土	技法の特徴	備 考	
351	土師器 有孔鉢	第Ⅵ層	底径(残) 器高(残)	4.1 2.4	外) におい橙 内) におい橙 断) におい橙	良好	やや粗	外面タタキ(消えかけている)。底部ナデ、内面ナデと指押さえ	穿孔あり
352	土師器 台付鉢	第Ⅵ層	底径(復) 器高(残)	3.8 4.2	外) 褐灰 内) におい赤褐 断) 黄灰	堅緻	密	外面タタキ・台部指押さえ、内面工具によるナデ・台部指ナデ	
353	土師器 鉢	第Ⅵ層	底径(残) 器高(残)	4.7 2.0	外) 灰黄 内) 灰黄 断) 黒褐	良好	密	外面ナデ、内面に棒状工具による強いナデ、底部穿孔は上下方向からおこなっている、内面底部穿孔後ナデ	
354	土師器 有孔鉢	第Ⅵ層	底径(残) 器高(残)	3.8 6.5	外) におい黄橙 内) におい黄橙 断) におい黄橙	良好	やや粗	外面タタキ・底部ナデ、内面ナデ・下部板ナデ	穿孔あり
355	土師器 台付鉢	第Ⅵ層	底径(残) 器高(残)	4.6 7.5	外) におい黄橙 内) におい黄橙 断) におい黄橙	良好	やや粗	外面タタキ(一部ナデ消されている)。底部未調整、内面ナデ、穿孔あり	
356	土師器 有孔鉢	第Ⅵ層	底径(残) 器高(残)	3.5 4.9	外) におい黄橙 内) 明褐灰 断) 灰	良好	やや粗	外面タタキ・底部未調整、内面ナデ	穿孔あり
357	土師器 有孔鉢	第Ⅵ層	底径(残) 器高(残)	2.0 4.3	外) におい黄橙 内) におい橙 断) 灰	良好	やや粗	外面タタキ、内面板ナデ	穿孔あり
358	土師器 皿	第Ⅵ層	口径 器高	17.8 4.9	外) におい黄橙 内) におい黄橙 断) におい黄橙	良好	密	口縁部ヨコナデ、外面ナデ、内面7条/cmのハケ目、内外面に指圧痕あり	
359	弥生土器 高杯	第Ⅵ層	口径(復) 器高(残)	20.9 4.6	外) 灰黄 内) 灰黄 断) 灰黄	良好	密	外面口縁部ヨコナデで列点文を施す・杯部上半ナデ・杯部下半8条と5条の波状文施す、内面口縁部ヨコナデと8条の波状文施す・杯部ヘラミガキ痕わずかに残る	
360	土師器 高杯	第Ⅵ層	口径(復) 器高(残)	26.2 5.7	外) におい橙 内) 灰黄褐 断) オリーブ黒	やや不良	密	外面に波状文(27条)と竹管文施す・粘土紐痕あり、内面上半タテ方向ヘラミガキ・下半ヨコ方向ヘラミガキ、応援部ヨコナデ	内面煤付着
361	土師器 高杯	第Ⅵ層	口径(残) 器高(残)	21.4 7.1	外) におい黄 内) 黄褐 断) 黄灰	良好	密	内外面粗いヘラミガキ、外面口縁部ヨコナデ・刻み目文あり、内面口縁部に5条の波状文、外面杯部に8条の波状文を施す	
362	土師器 高杯	第Ⅵ層	口径(復) 器高	12.8 9.5	外) におい赤褐 内) におい赤褐 断) 褐灰	良好	密	外面口縁部ヨコナデ、杯部ナデとヘラミガキとヘラケズリ、脚部ヘラミガキと粘土紐痕、内面ミガキ	脚部3方に孔を穿っている
363	土師器 高杯	第Ⅵ層	口径(復) 器高(残)	15.8 11.2	外) におい黄橙 内) におい黄橙 断) におい黄橙	良好	密	杯部内外面ヨコナデ・ナデ、外面脚部ヘラミガキ・粘土紐痕、内面脚部しまり目	
364	土師器 高杯	第Ⅵ層	口径(復) 器高(残)	21.4 4.9	外) におい黄 内) におい黄 断) 黄灰	やや不良	やや粗	内外面ヘラミガキ、外面刻み目文・波状文施す、口縁内側に波状文施す	
365	土師器 高杯	第Ⅵ層	口径(復) 器高(残)	19.8 5.0	外) におい橙 内) におい橙 断) 灰	不良	密	内外面ヨコナデ・5条/cmのハケ目、外面杯部下半粘土紐痕	
366	土師器 高杯	第Ⅵ層	口径 器高	15.6 5.6	外) におい黄橙 内) におい黄褐 断) におい黄褐	良好	密	内外面ヨコナデ・ナデ	
367	土師器 高杯	第Ⅵ層	口径(復) 器高(残)	15.4 6.1	外) におい黄橙 内) におい黄橙 断) におい黄橙	良好	密	内外面ナデ、口縁部ヨコナデ	
368	土師器 高杯	第Ⅵ層	口径(復) 器高(残)	17.8 4.7	外) 明赤褐 内) 橙 断) 灰	良好	密	内外面ヨコナデ・ナデ	
369	土師器 高杯	第Ⅵ層	口径(復) 器高(残)	21.7 6.4	外) におい黄褐 内) におい黄褐 断) におい黄褐	良好	密	外面ナデ・ヘラミガキ、内面ヘラミガキ、口縁部ヨコナデ、内外面に粘土紐痕あり	
370	土師器 高杯	第Ⅵ層	口径(復) 器高(残)	20.6 6.1	外) におい黄 内) 黄褐 断) 黄褐	良好	密	内外面ハケ目、口縁部ヨコナデ	
371	土師器 高杯	第Ⅵ層	口径(復) 器高(残)	19.0 5.5	外) 浅黄橙 内) 浅黄橙 断) におい黄橙	やや不良	密	外面11条/cmのハケ目、内面上半ナデと11条/cmのハケ目・下半ヘラミガキ所々あり、口縁部ヨコナデ	
372	土師器 高杯	第Ⅵ層	口径 器高	19.1 14.0	外) におい黄橙 内) におい橙 断) におい橙	やや不良	密	外面ナデ、内面ナデ・板ナデ、口縁部ヨコナデ	杯の外面から脚にかけて煤付着

挿図 番号	器種	出土地点	法量 (cm)	色 調	焼成	胎 土	技法の特徴	備 考	
373	土師器 高杯	第Ⅵ層	口径 器高	11.4 11.0	外) 橙 内) 橙 断) におい褐	良好	密	内外面ナデ、口縁部ヨコナデ	
374	土師器 高杯	第Ⅵ層	口径(復) 器高(残)	7.4 4.5	外) におい黄褐 内) におい黄褐 断) 黄灰	良好	密	外面ヨコナデ・ナデ・杯底部ヘラミガキ、 内面板ナデ・杯上部に指押さえ・杯部下 半ヘラミガキ・粘土紐痕あり	外面に煤付着
375	土師器 高杯	第Ⅵ層	器高(残)	11.3	外) におい黄橙 内) におい黄橙 断) 灰黄	良好	やや粗	杯部と脚部は充填方法により接合され る、外面脚部上半に凹線文と瓜形文施す・ 下半ミガキ、内面杯部ナデ・脚部上半し ほり痕・下半ナデとハケ後ナデ	穿孔4カ所あけられている と思われる
376	土師器 高杯	第Ⅵ層	器高(残)	3.4	外) におい褐 内) におい黄橙 断) 黒	良好	やや粗	外面杯部ミガキ・脚部に凹線と瓜形文施 す、内面板ナデ	
378	土師器 高杯	第Ⅵ層	底径(復) 器高(残)	11.2 7.9	外) 灰黄 内) におい黄 断) 灰黄褐	良好	やや粗	外面タテ方向ヘラミガキ・ヨコナデ、内 面ナデ・脚部上半粘土紐痕としほり目	4方に円形の透しを穿つ (外→内へ)
379	土師器 高杯	第Ⅵ層	底径(復) 器高(残)	14.6 8.7	外) 橙 内) 橙 断) におい橙	良好	密	外面脚部上半ヘラでナデたようなもの・ 下半ヘラでミガキとハケ目、内面脚部上 半ナデ・下半8条/cmのハケ目、脚底部 ヨコナデ	円孔3方に有り(外→内 へ)
380	土師器 高杯	第Ⅵ層	口径(復) 器高(残)	17.2 2.6	外) におい橙 内) におい橙 断) におい橙	やや 不良	密	外面細かいハケ目・ヨコと斜め方向細か いヘラミガキ、内面ナデ	透かし、1つのみ残る
381	土師器 器台	第Ⅵ層	底径(復) 器高(残)	12.8 8.0	外) におい橙 内) におい橙 断) 灰白	良好	やや粗	外面ハケ目とミガキ・端部ナデ、内面脚 部上半ナデ・下半ミガキとハケ目、内面 のハケ目は全体に施されていたと思われ るが消されている	
382	土師器 高杯	第Ⅵ層	底径 器高(残)	8.1 3.7	外) におい黄 内) におい黄 断) 黄灰	良好	やや粗	外面タテ方向細かいヘラミガキ・ナデ、 内面ナデ	円形の透かし15カ所穿 つ
383	土師器 高杯	第Ⅵ層	底径(復) 器高(残)	9.4 10.3	外) 明赤灰 内) 灰白 断) におい橙	良好	密	内外面ナデ	
384	土師器 高杯	第Ⅵ層	口径(復) 器高(残)	10.6 8.9	外) におい橙 内) におい黄橙 断) におい橙	良好	密	外面ナデ・ヘラナデ、内面ヘラケズリ・ ナデ・粘土紐痕・下部に指押さえ	
385	土師器 高杯	第Ⅵ層	底径(復) 器高(残)	10.0 7.0	外) におい黄橙 内) 灰黄褐 断) 灰黄	良好	密	外面ヘラミガキ・ナデ・ヨコナデ・脚端 部刻み目施す、内面しほり目・ヘラケズ リ・ナデ・ヨコナデ・粘土紐痕あり	
386	土師器 高杯	第Ⅵ層	底径(復) 器高(残)	9.75 5.9	外) 橙 内) におい黄橙 断) 灰	やや 不良	密	外面タテ方向板ナデ(ハケ)・ナデ、内 面しほり目・ヨコ方向ヘラケズリ、脚底 部ナデ	
387	土師器 甕	第Ⅵ層	口径(復) 器高(残)	27.6 3.0	外) におい橙 内) におい橙 断) 黄灰	やや良	密	拡張口縁の広口壺で、口縁部外面に3条の沈 線を施す、口縁部ヨコナデ、口縁部に刻目 有、口縁部内面に粘土接合痕、工具を押し ひいたような痕跡(粘土接合時の)みられる	
388	土師器 器台	第Ⅵ層	口径(復) 脚部径 器高(残)	11.0 3.4 8.0	外) におい橙 受部) におい褐 脚部) 灰白 断) 灰黄褐	良好	密	外面口縁部ヨコナデ・上半時計まわり方 向でのミガキ・下半タテミガキ・クシ状 工具痕一部残る、内面風化が著しく不明	脚部屈曲部付近に3孔を 穿つ、脚部は中実で受部 は浅い
389	土師器 器台	第Ⅵ層	底径(復) 器高(残)	9.0 5.8	外) におい黄橙 内) におい黄橙 断) オリーブ黒	良好	密	内外面ナデ、外面上部に強い指ナデ、内 面受け部板ナデ(剥離のため観察困難)	
390	土師器 器台	第Ⅵ層	底径(復) 器高(残)	10.8 6.0	外) におい黄橙 内) におい橙 断) 灰	良好	密	外面上部ナデ(棒状工具痕あり)・ミガキ (端部磨滅)、内面受け部棒状工具痕(穿孔 の後に施されている)・下部指押さえとナ デ(あまり丁寧ではない)、接合痕あり	
391	土師器 器台	第Ⅵ層	口径(復) 器高(残)	9.4 5.8	外) 灰黄 内) 灰黄 断) 灰黄	良好	やや粗	外面口縁部ヨコナデ・ミガキ、内面受け 部ミガキ・脚部未調整(絞り痕あり)、 内外面ミガキは消えている所あり	穿孔3ヶ所あり
392	手焙式土器	第Ⅵ層	口径(復) 器高(残)	16.2 6.2	外) 灰黄 内) 黄褐 断) 黄褐	良好	やや粗	内外面ヨコナデ・ナデ・貼り付け突帯・ 突帯部にO字(?)刻み目あり	
393	須恵器 壺	第Ⅵ層	底径(復) 器高(残)	3.4 3.0	外) 灰 内) 灰 断) 暗赤褐	堅緻	密	外面回転ナデ・ナデ・底部未調整 内面回転ナデ・降灰のため調整不明部分 あり	内面に降灰
394	須恵器 杯蓋	第Ⅵ層	口径(復) 器高(残)	13.7 4.5	外) 灰 内) 灰 断) オリーブ灰	堅緻	密	内外面ナデ・ヨコナデ	外面に灰付着
395	須恵器 蓋	第Ⅵ層	口径(復) 最大径(復) 器高(残)	13.2 14.6 3.25	外) 灰 内) 灰 断) 灰赤	堅緻	密	内外面回転ナデ、外面上半ナデ・つま み貼り付け部分ヨコナデ(若干)、内面上 半指押さえ後ナデ	

挿図 番号	器種	出土地点	法量 (cm)	色 調	焼成	胎 土	技法の特徴	備 考
396	須恵器 壺	第VI層	口径(復) 器高(残) 14.6 6.0	外) 灰 内) 灰 断) 灰	堅緻	密	外面回転ナデ、内面回転ナデ・ナデ	
397	須恵器	第VI層	器高(残) 7.8	外) 暗灰 内) 灰 断) 灰	堅緻	密	内外面に指押えとナデ、頸部ヨコナデ	
398	須恵器 甕	第VI層	口径(復) 器高(残) 16.0 6.8	外) オリーブ灰 内) オリーブ灰 断) オリーブ灰	堅緻	密	内外面ヨコナデ・ナデ、内面頸下部に指押さえ	
399	須恵器 壺	第VI層	口径(復) 器高(残) 16.2 8.1	外) 暗灰 内) 暗灰 断) 暗赤灰	堅緻	密	内面はナデにより調整を擦り消している、内外面ヨコナデ・ナデ	
400	須恵器 器台	第VI層	口径(復) 器高(残) 25.5 1.5	外) におい黄橙 内) におい黄橙 断) におい褐	堅緻	密	内外面回転ナデ	内面と外面の一部に降灰
401	須恵器 器台	第VI層	底径(復) 器高(残) 26.8 1.6	外) 灰 内) 灰 断) 赤灰	堅緻	密	内外面回転ナデ	外面に降灰
402	須恵器 高杯	第VI層	口径(復) 器高(残) 15.0 5.5	外) 灰 内) 灰 断) 灰	堅緻	密	内外面回転ナデ	内面に降灰
403	須恵器 高杯	第VI層	口径(復) 器高(残) 16.0 5.3	外) 暗灰 内) 灰 断) 灰	堅緻	密	外面回転ナデ・回転ケズリ、内面回転ナデ	外面と内面下半に降灰、自然袖
404	須恵器 高杯	第VI層	口径(復) 器高(残) 10.2 5.8	外) 灰 内) 灰 断) 灰褐	堅緻	密	杯部内外面回転ナデ	内面に灰付着、脚部4本透しあり
405	須恵器 高杯	第VI層	底径(復) 器高(残) 12.6 9.4	外) 灰白 内) 灰白 断) 灰	堅緻	密	内外面ナデ、外面に透し状のものあり	3方に透しを穿つ(但し、孔は開いていない)
406	須恵器 高杯	第VI層	口径(復) 器高(残) 10.2 9.0	外) 灰 内) 暗オリーブ 断) 灰	堅緻	密	内外面ナデ・ヨコナデ	3方に透かしを穿つ
407	須恵器	第VI層	器高(残) 8.2	外) 灰 内) 灰 断) におい赤褐	堅緻	密	内外面ナデ、頸部ヨコナデ、内面底部に指押え	外面底部付近に鉄のようなもの付着、体部に穿孔あり
408	土師器 器台	第VI層	器高(残) 6.2	外) におい黄橙 内) におい黄橙 断) 灰	良好	やや粗	外面ナデ、内面板状工具によるナデ	透孔の数は不明、形状は台形を呈すると思われる
409	須恵器 器台	第VI層	底径(復) 器高(残) 40.4 4.4	外) 灰 内) 降灰のため 不明 断) 灰・灰褐	堅緻	密	内外面回転ナデ	内面と外面の一部に降灰
410	韓式系土器 小片	第VI層	最長 最大厚 4.5 0.5	外) 浅黄 内) 浅黄 断) 浅黄	やや不良	密	外面格子目タタキ、内面ナデ	
411	韓式系土器 小片	第VI層	最長 最大厚 2.5 0.45	外) におい褐 内) におい赤褐 断) 灰オリーブ	良好	密	外面格子目タタキ、内面ナデ	
412	韓式系土器 小片	第VI層	最長 最大厚 5.0 0.65	外) におい黄橙 内) におい黄橙 断) 灰黄	良好	密	外面格子目タタキ、内面ナデ	
413	須恵器 甕	第VI層	器高(残) 6.6	外) 灰 内) 灰 断) 灰	堅緻	密	外面方形タタキ、内面ナデ、	外面降灰
414	砥石	第VI層	残長 幅 厚 重 10.95 3.8 2.8 118.1g			粘板岩	研磨されてかなりツルツルしている	
415	削器	第VI層	長 幅 厚 重 6.8 4.1 1.45 35.2g			サヌカイト		二上山産
416	剥片	第VI層	長 幅 厚 重 5.8 2.95 0.8 9.6g			サヌカイト		二上山(?)産
417	砥石	第VI層	残長 残幅 残厚 重 10.5 5.2 1.6 113.0g			砂岩		玉造用? 穿孔途中かと思われる痕あり

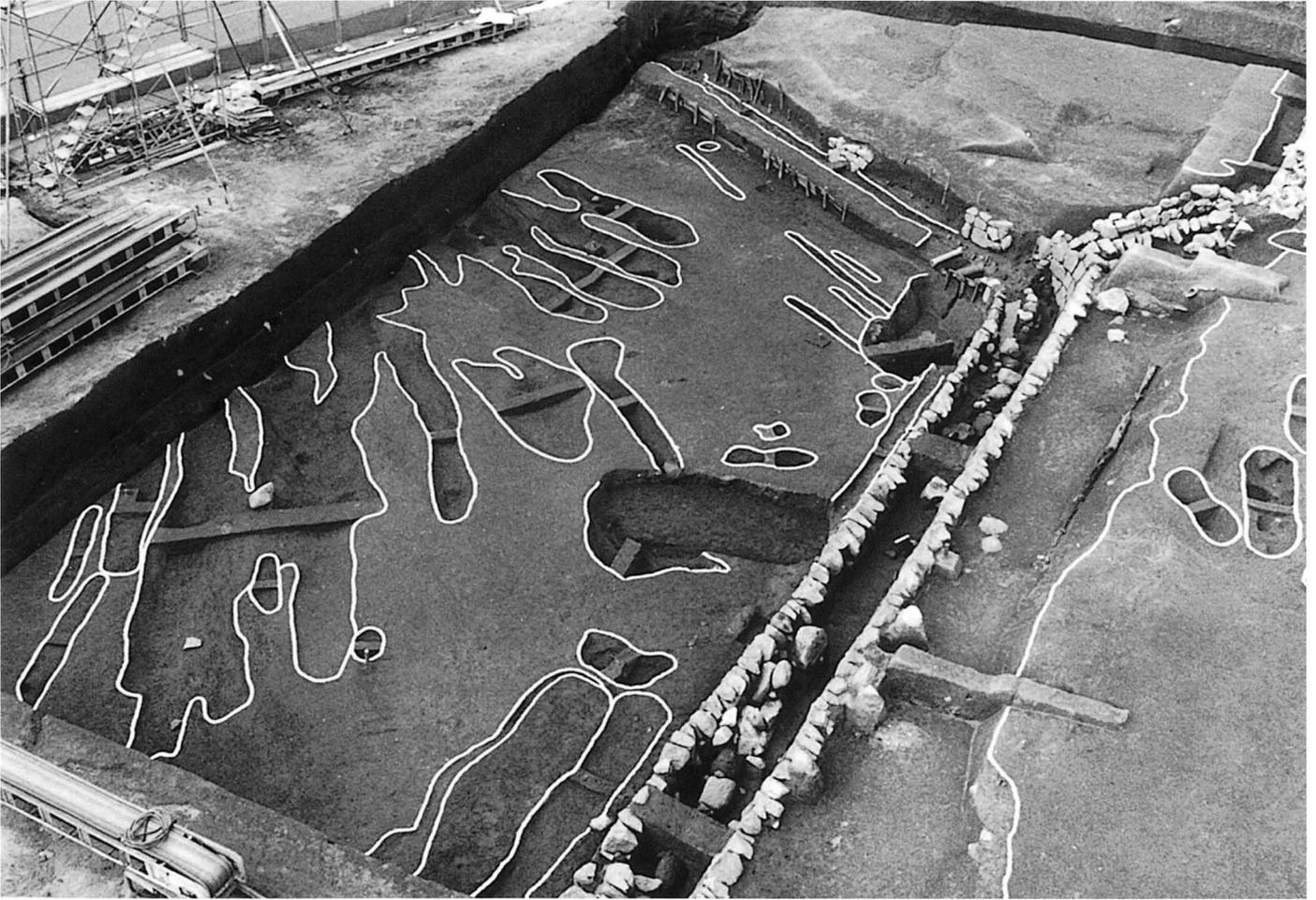
挿図 番号	器種	出土地点	法量 (cm)	色 調	焼成	胎 土	技法の特徴	備 考
418	石核?	第Ⅵ層	長幅 7.0 7.4 3.6 厚重 187.9g			砂岩		
419	削器	第Ⅵ層	長幅 3.1 5.2 厚重 15.2g			サヌカイト		二上山産
420	砥石	第Ⅵ層	残長 6.0 残幅 2.9 残厚 1.55 重 41.5g			砂岩		玉造用
421	石鏃未製品	第Ⅵ層	残長 3.5 幅 2.4 厚重 0.85 6.7g			サヌカイト		二上山
422	楔形石器	第Ⅵ層	残長 3.7 幅 2.7 厚重 0.95 9.2g			サヌカイト		二上山
423	砥石	第Ⅵ層	残長 7.4 幅 4.6 厚重 1.4 49.3g			粘板岩	擦痕あり	
424	砥石	第Ⅵ層	残長 8.9 残幅 7.9 厚重 0.7 71.1g			結晶片岩	砥面には不明瞭ながら2～3単位が見てとれる	玉造りの際の玉砥石カ
425	弥生土器 長頸壺	第Ⅶ層 (土器群R)	口径(復) 器高 10.0 21.9	外) にぶい橙 内) にぶい黄橙 断)	良好	密	口縁部と底部ヨコナデ、外面板ナデ、内面ナデ・ヘラで押さえた痕(しぼり込み)あり、内外面に粘土紐痕多数あり	
426	土師器 甕	第Ⅶ層 (土器群R)	口径(復) 器高(残) 15.7 10.0	外) にぶい黄褐 内) にぶい黄褐 断) 灰黄	良好	密	外面ナデ・ヘラで押さえた痕(しぼり込み)あり、内外面に粘土紐痕	外面に煤付着
427	土師器 広口壺 (口縁部)	第Ⅶ層 (土器群R)	口径(復) 器高(残) 30.8 6.0	外) にぶい黄褐 内) 灰黄褐 断) 灰白	良好	密	外面タテ方向ヘラミガキ・口縁部に波状文(7条?)と円形浮文施す。内面タテ方向ヘラミガキ・ヨコ方向ヘラミガキ、口縁部ヨコナデ	内面口縁部にベンガラ付着?
428	土師器 大型甕	第Ⅶ層 (土器群S)	口径(復) 器高(残) 50.0 12.6	外) にぶい黄橙 内) にぶい黄橙 断) 暗灰	やや不良	密	外面板ナデ・指押さえ・粘土紐痕あり、内面ナデ・指押さえ・粘土紐痕あり、口縁部ヨコナデ	
429	土師器 壺	第Ⅶ層 (土器群S)	口径(復) 器高(残) 20.6 10.3	外) にぶい黄褐 内) 灰黄褐 断) にぶい黄褐	良好	やや粗	外面棒状工具によるミガキ様の施文・突部ヨコナデ、内面ナデ・ハケ	四国東部に特有の複合口縁を呈する壺の口縁部破片である、内面に煤付着
430	弥生土器 壺	第Ⅶ層 (土器群T)	口径(復) 器高(残) 27.2 5.9	外) 灰黄 内) にぶい黄 断) 灰	良好	密	外面口縁部から頸部にかけてヨコナデ・頸部タテ方向ヘラミガキ(ほとんど磨耗)・口縁部に波状文・沈線・刻み目文(D字型)、内面ナデ・ヨコ方向ヘラミガキ(ほとんど磨耗)	
431	土師器 壺	第Ⅶ層 (土器群T)	口径(復) 器高(残) 15.0 7.8	外) 橙 内) オリーブ黒 断) オリーブ黒	不良	密	内外面ヨコナデ・ナデ、外面頸部9条/cmのハケ目、内面に粘土紐痕	
432	土師器 甕	第Ⅶ層 (土器群T)	口径(復) 器高(残) 20.0 5.5	外) にぶい橙 内) にぶい黄橙 断) 明褐灰	良好	密	口縁部はつまみあげておさめている、内外面ヨコナデ	複合口縁を呈する甕の口縁部破片である、外面口縁部一部赤変
433	弥生土器 壺	第Ⅶ層 (土器群T)	口径(復) 器高(残) 19.4 7.2	外) 灰白 内) 灰 断) 灰	良好	密	内外面ヨコナデ・ナデ	二重口縁
434	土師器 小型壺	第Ⅶ層 (土器群T)	底径(復) 器高(残) 4.9 9.9	外) 灰黄褐 内) にぶい黄橙 断) 灰	良好	密	頸部内外面ヨコナデ、体部内外面ヘラミガキ、外面頸部から体部上半にヘラ描き沈線文と波状文	体部上半から中半にかけて黒斑あり
435	土師器 ミニチュア壺	第Ⅶ層 (土器群T)	口径(復) 器高 7.6 10.1	外) にぶい黄橙 内) にぶい黄橙 断) にぶい黄橙	良好	密	外面ナデ、内面板ナデ、口縁部ヨコナデ	外面胴部に黒斑あり、体部側面に穿孔引き打ち欠きあり
436	土師器 壺	第Ⅶ層 (土器群T)	底径(復) 器高(残) 14.6 8.7	外) 黄橙 内) 黄橙 断) 灰	良好	密	内外面ミガキとハケ目、口縁部ヨコナデ、外面に粘土紐痕、内面頸下部指押さえ	
437	弥生土器 甕	第Ⅶ層 (土器群T)	口径(復) 器高 17.2 29.7	外) にぶい黄褐 内) 灰黄褐 断) 灰黄褐	良好	密	口縁部ヨコナデ、外面粗いハケ目・底部ナデ、内面板ナデ	胴部上半から中半部にかけて煤付着
438	土師器 甕	第Ⅶ層 (土器群T)	口径(復) 器高 12.6 15.5	外) にぶい黄褐 内) にぶい黄褐 断) にぶい黄褐	良好	密	内外面ハケ目、口縁部ヨコナデ	体部外面に煤付着
439	土師器 甕	第Ⅶ層 (土器群T)	口径(復) 器高(残) 13.6 8.7	外) にぶい黄橙 内) にぶい黄橙 断) にぶい黄橙	良好	密	外面ナデ・タタキ・粘土紐痕あり、内面ナデ・板ナデ、口縁部ヨコナデ	外面胴部に煤付着 ベンガラ?

挿図番号	器種	出土地点	法量 (cm)	色 調	焼成	胎 土	技法の特徴	備 考	
440	土師器 小型壺	第Ⅶ層 (土器群T)	底径(残) 器高(残)	3.6 11.0	外) におい黄橙 内) におい黄橙 断) におい黄橙	良好	密	外面タタキ、内面板ナデ、粘土ひも痕	
441	土師器 鉢	第Ⅶ層 (土器群T)	口径(復) 器高(残)	13.6 8.4 7.7	外) 灰黄褐 内) におい黄 断) 黄灰	良好	粗	外面粗いハケ目、内面板ナデ、口縁部ヨコナデ	口縁部から胴部上半部にかけて煤付着
442	土師器 椀	第Ⅶ層 (土器群T)	口径(復) 器高(残)	10.3 4.9	外) 橙 内) 橙 断) 橙	良好	密	内外面ナデ、口縁部ヨコナデ、底部ヘラケズリ	底部に穿孔あり
443	土師器 器台	第Ⅶ層 (土器群T)	器高(残)	13.0	外) 赤・橙 内) 橙 断) 灰	良好	やや粗	外面剥離しており調整不明・タガがはずれた跡・透し孔・透し孔のない所にヘラ描きによる5条の方形刻線・斜め方向のハケ(1次調整)、内面ナデ・ハケ目・指押さえ痕残る、粘土継ぎ目痕あり	
444	弥生土器 壺	第Ⅶ層 (土器群V)	口径(復) 器高(残)	14.6 4.7	外) におい黄橙 内) 灰黄褐 断) 灰黄褐	良好	密	外面口縁部にヘラ描き沈線と凹型浮文施す、内外面ミガキ、口縁部ヨコナデ	
445	土師器 甕	第Ⅶ層 (土器群U)	底径(復) 器高(残)	4.8 3.1	外) 暗灰黄 内) 灰 断) 灰	良好	密	外面タタキ目、内面ナデ、底部ヨコナデ、内面しぼり痕あり	内面全体に煤付着
446	土師器 甕	第Ⅶ層 (土器群U)	口径(復) 器高(残)	17.4 27.7	外) 暗灰黄 内) 黄褐 断) におい黄	良好	密	外面ナデ・タタキ、内面ナデ・丁寧な板ナデ、口縁部ヨコナデ	
447	弥生土器 壺	第Ⅶ層	器高(残)	5.2	外) におい黄橙 内) におい黄橙 断) 灰白	良好	やや粗	外面半竹管文とクシ描きによる波状文とクシ描きによる直線文を施す、内面ナデ・上部に指押さえ痕残す	
448	弥生土器 壺	第Ⅶ層	口径(復) 器高(残)	26.0 5.3	外) におい赤褐 内) 暗灰 断) 灰	やや軟質	やや粗	口縁部外面と内面ヨコナデ(内面は磨減している)、外面口縁部に波状文施す(8条/単位)、外面頸部ミガキ(消えかけている)	
449	弥生土器 壺	第Ⅶ層	口径(復) 器高(残)	7.6 11.3	外) 暗灰黄 内) 暗灰黄 断) 黄灰	良好	密	外面ナデ・板ナデ・ヘラミガキ、内面ナデ・粘土紐痕あり、口縁部ヨコナデ	
450	土師器 ミチアケ壺	第Ⅶ層	器高(残)	13.5	外) におい黄橙 内) 黒 断) 暗灰	良好	密	外面粗いハケミガキ、内面ヨコナデ・板ナデ	内面全体に煤付着
451	土師器 壺	第Ⅶ層	口径(復) 器高(残)	16.6 5.7	外) 灰黄 内) 灰黄 断) 黄灰	良好	密	内外面ヨコナデ・ナデ、外面頸部ハケ目	
452	土師器 壺	第Ⅶ層	口径(復) 器高(残)	20.0 9.1	外) におい黄橙 内) におい黄橙 断) 灰黄	良好	やや粗	内外面ヨコナデ・ナデ	
453	土師器 壺	第Ⅶ層	口径(復) 器高(残)	18.0 8.6	外) におい黄橙 内) におい黄橙 断) 灰	良好	密	外面ナデ・内面ナデハケ、口縁部ヨコナデ	
454	弥生土器 壺	第Ⅶ層	口径(復) 器高(残)	24.2 2.8	外) におい黄橙 内) 黄褐 断) オリーブ黒	良好	密	内外面ヨコナデ・ナデ、外面に後線・粘土紐痕あり外面口縁部にヘラ描き沈線(4条)と凹形浮文を施す	
455	土師器 壺	第Ⅶ層	口径(復) 器高(残)	25.0 3.4	外) におい黄褐 内) 黄褐 断) 黄灰	やや不良	密	内外面ヨコナデ・ヘラミガキ、外面口縁部波状文と凹形浮文施す、内面粘土紐痕	
456	土師器 甕	第Ⅶ層	口径(復) 器高(残)	13.5 2.2	外) 灰黄 内) 灰黄 断) 灰	良好	やや粗	内外面ヨコナデ、内面頸部ケズリ	外面に煤付着
457	土師器 甕	第Ⅶ層	口径(復) 器高(残)	15.0 5.2	外) におい黄橙 内) におい黄橙 断) 灰	良好	やや粗	内外面口縁部ヨコナデ(内面磨減している所あり)、外面体部ハケ工具による施文とハケ目、内面台部指押さえとナデ、粘土継ぎ目痕あり	S字口縁近江・東海系
458	弥生土器 壺	第Ⅶ層	口径(復) 器高(残)	16.6 6.4	外) におい黄 内) におい黄 断) 灰	良好	密	外面ナデ・わずかにヘラミガキ痕残る・口縁部に刻み文と波状文(4本)施す、内面ヘラミガキ・ナデ、口縁部ヨコナデ	二重口縁
459	土師器 甕	第Ⅶ層	口径(復) 器高(残)	20.0 5.9	外) におい黄橙 内) におい黄橙 断) 灰	良好	密	外面ヨコナデ・ナデ・口縁部に波状文(7条カ)あり、内面ヨコ方向ヘラミガキ・板ナデ(少量の石がとんでいる)	
460	土師器 壺	第Ⅶ層	口径(復) 器高(残)	20.8 7.0	外) 灰黄褐 内) におい黄橙 断) 灰	やや不良	密	内外面ヨコナデ、内面に粘土紐痕あり	
461	土師器 小型丸底壺	第Ⅶ層	口径(復) 器高(残)	7.8 10.1	外) 灰黄 内) 灰黄 断) 灰	良好	密	口縁部ヨコナデ、外面ナデ・ヘラケズリ、内面ナデ・指押え・粘土紐痕あり	体部中半部に黒斑あり

挿図 番号	器種	出土地点	法量 (cm)	色 調	焼成	胎 土	技法の特徴	備 考
462	土師器 小型丸底壺	第Ⅶ層	胴部径 器高(残) 9.6 6.5	外) 褐灰 内) 褐灰 断) 褐灰	良好	密	外面ナデ、内面板ナデ、粘土紐痕あり	内外面とも全体に黒斑あり
463	土師器 ミニチュア甕	第Ⅶ層	口径 器高 7.8 11.7	外) におい黄橙 内) 灰黄褐 断) におい黄橙	やや 不良	やや粗	外面ナデ、内面ハケ目、口縁部ヨコナデ	底面に木の葉文、粗雑な つくり
464	土師器 ミニチュア壺	第Ⅶ層	底径 器高(残) 2.9 8.7	外) 黄褐 内) 暗灰黄 断) 黄褐	やや 不良	粗	内外面ナデ、外面指押さえ、内面粘土紐 痕	形が非常に歪む
465	土師器 甕	第Ⅶ層	口径(復) 器高(残) 18.0 6.2	外) におい黄褐 内) におい黄褐 断) におい黄褐	良好	密	外面タタキと8条/cmのハケ目、内面ナ デ・頸部ヘラケズリと指押さえと粘土紐 痕	
466	土師器 小型甕	第Ⅶ層	口径(復) 器高(復) 14.7 12.2	外) 灰黄 内) 灰黄 断) 灰黄	やや 不良	粗	外面タタキ目(ほとんど磨耗)、内面板 ナデ、頸部に指押えあり、口縁部ヨコナ デ	
467	土師器 甕	第Ⅶ層	口径 器高 10.2 5.0	外) 灰黄 内) におい黄 断) 灰	良好	密	口縁部ヨコナデ、内外面ヘラミガキ、内 面ナデ・粘土紐紺	
468	土師器 壺	第Ⅶ層	口径(復) 器高(残) 12.9 5.0	外) におい橙 内) 明褐灰 断) 灰白	良好	密	外面ヨコナデ・ナデ、内面ヨコナデ・ナデ・ ケズリ	
469	土師器 壺	第Ⅶ層	口径(復) 器高(残) 13.6 6.0	外) 暗灰黄 内) 暗灰黄 断) 暗灰黄	良好	やや粗	内外面ヨコナデ・ナデ・粘土紐痕、内面 頸部指押さえ	
470	土師器 甕	第Ⅶ層	口径(復) 器高(残) 17.6 8.0	外) におい黄橙 内) におい黄橙 断) 灰	良好	密	内外面ヨコナデ・ナデ	
471	土師器 甕	第Ⅶ層	口径(復) 器高(残) 15.0 7.3	外) 灰白 内) 灰黄 断) 灰	良好	密	外面ナデ、内面ヘラケズリ、口縁部ヨコ ナデ	
472	土師器 小型丸底壺	第Ⅶ層	口径 器高 8.7 9.3	外) におい黄橙 内) 灰黄 断) 灰	良好	密	内外面ナデ、体部から底面板ナデ、口縁 部ヨコナデ	
473	土師器 小型丸底壺	第Ⅶ層	口径(復) 器高(残) 12.0 7.3	外) におい橙 内) 橙 断) 灰白	良好	やや粗	外面体部ハケ目、内面体部ケズリ・体部 上部指押さえ痕、口縁部ヨコナデ	
474	土師器 小型丸底壺	第Ⅶ層	口径(復) 器高(残) 12.4 6.1	外) におい橙 内) におい橙 断) 橙	良好	密	外面板ナデ、内面ナデ、口縁部ヨコナデ	
475	土師器 小型壺	第Ⅶ層	口径(復) 器高(残) 8.4 5.5	外) におい黄橙 内) 灰黄 断) 灰	良好	やや粗	口縁部ヨコナデ、外面磨滅のため調整不 明、内面ナデ	
476	土師器 甕 or 壺	第Ⅶ層	底径 器高(残) 4.95 2.0	外) におい黄橙 内) におい黄橙 断) におい黄橙	良好	密	外面ナデ、内面板ナデ	
477	土師器 高杯	第Ⅶ層	口径(復) 器高(残) 6.6 5.9	外) 灰黄 内) 灰黄 断) 黄灰	良好	密	外面杯部下半タタキの痕が少し見える・ 脚部ナデ、内面杯部下半ヘラミガキ・脚 部粘土紐痕、脚底部ヨコナデ	
478	土師器 台付鉢	第Ⅶ層	底径 器高(残) 5.6 4.5	外) 浅黄橙 内) 灰白 断) 褐灰	良好	やや粗	外面ミガキ、内面板ナデ、台部内外面ナ デ、粘土継ぎ目痕あり	
479	土師器 甕	第Ⅶ層	くびれ部径 器高(残) 5.2 2.4	外) 灰白 内) 灰黄 断) 灰黄	良好	密	外面ハケ目、内面ナデ・粘土紐痕	東海系S字口縁
480	土師器 壺 or 甕	第Ⅶ層	底径 器高(残) 4.1 3.4	外) におい黄 内) 暗灰黄 断) 黄灰	良好	密	内外面ナデ、外面底部に文あり(内外面 体部にも文ありカ)・粘土紐痕ありカ	
481	土師器 ミニチュア台付鉢	第Ⅶ層	底径(復) 器高(残) 3.6 5.1	外) におい橙 内) におい褐 断) 黄灰	良好	やや粗	内外面ナデ、外面台部指押さえ	
482	土師器 有孔鉢	第Ⅶ層	底径 器高(残) 5.2 3.3	外) 灰黄 内) 黄灰 断) 灰黄	良好	やや粗	外面ナデ、内面板ナデ(放射状)	
483	土師器 有孔鉢	第Ⅶ層	底径 器高(残) 4.0 1.9	外) におい橙 内) におい橙 断) 浅黄橙	良好	やや粗	外面ナデカ(調整不明瞭)、内面指押さえ・ 板ナデ	

挿図 番号	器種	出土地点	法量 (cm)	色 調	焼成	胎 土	技法の特徴	備 考
484	土師器 有孔鉢	第Ⅶ層	底径 器高(残) 3.3 4.0	外) におい橙 内) におい橙 断) におい黄橙	良好	やや粗	外面ナデ・底部未調整、内面板ナデ(放射状)	穿孔あり
485	土師器 有孔鉢	第Ⅶ層	底径 器高(残) 5.0 2.8	外) 灰黄 内) 灰黄 断) 灰	良好	やや粗	外面ナデ(一部調整不明瞭)、内面棒状 工具痕あり	穿孔あり
486	土師器 高杯	第Ⅶ層	口径 器高 17.6 6.2	外) 灰黄 内) 浅黄 断) 灰黄	良好	密	内外面ナデ、口縁部ヨコナデ	
487	土師器 高杯	第Ⅶ層	口径(復) 器高(残) 17.7 4.1	外) におい橙 内) 灰黄褐 断) 灰	良好	密	内外面ナデ、口縁部ヨコナデ	
488	土師器 高杯	第Ⅶ層	器高(残) 9.1	外) 灰黄褐 内) 灰黄褐 断) 灰	良好	やや粗	外面ミガキ・脚上部にクシによる横線文、 内面杯部ミガキ・脚部上半しほり痕・下 半ナデ、内面のミガキは消えかけている	穿孔は6ヶ所あり
489	土師器 高杯	第Ⅶ層	器高(残) 7.8	外) におい黄 内) におい黄 断) 灰黄	良好	やや粗	外面杯部ハケ目・脚部ミガキでクシによる 横線施す、内面杯部ミガキ・脚部ナデ	
490	土師器 高杯	第Ⅶ層	底径(復) 器高(残) 18.2 13.2	外) におい黄褐 内) 暗灰黄 断) 黄灰	良好	密	外面ヘラミガキ・ナデ、内面しほり目・ ナデ、脚底部ヨコナデ	円孔の数は不明だが5ヶ と思われる
491	土師器 高杯	第Ⅶ層	底径(復) 器高(残) 11.0 8.7	外) 灰黄褐 内) 暗灰黄 断) 暗灰黄	良好	やや粗	外面ヘラナデ、内面ナデ・脚部上半しほ り目	3方に透しを穿つ(外→ 内へ)
492	土師器 高杯	第Ⅶ層	底径(復) 器高(残) 14.4 8.0	外) におい黄 内) におい黄 断) 灰	良好	密	外面ヘラミガキ、内面しほり目・ナデ・ 粘土紐痕あり、脚底部ヨコナデ	4方に円孔が穿っている 粘土紐痕あり、脚底部ヨコナデ
493	土師器 蓋	第Ⅶ層	器高(残) 8.5	外) におい黄褐 内) 灰黄褐 断) 灰黄褐	良好 (火を受 けている)	密	外面頂部ナデ・板ナデ(板を押しあてた 痕残る)、内面しほり痕・ハケ目	火を受けたのか内外面に 煤付着
494	土師器 高杯	第Ⅶ層	口径(復) 器高(残) 11.8 5.8	外) 灰黄 内) 浅黄 断) 灰黄	良好	密	内外面ナデ・ハケ目・ヨコナデ	4方に円形の透かしを穿 つ(外→内)
495	土師器 器台	第Ⅶ層	底径(復) 器高(残) 9.2 5.7	外) におい褐 内) におい橙 断) 黄灰	良好	やや粗	外面ミガキ(ほとんど消えている)、内 面磨滅のため調整不明	穿孔の数は不明、穿孔あ り
496	手焙式土器	第Ⅶ層	口径(復) 器高(残) 21.5 9.4	外) におい褐 内) 灰褐 断) におい褐	やや 不良	やや粗	内外面ナデ・粘土紐痕、外面口縁部ヨコ ナデ・体部に板ナデ部分あり・貼り付け 突帯・突帯部に刻み目文施す	
497	土師器 甕	第Ⅶ層	底径(復) 器高(残) 23.2 7.4	外) 灰褐 内) 褐灰 断) 灰褐	良好	密	外面タタキ後ナデ(ナデによりタタキは 消されている)、内面ナデ	
498	韓式系土器 小片	第Ⅶ層	最長 最大厚 4.0 0.4	外) におい橙 内) におい黄橙 断) におい黄	良好	密	外面格子目タタキ、内面ナデ	
499	須恵器 蓋	第Ⅶ層	口径(復) 器高(残) 36.0 4.1	外) 灰 内) 降灰のため 不明 断) 灰	堅緻	密	内外面回転ナデ、外面ハケ目(ナデによ りほとんど消えている)	口縁から内面に降灰、外 面にも薄く降灰、壺の可 能性あり
500	須恵器 蓋	第Ⅶ層	口径(復) 器高(残) 17.0 3.7	外) 赤灰 内) 灰 断) 灰	堅緻	密	内外面回転ナデ、外面上半に列点文を施 す	内面のみ降灰
501	須恵器 高杯	第Ⅶ層	口径(復) 器高(残) 16.3 4.9	外) 灰 内) 灰 断) 褐灰	堅緻	密	外面回転ナデ、内面底部ナデ・その他 の部分調整不明	内面に自然釉(降灰)
503	凹石?	第Ⅶ層	残長 幅 厚 重 7.5 4.6 1.8 130.1g			片岩	擦痕あり	
504	削器	第Ⅶ層	長 幅 厚 重 3.3 7.55 0.8 25.6g			サヌカイト		二上山産カ

# 写 真 图 版



1. 第1遺構面西半部（南東より）



2. 第1遺構面東半部（北西より）



1. 自然流路断面（南より）



2. 自然木（根株？）出土状況（北東より）



1. 第VI層（北半部）遺物出土状況①



2. 第VI層（北半部）遺物出土状況②



1. 第Ⅵ層（北半部）遺物出土状況③



2. 第Ⅵ層（北半部）遺物出土状況④



1. 第VI層（北半部）遺物出土状況⑤



2. 第VI層（北半部）遺物出土状況⑥



1. 第VI層（南半部）遺物出土状況



2. 同上（部分接写）①



1. 同上 (部分接写) ②



2. 同上 (部分接写) ③



1. 同上（部分接写）④



2. 同上（部分接写）⑤



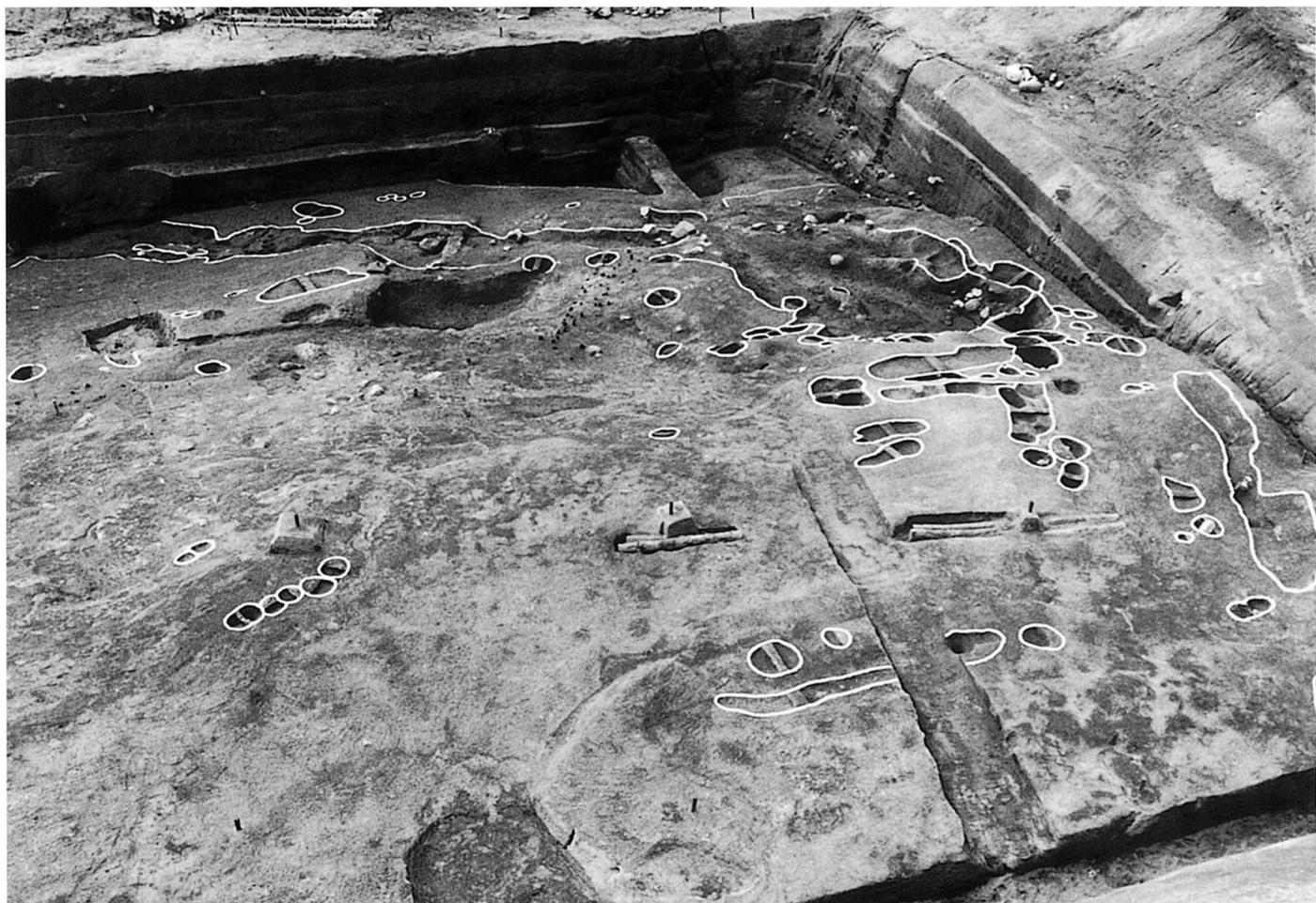
1. 第Ⅵ層遺物出土状況①



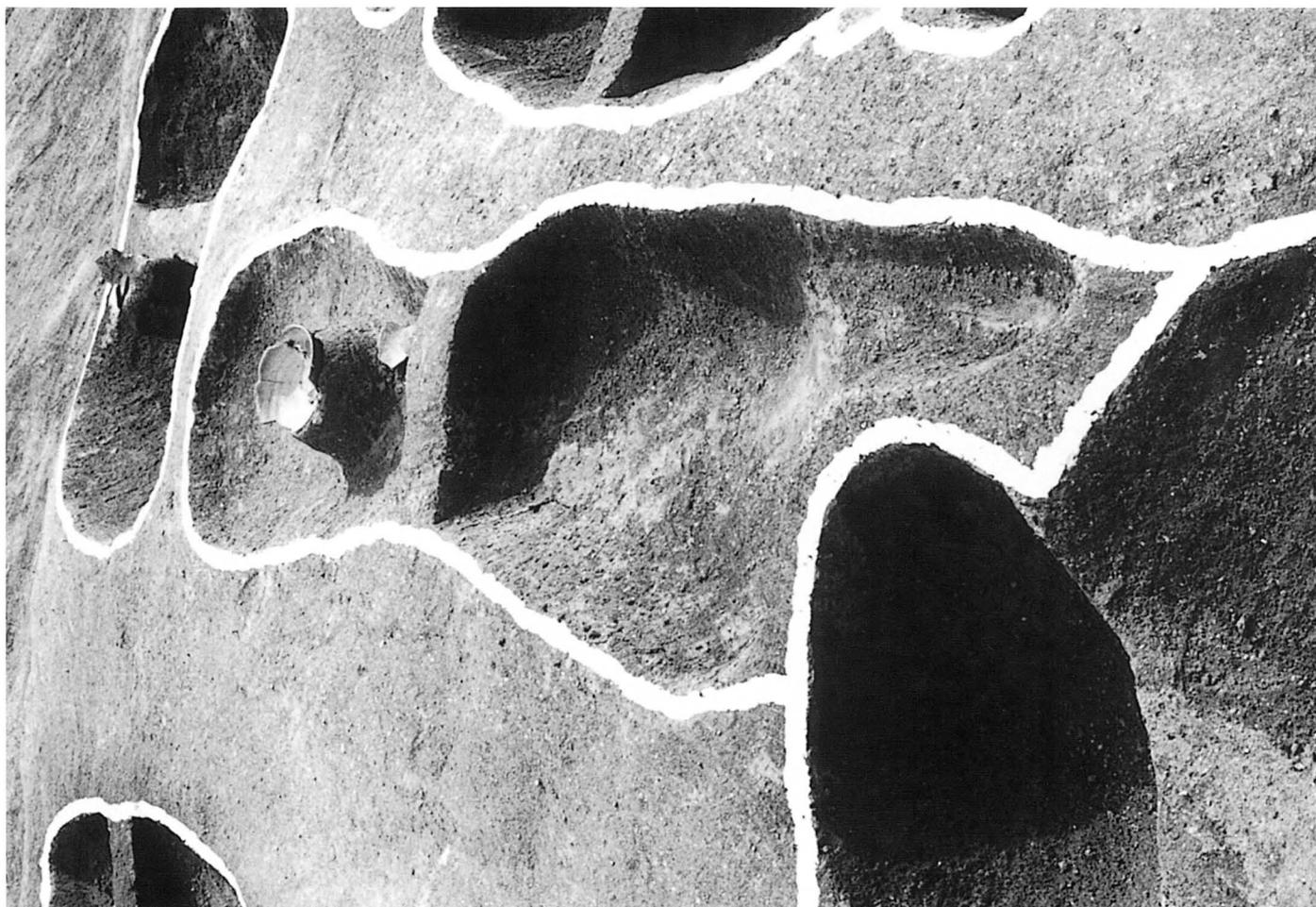
2. 第Ⅵ層遺物出土状況②



1. 第2遺構面南半部（北より）



2. 第2遺構面北半部（南東より）



1. SK-216 (北より)



2. SK-217 (東より)



1. 落込み A (北東より)



2. 落込み A 遺物出土状況 (土器)



1. 同上 (部分接写) ①



2. 同上 (部分接写) ②



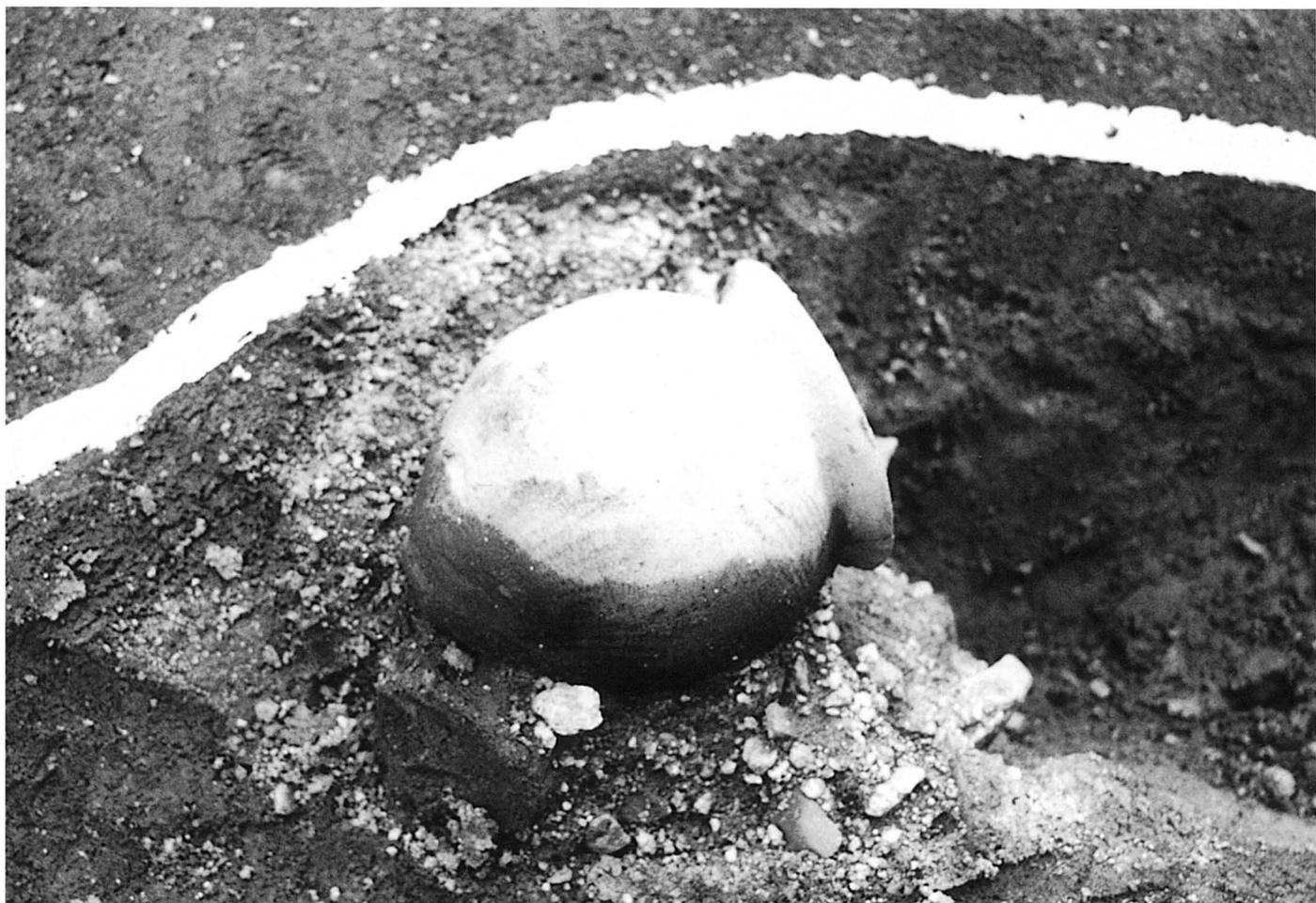
1. 同上 (部分接写) ③



2. 落込みA遺物出土状況 (磔)



1. 落込みB (南西より)



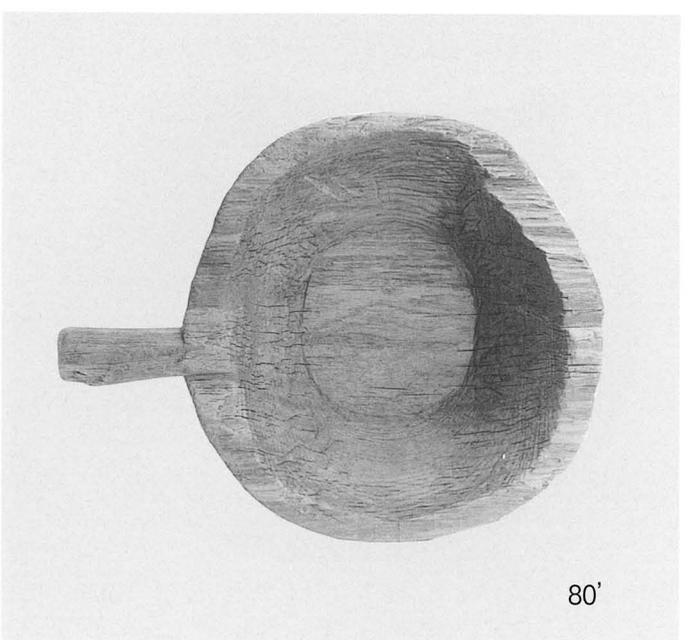
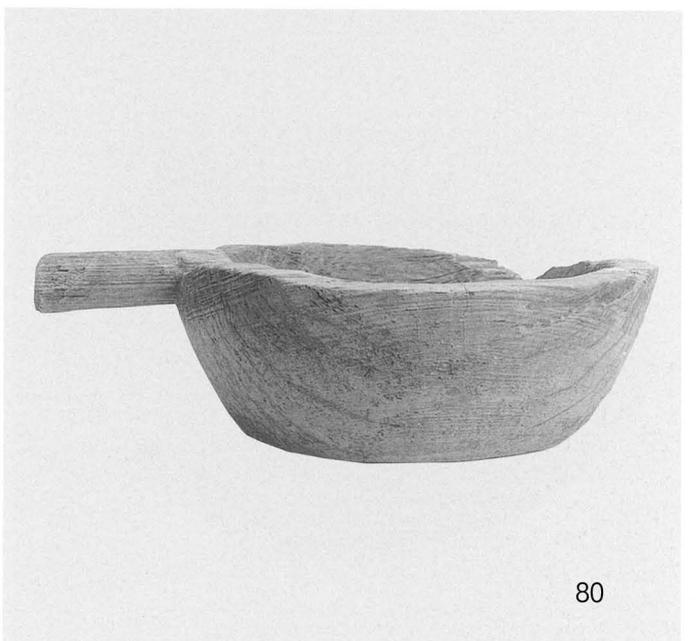
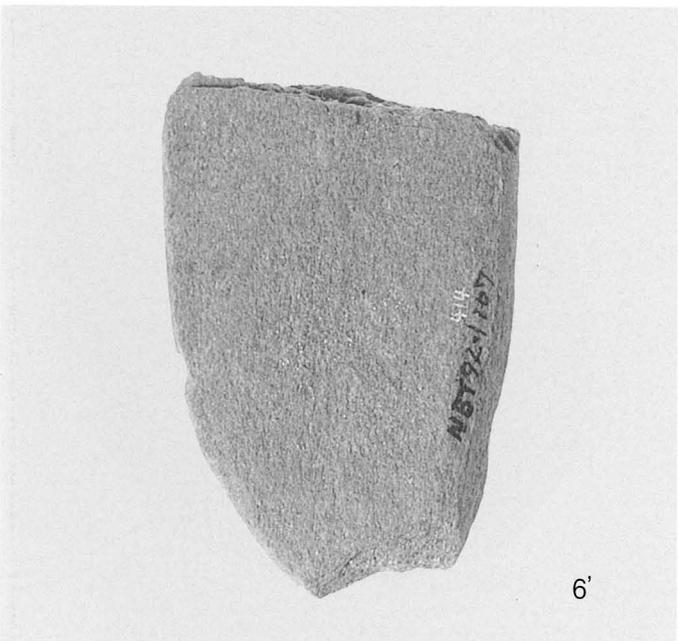
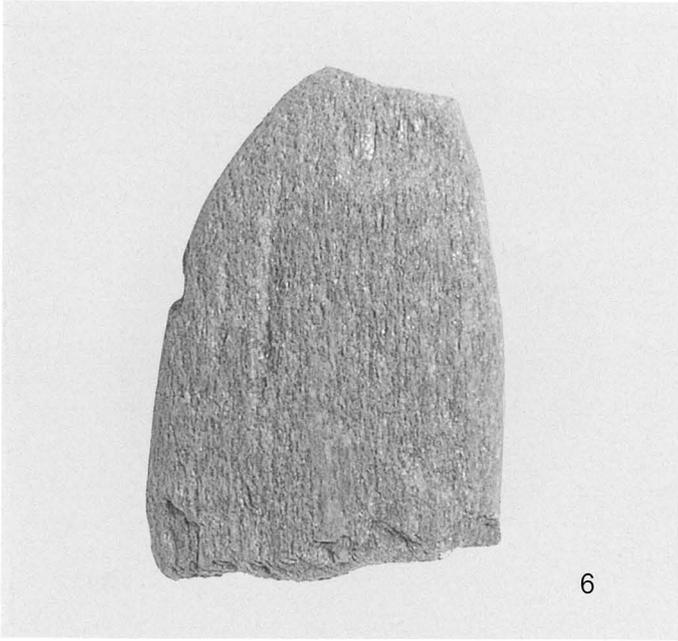
2. 落込みB内土器①出土状況

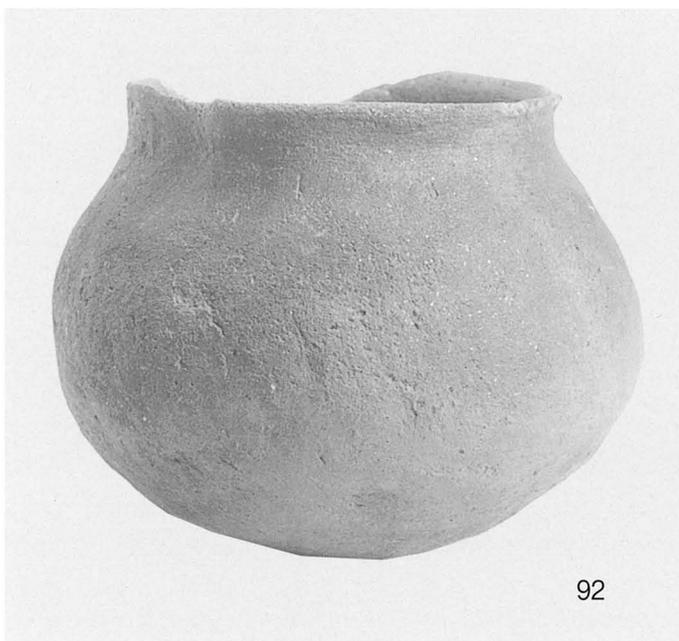
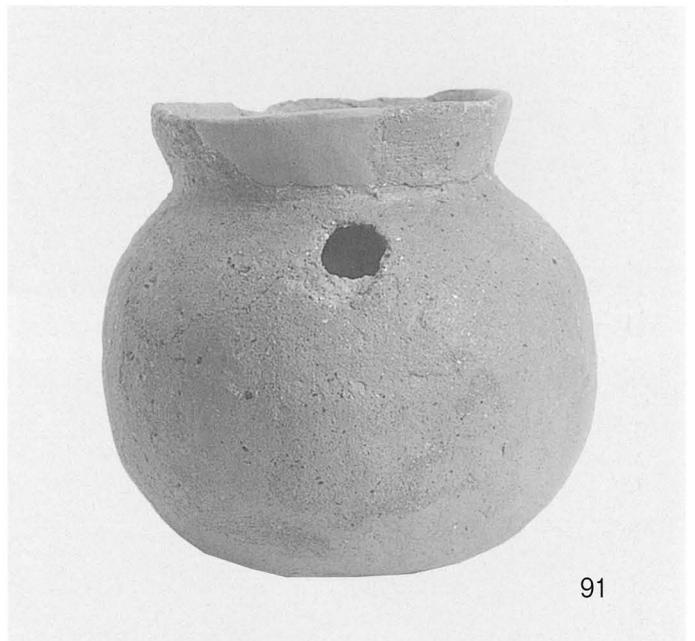
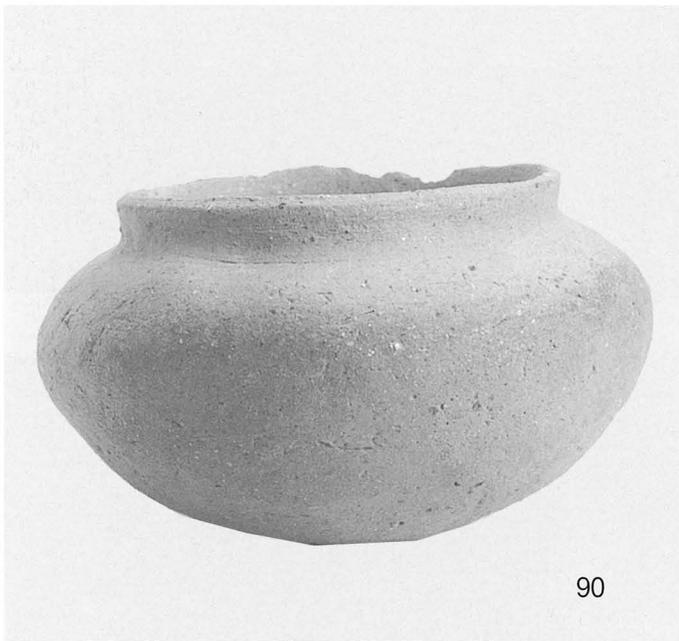
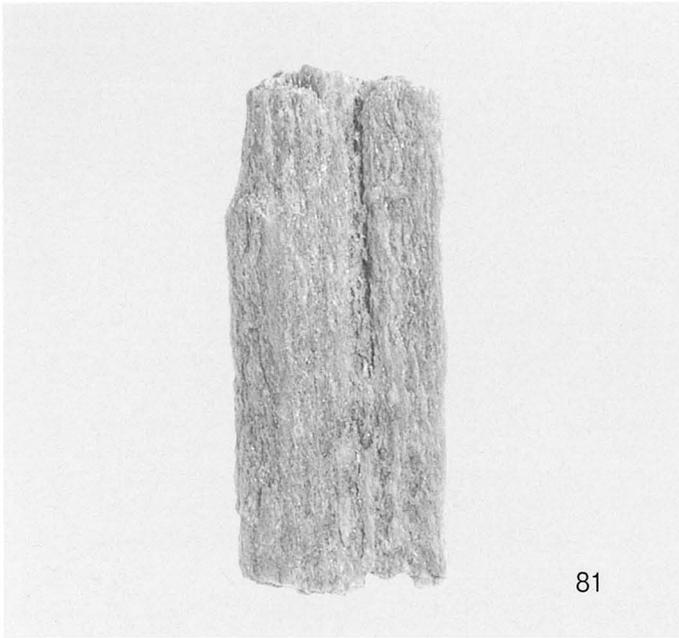


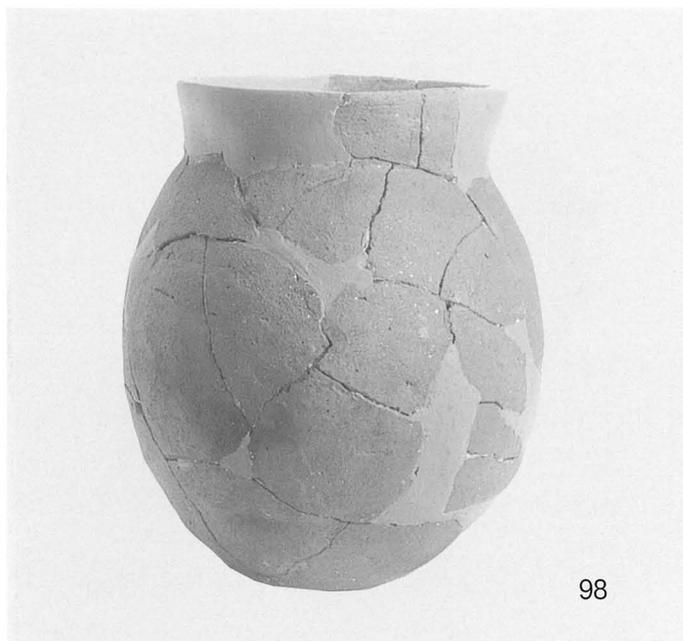
1. 落込みB内土器②出土状況



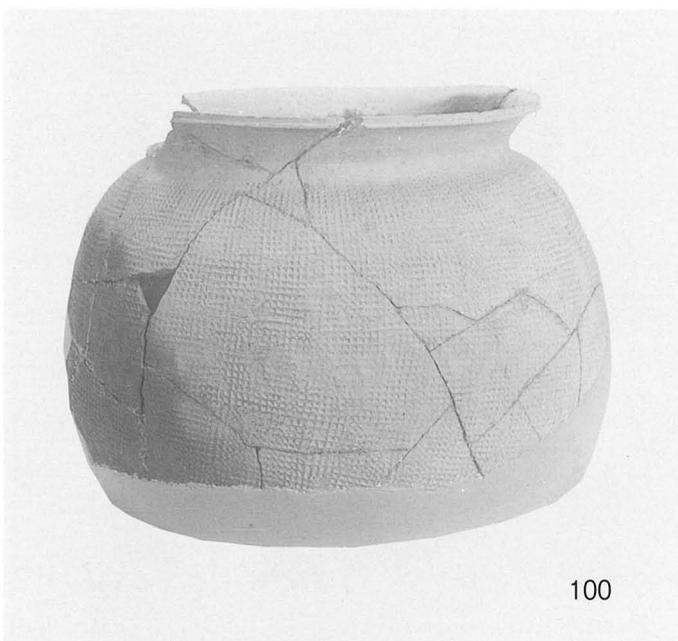
2. 落込みB内土器③出土状況



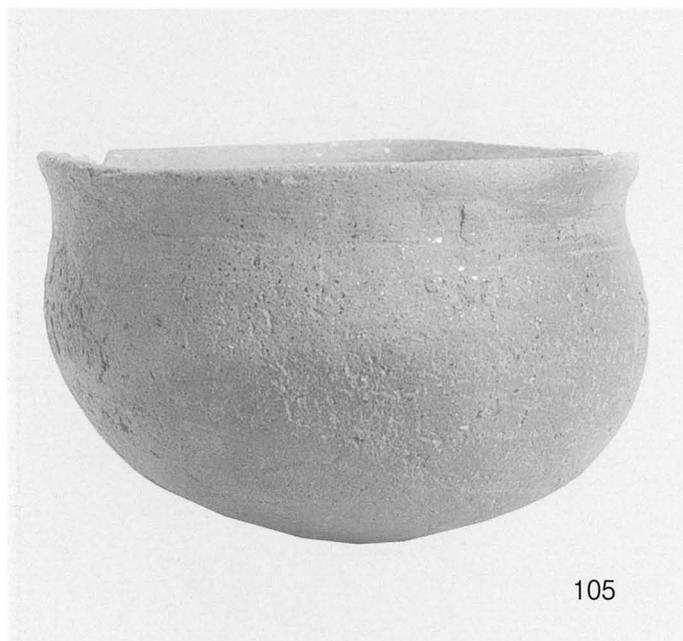




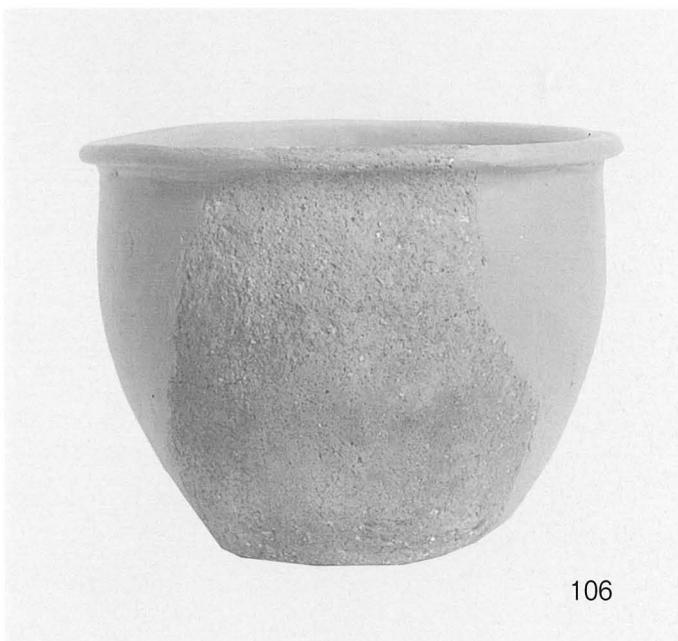
98



100



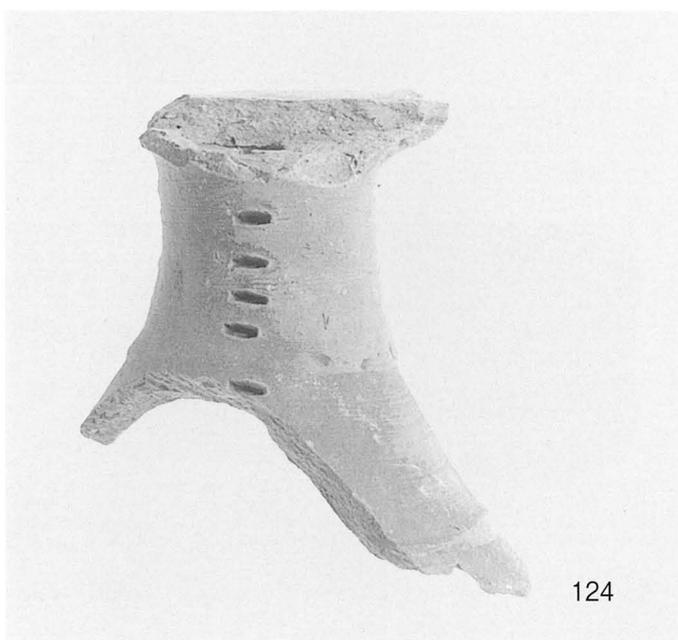
105



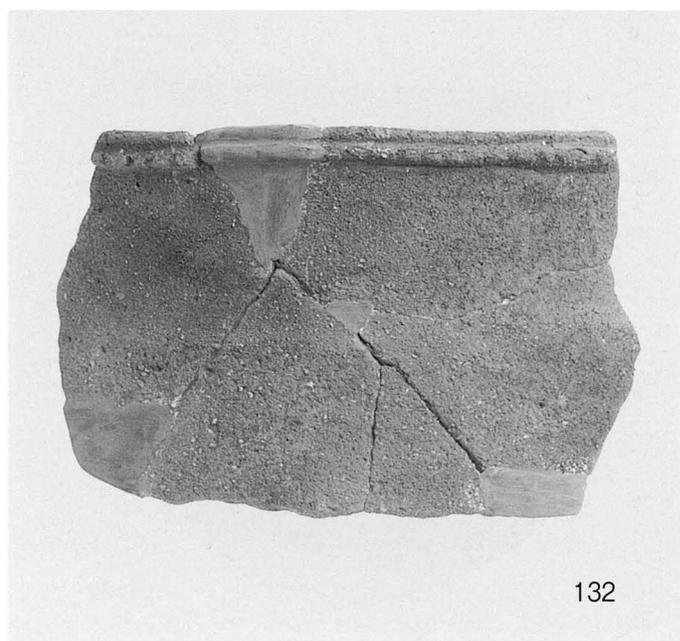
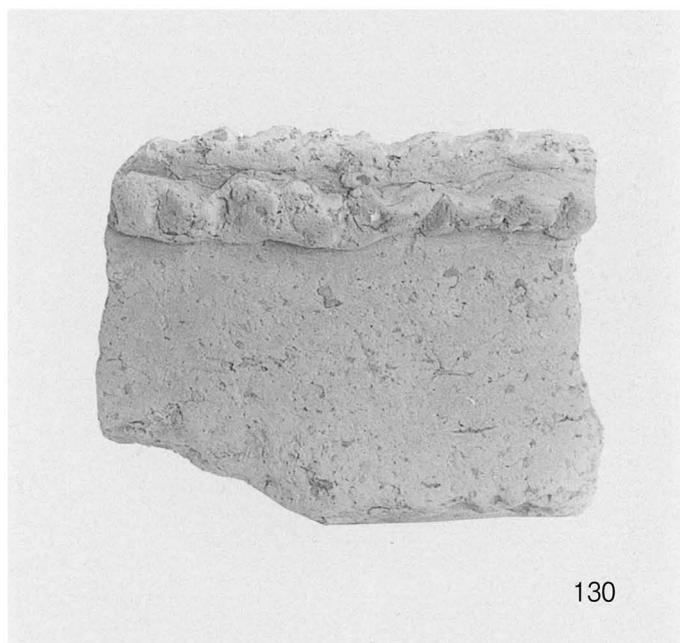
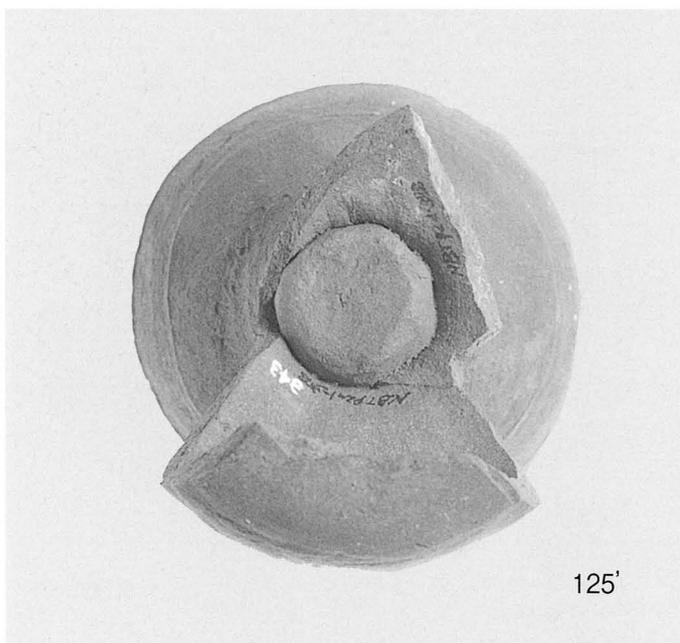
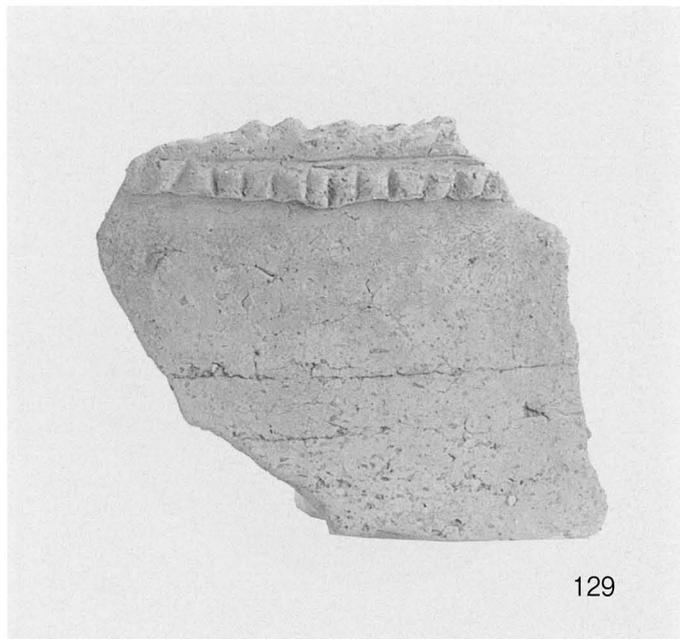
106

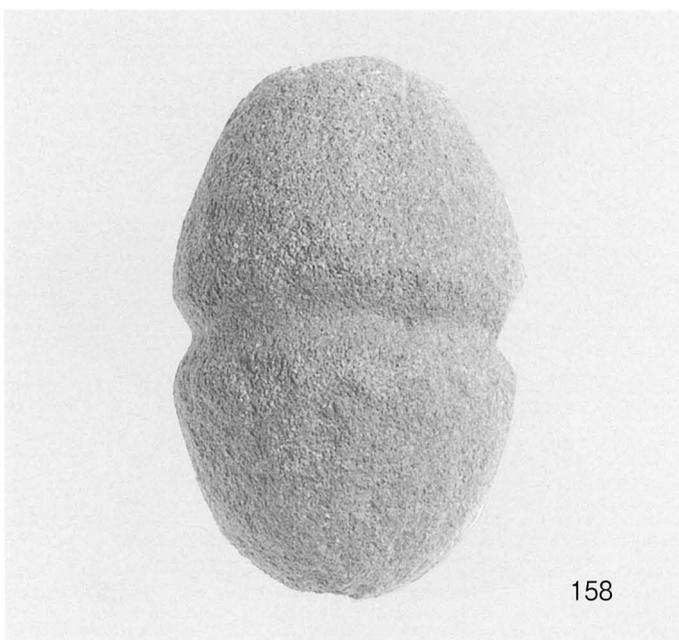
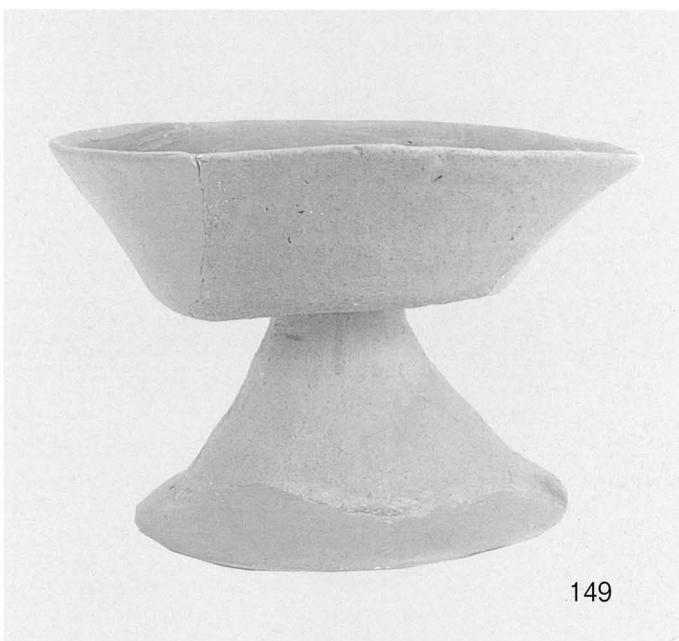
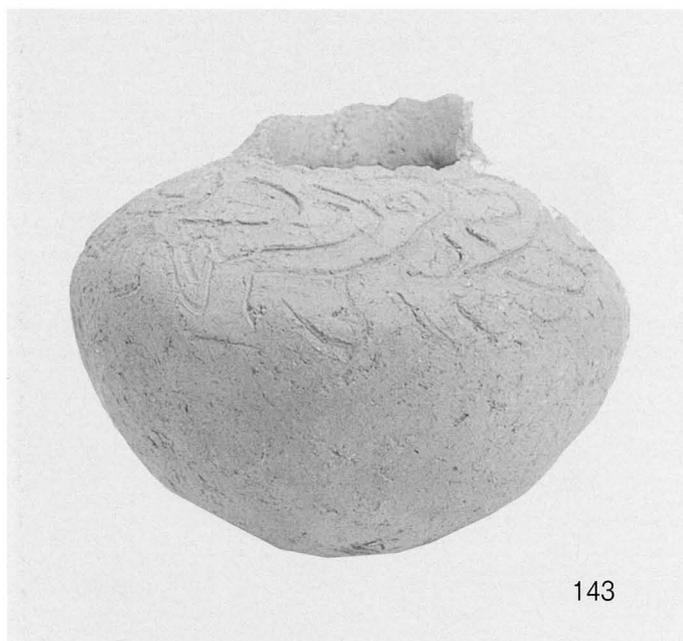
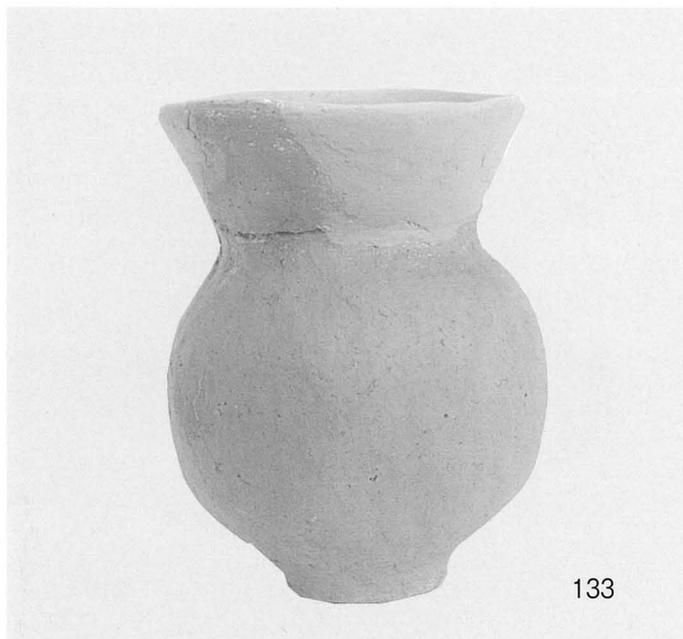


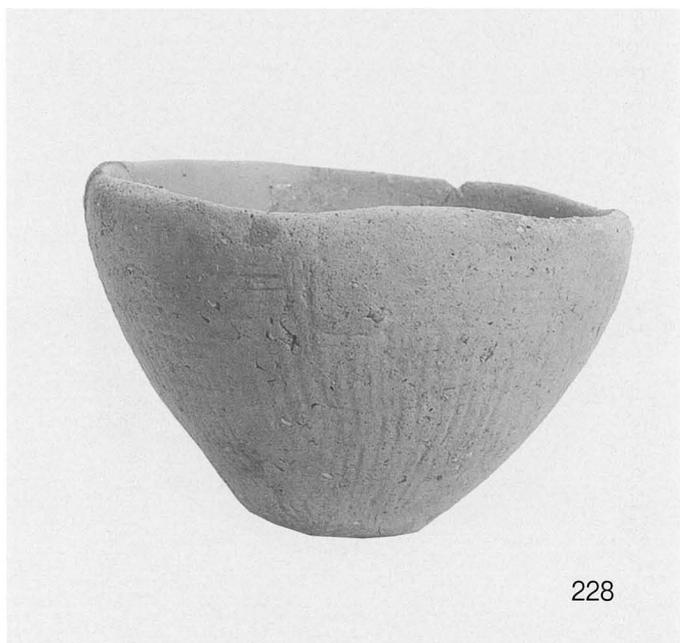
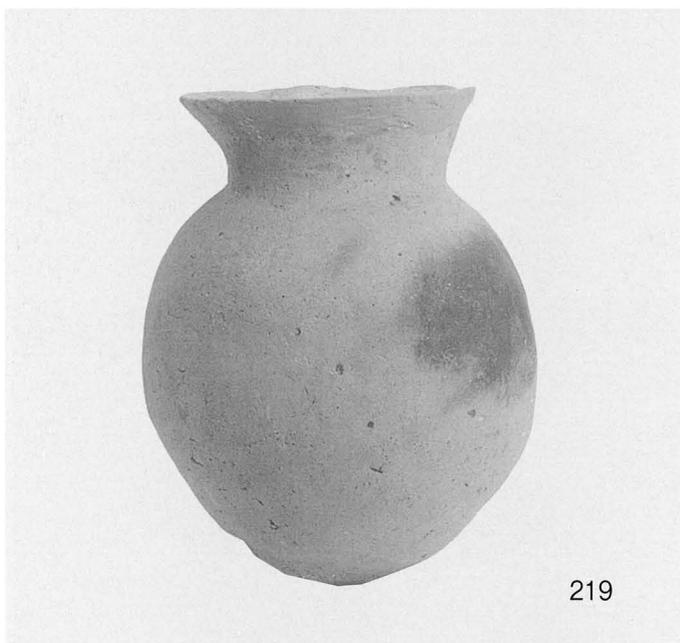
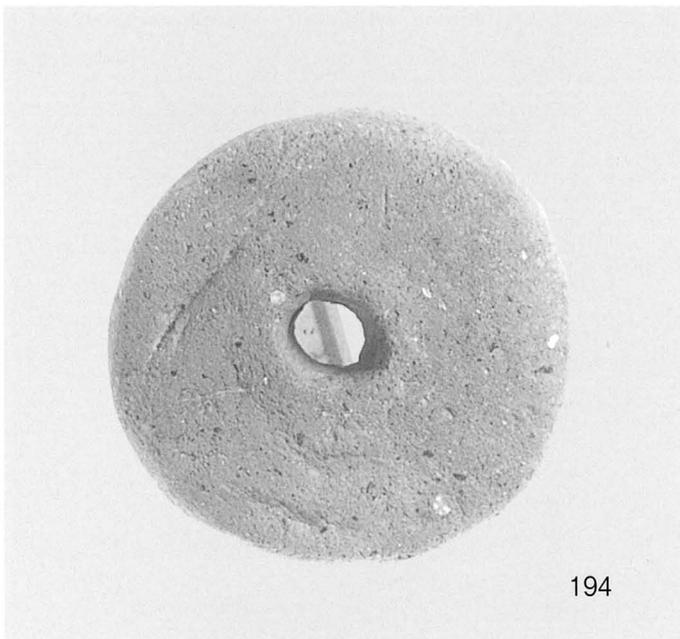
122



124









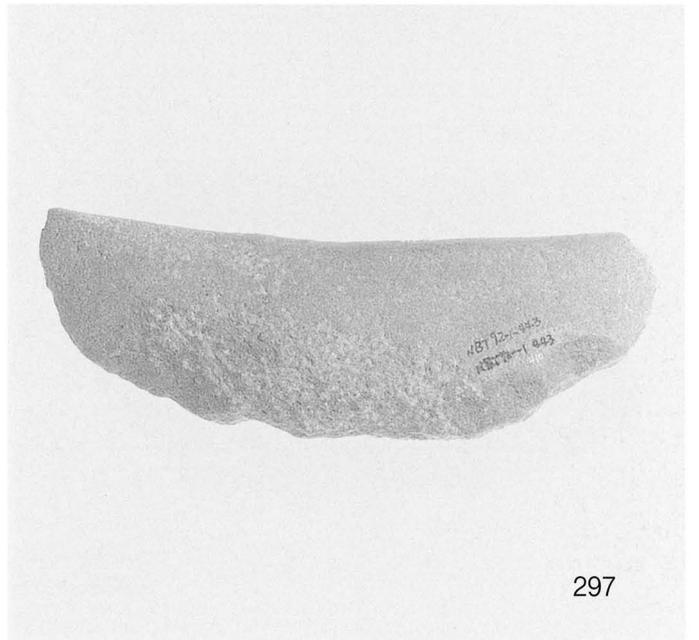
265



282



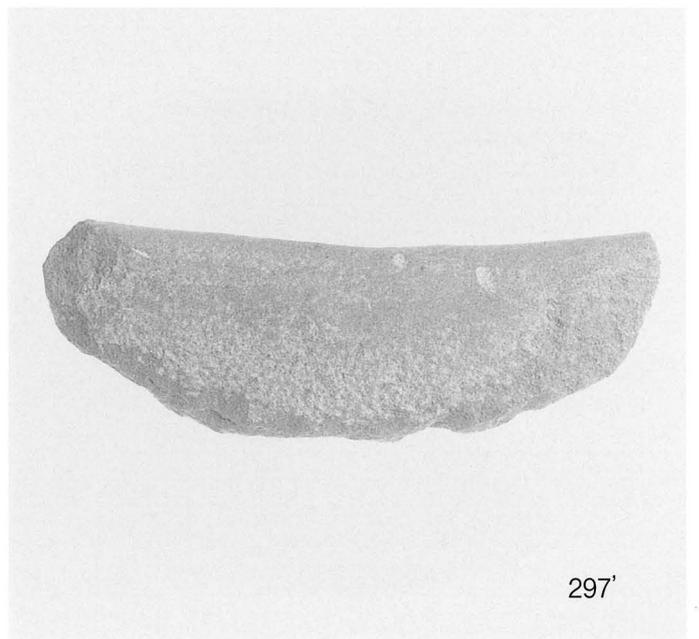
290



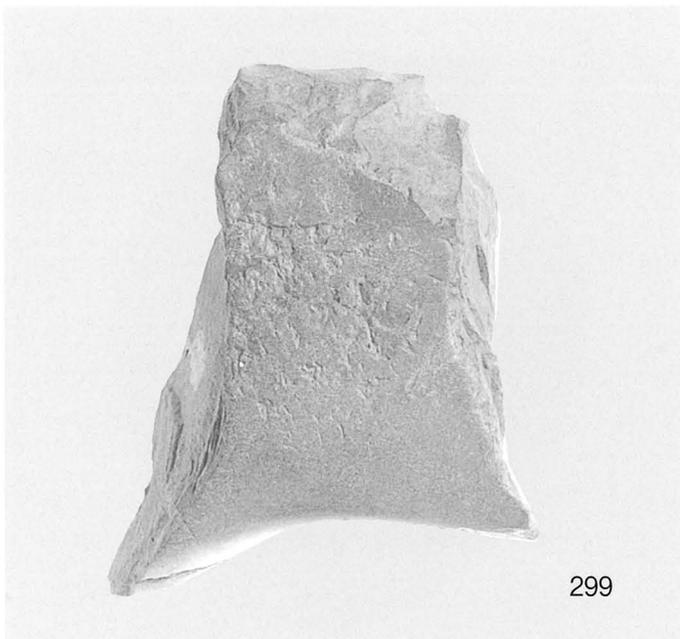
297

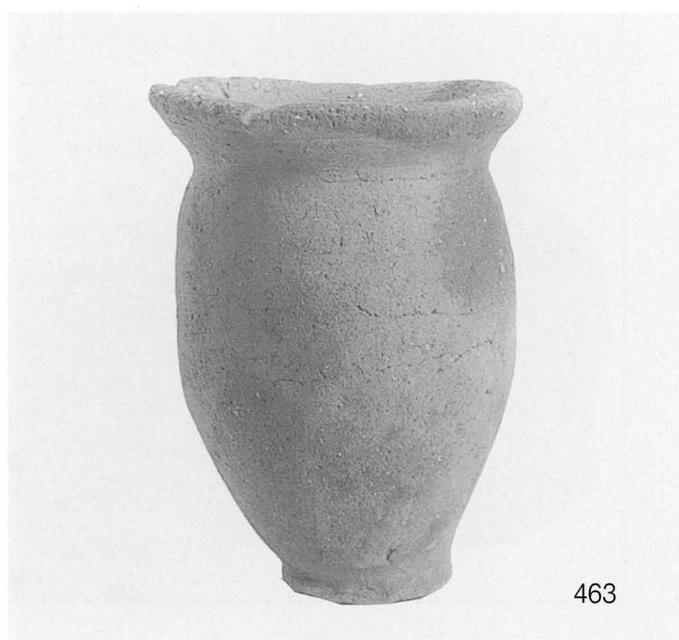
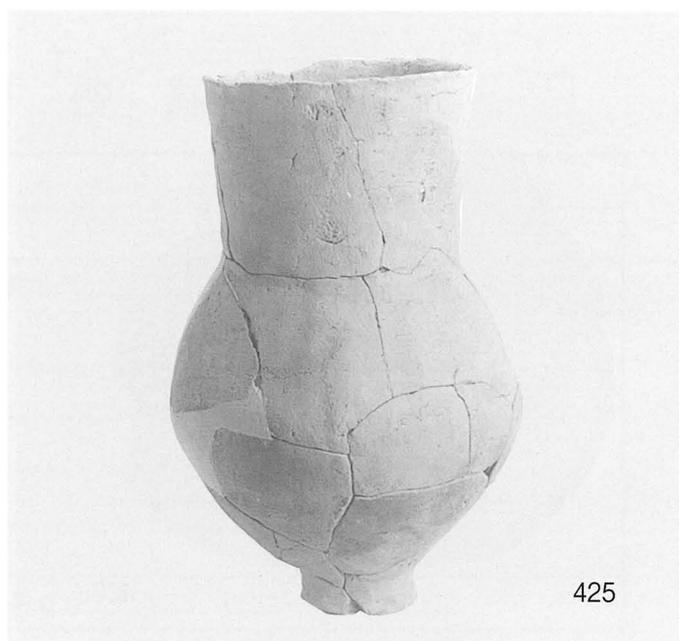


304

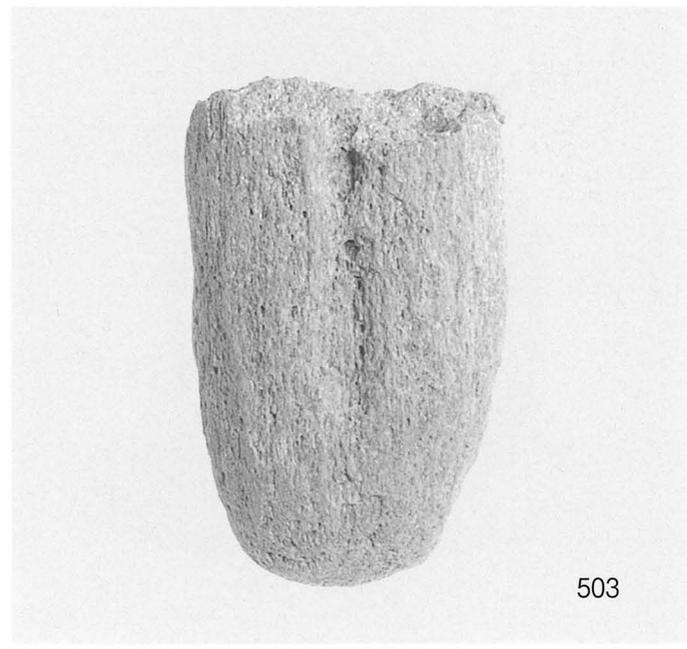
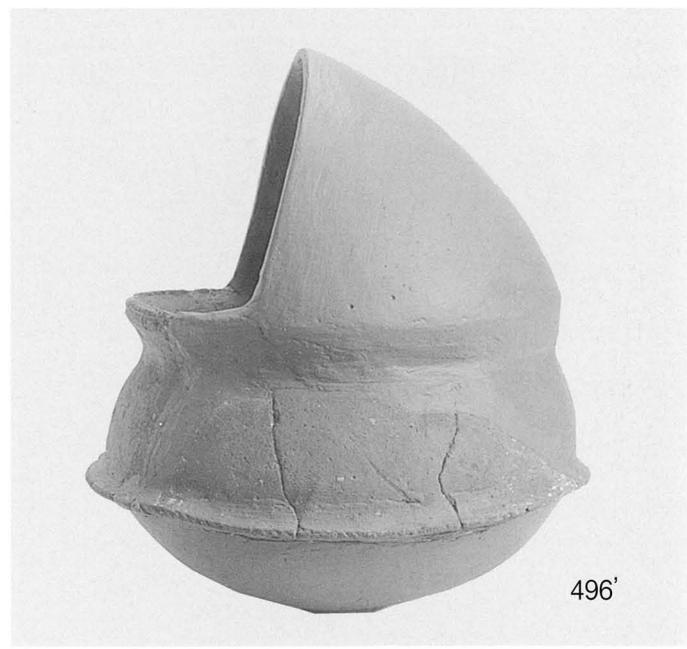
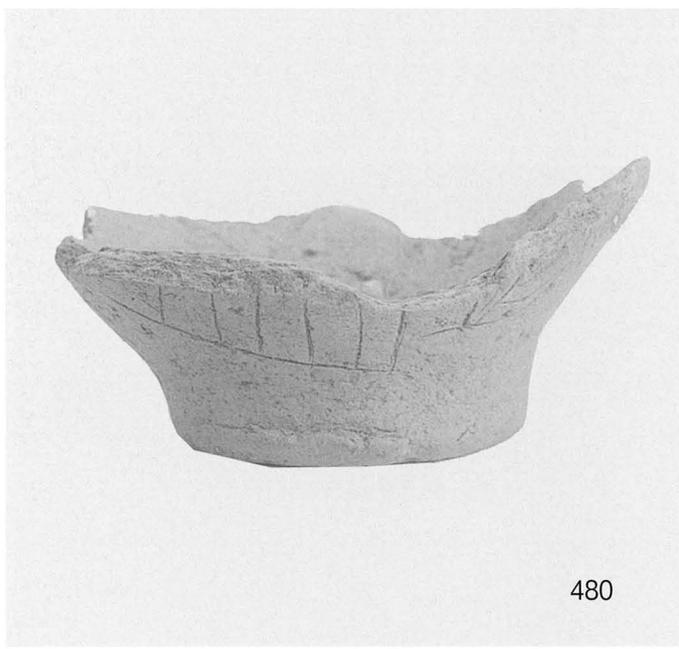
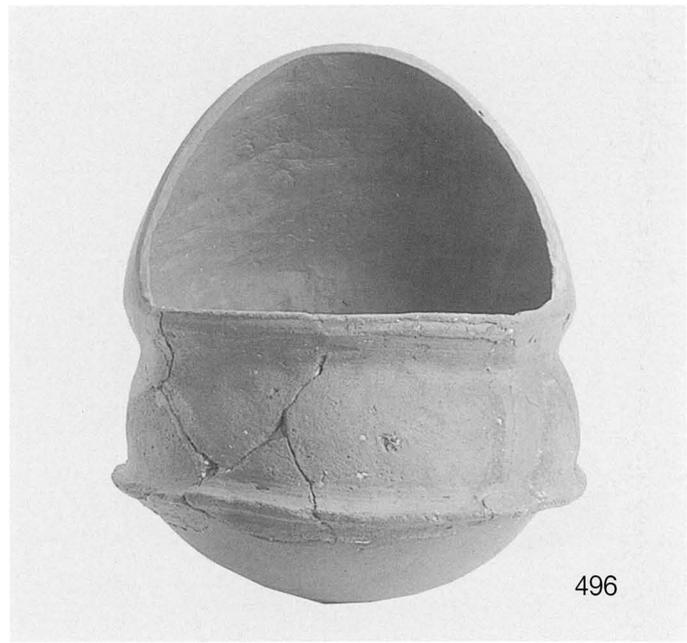
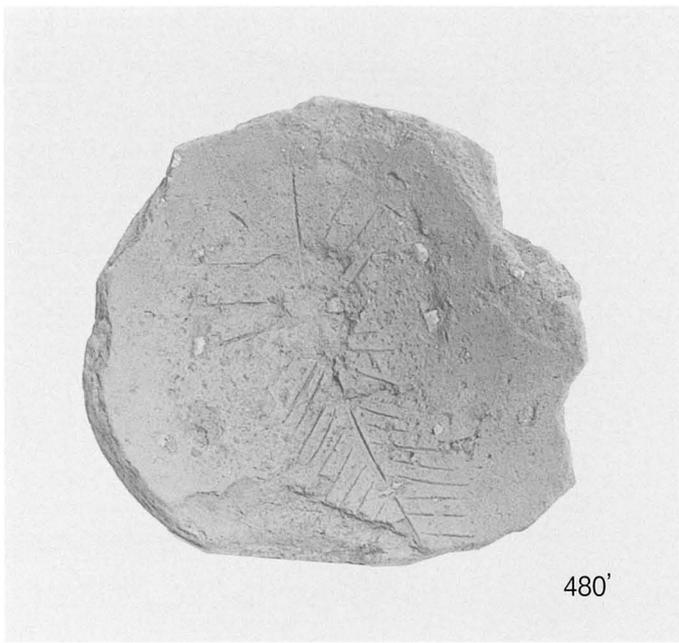


297'





図版26  
出土遺物(10)



# 報 告 書 抄 録

ふりがな	なべたがわいせき							
書名	鍋田川遺跡Ⅱ							
副書名	架空送電線鉄塔 [東大阪新生駒線・鉄塔 No.22] 建替えに伴う発掘調査報告書							
巻次								
シリーズ名	大東市埋蔵文化財調査報告							
シリーズ番号	第26集							
編著者名	中達健一							
編集機関	大東市教育委員会							
所在地	〒574 - 0076 大阪府大東市曙町4番6号 TEL 072 - 870 - 9105							
発行年月日	平成20年(2008)3月31日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
なべたがわいせき 鍋田川遺跡	おおさかふだいとうし 大阪府大東市 なかがいと 中垣内	27218	6	34° 42' 26"	135° 38' 49"	1992年11月18日 ) 平1993年3月3日	676㎡	架空送電線 鉄塔 [東大 阪新生駒線・ 鉄塔 No.22] 建 替 え
ふりがな 所収遺跡名	種 別	主な時期	主な遺構		主な遺物		特記事項	
なべたがわいせき 鍋田川遺跡	集 落	縄文時代			晩期縄文土器			
		弥生時代	溝		後期弥生土器 石製品			
		古墳～奈良時代	落込み状遺構 ピット 自然流路		土師器、須恵器 初期須恵器 韓式系土器 皮袋形土器 瓦、土製品 木製品、石製品		包含層から古墳時代前期 土器の大量の出土 聖樹信仰？	
		中世	溝、土坑、鋤溝		土師器、須恵器 瓦器			
		近世以降	溝、鋤溝 石垣、石組水路		陶磁器、石臼			

印刷物番号
-------

19-61
-------

---

大東市埋蔵文化財調査報告第26集

## 鍋田川遺跡Ⅱ

—架空送電線鉄塔〔東大阪新生駒線・鉄塔No.22〕建替えに伴う発掘調査報告書—

2008年3月31日発行

編集・発行 大東市教育委員会  
〒574-0076 大東市曙町4番6号  
TEL.072-870-9105

印刷・製本 株式会社日興商会  
〒577-0012 東大阪市長田東4丁目1番10号  
TEL.06-6743-0380

---

